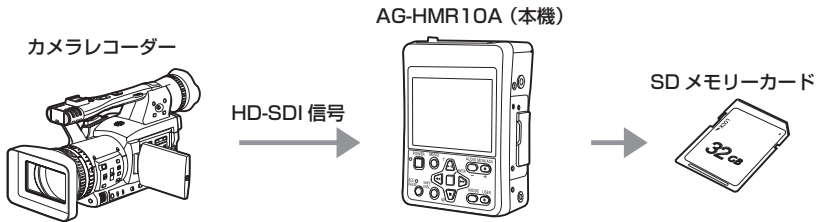
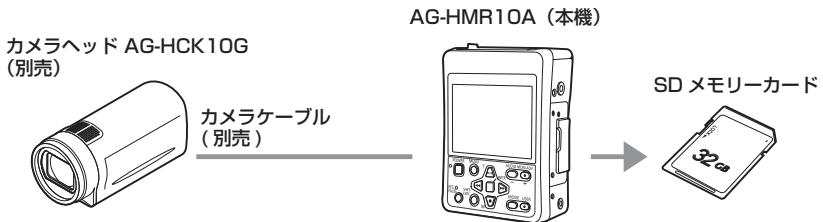
本機の使いかた

本機は、コンパクトな筐体に、SD メモリーカードスロットと 3.5 型の液晶モニター、SDI/HDMI/USB2.0/CAMERA (オプションカメラヘッド AG-HCK10G 接続用) などの多彩な入出力端子を備えたポータブル AVCCAM 記録再生機です。AVCCAM カメラレコーダーで撮影したコンテンツを手軽に再生することができるほか、SD メモリーカードへのバックアップ収録やファイル管理が可能で、屋外フィールドでの収録もサポートします。

SD メモリーカードに記録する

HD-SDI 入力記録（→ 35 ページ）

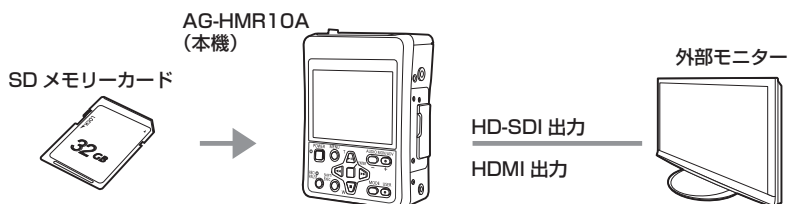
HD-SDI 出力を備えた外部機器 (HD カメラレコーダー、HD 情報カメラシステムなど) と接続して、SD メモリーカードに記録することができます。
また、一部のカメラレコーダーから本機の記録開始操作および停止操作ができます。(SDI 入力選択時)
(対応機器については 89 ページを参照してください)

2 カメラで撮影（→ 36 ページ）

カメラヘッド AG-HCK10G（別売）と接続して、SD メモリーカードに記録することができます。
- カメラヘッドのズーム、フォーカス、アイリスなどのカメラ機能を本機でマニュアル操作することができます。

SD メモリーカードのコンテンツを再生する

3 本機の液晶モニターで再生（→ 59 ページ）

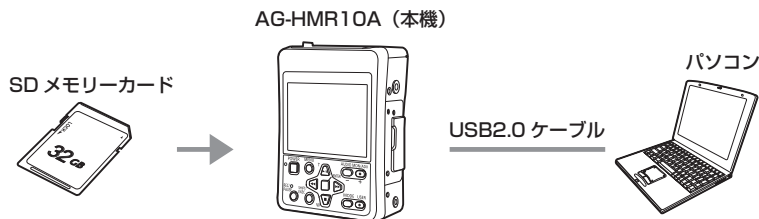
AVCCAM カメラレコーダーで撮影し、SD メモリーカードに記録したコンテンツ（映像 / 音声）をその場で再生することができます。

4 外部モニターに出力して再生（→ 70 ページ）

SD メモリーカード内のコンテンツ（映像 / 音声）を外部モニターに出力して再生できます。

• AVCCAMフォーマットで記録再生されるコンテンツのHD-SDI 出力は、モニター用途にご利用ください。

SD メモリーカードのコンテンツを編集する

5 パソコンと接続して編集（→ 72 ページ）

パソコンと USB 接続して、SD メモリーカード内のコンテンツをパソコンでコピー、編集することができます。

⑥ SDI モードのシステム構成例

■本機で記録したフォーマットのデータを出力する場合

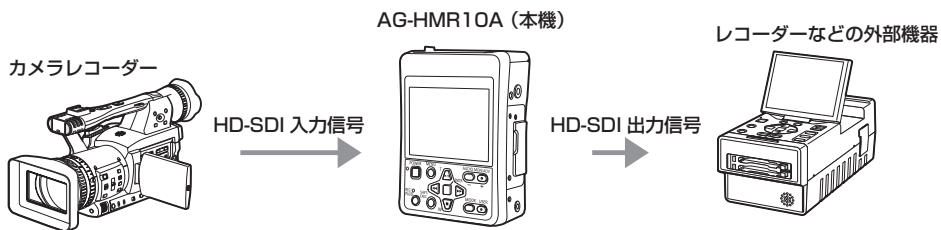
設定メニュー [AV OUT SETUP] → [SDI EE SEL] → [NORMAL] を選択してください。

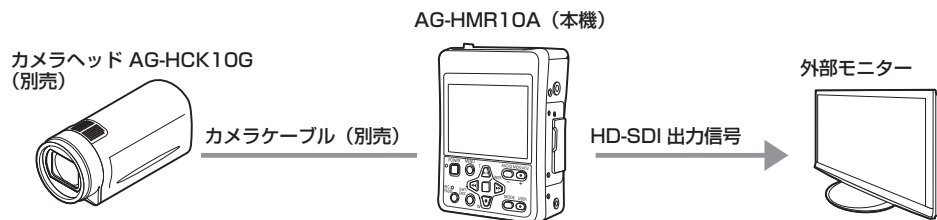
- 設定メニューの基本操作(➔ 28ページ)

- OSDや、メニュー画面などの情報が出力信号に付加できます。
  （設定メニュー [DISPLAY SETUP] → [OUTPUT OSD] → [ON]を選択した場合）
- S-VITC・UMID情報は出力しません。
- 外部モニターでの確認時にご使用ください。

■入力されたデータをそのまま出力する場合

設定メニュー [AV OUT SETUP] → [SDI EE SEL] → [THROUGH] を選択してください。

- 設定メニューの基本操作(➔ 28ページ)

- HD-SDI入力信号がそのまま出力できます。
- 出力先の機器で記録や編集が必要な場合にご使用ください。
- PBモード時は自動で[NORMAL]に切り替わります。

CAM モードのシステム構成例

- フレームシーケンス情報は出力されません。
- S-VITC・UMID情報は出力しません。
- 外部モニターでの確認時にご使用ください。

もくじ

再生

編集

表示

メニュー

ご参考

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

危険

バッテリーは…

■指定以外のものを使わない
■端子部（＋・－）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない
■分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない
■電子レンジやオーブンなどで加熱しない
■炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない

（液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。）

⇒ 使用しない時は、ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
⇒ 不要（寿命）になったバッテリーについては 18 ページをご参照ください。
⇒ 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

■本機専用の AC アダプターで充電する
（液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。）

AC アダプターは…

■本機専用のバッテリー以外の充電には使わない
（液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。）

⚠ 警告

ポータブルレコーダーや付属品は…

異常、故障時には直ちに使用を中止する

■異常があったときは、AC アダプターの電源プラグを抜く
[内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき]
(そのまま使うと、火災や感電の原因になります。)
⇒ AC アダプターを電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。
⇒ バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。
⇒ お買い上げの販売店にご相談ください。

■乗り物を運転しながら使わない
(事故の誘発につながります。)
⇒ 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

■電源を入れたまま長時間直接触れて使用しない
(本機の温度の高い部分に、長時間直接触れていると低温やけど * の原因になります。)
* 血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や、皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

接触禁止

■雷が鳴り出したら、本機の金属部や AC アダプターなどの電源プラグに触れない
(落雷すると、感電につながります。)

分解禁止

■分解や改造をしない
(火災や感電の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。)
⇒ 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■本機がぬれたり、水などの液体や異物が入らないようにする
(火災や感電の原因になります。)
⇒ 雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。
⇒ 機器の上や近くに、水などの液体が入った花びんなどの容器を置かないでください。

⚠ 警告（つづき）

AC アダプターは…

■電源コード・プラグを破損するようなことはしない
［傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど］
■傷んだ電源プラグやゆるんだ電源コンセントのまま使用しない
■たこ足配線などコンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流100V ～ 240V 以外での使用はしない
（感電や火災の原因になります。）
⇒ コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ぬれた手で電源プラグやコネクターに触れない
（感電や火災の原因になります。）

■電源プラグは根元まで確実に差し込む
（差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。）
⇒ 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

■電源プラグのほこり等は定期的にとる
（プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。）
⇒ 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

メモリーカードは・・・

■乳幼児の手に届くところに置かない
（誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。）
⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠ 注意

ポータブルレコーダーは…	
	■ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない （ヘッドホンから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。）

ポータブルレコーダーや付属品は…	
	■本機の放熱を妨げない **［押し入れや本箱など、狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かない］** （内部に熱がこもり、火災の原因になります。）
	■直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない （特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60℃以上）になります。絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。）
	■油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない （火災や感電の原因になります。）
	■本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない （落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。） （重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。）
	■病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う （本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。）
	■コードを引き回す場合、足など引っ掛けないよう固定したりカバーなどをする （足などを引っ掛けると、けがの原因になります。また、コードが傷つき、火災の原因にもなります。）
 電源プラグを抜く	**■長期間使用しないときや、お手入れのときは、バッテリーを外し、AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜く** （火災や感電の原因になります。）

パナソニック純正バッテリー（充電式電池）ご使用のおすすめ

平素よりパナソニック製品をご愛用頂きまして誠にありがとうございます。

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部海外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をあらためておすすめいたします。
なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

ご使用の前に

ためし撮りをしましょう

• 大切な撮影(結婚式など)の場合は、必ず事前にためし撮りし、正常に撮影・録音されていることを確認してください。

必ず日時、タイムゾーンの確認・設定を行いましょう

• 記録したコンテンツの管理､再生順序に影響します。ご使用の前に日時､タイムゾーンの確認･設定を行ってください。(➔ 30ページ)

記録内容の補償はできません

• 本機およびSD/SDHC メモリーカードの使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償についてはご容赦ください。

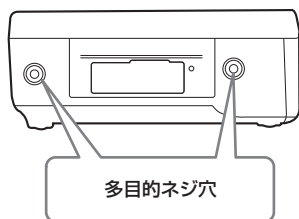
著作権について

• あなたが記録した内容は、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

本機で使えるバッテリー（別売）について
(2011 年 11 月現在)

• 本機で使用できるパナソニック製バッテリーはAG-BPS581です。
AG-BPS581は、バッテリーと本機との間で、安全に使用できるかどうかを確認する機能があるバッテリーです。
* バッテリーパックホルダーキット(VW-VH04-K（別売))を使って接続してください。(➔ 24ページ)

多目的ネジ穴について

• 本機の側面にある4箇所のネジ穴には、M3（3 mm径)タイプの長さ8 mmのネジが使用できます。
ネジを使用する場合は、無理に締め付けないで下さい。また、M3（3mm径)タイプの長さ8 mm以外のネジを使用すると、本機が破損する場合があります。

多目的ネジ穴は反対の側面にも２つあります。

その他の使用上の注意については 17 ページをご覧ください。

本機で使えるメディアについて

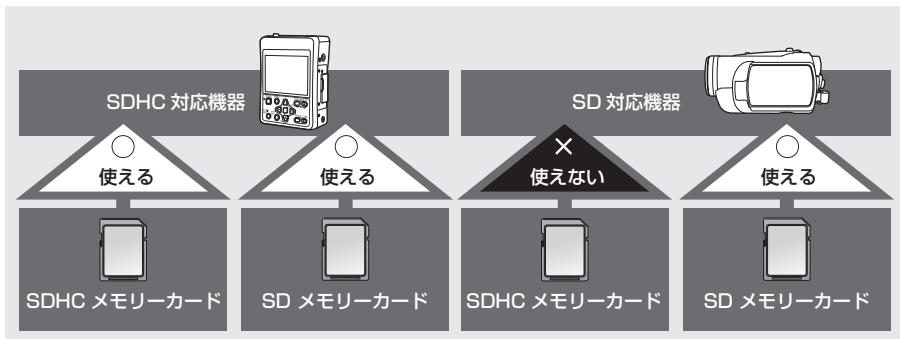
- SD/SDHC メモリーカードが使用できます。
- SD スピードクラスがクラス2 以上準拠のSD メモリーカード・SDHC メモリーカード、または下記の当社製SD メモリーカードのご使用をおすすめします。(2012年3 月現在)
  ただし、PHモード、ＨＡモード記録の場合はクラス4 以上が必要です。

<table>
<tr><th>カードの種類</th><th>記憶容量</th><th>記録・再生</th><th>メタデータの読み込み</th></tr>
<tr><td rowspan="5">SD メモリーカード</td><td>8 MB
16 MB</td><td>使用できません。</td><td rowspan="11">使用できます。</td></tr>
<tr><td>32 MB
64 MB
128 MB
256 MB</td><td>動作保証しておりません。
SD メモリーカードによっては、記録が突然停止することがあります。</td></tr>
<tr><td>512 MB</td><td rowspan="3">使用できます。</td></tr>
<tr><td>1 GB</td></tr>
<tr><td>2 GB</td></tr>
<tr><td rowspan="6">SDHC メモリーカード</td><td>4 GB</td><td rowspan="6">使用できます。</td></tr>
<tr><td>6 GB</td></tr>
<tr><td>8 GB</td></tr>
<tr><td>12 GB</td></tr>
<tr><td>16 GB</td></tr>
<tr><td>32 GB</td></tr>
</table>

- 取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、サポートページをご覧ください。
  http://panasonic.biz/sav/
- 本機はSD 規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされたSD メモリーカード、および FAT32 形式でフォーマットされたSDHC メモリーカードに対応しています。
- 4 GB 以上のメモリーカードはSDHC メモリーカードのみ使用できます。
- SDHC ロゴのない4 GB（以上)のメモリーカードは、SD 規格に準拠していません。
- SD メモリーカードのフォーマットは本機で行ってください。パソコンなど他の機器でフォーマットすると、記録に時間がかかったり、本機で使用できなくなる場合があります。(➔ 33ページ)（パソコンなどでフォーマットした時は、本機でフォーマットし直してください）
- miniSD/miniSDHC/microSD/microSDHC カードを本機で使用する場合は、必ず、専用のアダプターを装着してご使用ください。（アダプターのみを本機に挿入すると正常に動作しません。アダプターには、必ず、メモリーカードを入れてご使用ください。）
- マルチメディアカードは使用できません。

（次ページへつづく）

SDHC 対応機器について

- 本機(SDHC 対応機器)はSD メモリーカード/SDHC メモリーカード両方に対応しています。SDHC メモリーカードはSDHC メモリーカード対応の機器で使用できますが、SD メモリーカードのみに対応した機器では使用することができません。(SDHC メモリーカードを他機でお使いの場合は、必ずその機器の説明書をお読みください)
  SD 応用機器がSD スピードクラスに対応したクラス4 以上のカードを推奨の場合、クラス4 以上のSD メモリーカードのご使用により、安定した記録動作が得られます。

■AVCHD とは？

高精細なハイビジョン映像を記録・再生するための規格です。
映像圧縮は MPEG-4　AVC/H.264 方式、音声はドルビーデジタルで記録します。

■SDHC メモリーカード、また撮影したビデオの互換性について
以下のことにお気をつけください

SDHC メモリーカードについて

- SDHC 対応機器以外とは互換性がありません。
- 他機でお使いの場合は、SDHC 対応機器をご使用ください。

撮影したビデオの互換性について

- AVCHD対応機器以外とは互換性がありません。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をお読みください。
- 互換性のない機器(AVCHDに対応していない機器)では再生できません。
- AVCHD 対応機器であっても再生できない場合があります。
  この場合は、本機で再生してください。

使用上のご注意

使用中は本体や SD メモリーカードが温かくなりますが、異常ではありません。

雨天、降雪中、海岸などで使う時は、本機に水が入らないようご注意ください。

- 本機やカードの故障につながります。（修理できなくなることがあります。）

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（携帯電話、電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れてお使いください。

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で映像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、映像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、映像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーとACアダプターを一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わないでください。

- 近くで使用すると、電波や高電圧の影響で撮影映像や音声が悪くなることがあります。

本機や別売品に付属するコードやケーブルを使用し、延長して使わないでください。

浜辺や砂などほこりの多いところで使うときは、内部や端子部に砂やほこりが入らないようにしてください。
また海水などでぬらさないでください。

- 砂やほこりで本機やカードが破損することがあります。（カードを出し入れする時にはご注意ください。）
- 万一海水がかかったときは、よく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使う時は、本機にかけないでください。

- 殺虫剤や揮発性のものがかかると、本機本体が変形したり、塗装がはげるおそれがあります。
- 本機は、ゴム製品やビニール製品に長期間接触させたままにしないでください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしないでください。

- 強い衝撃が加わると、外装ケースが壊れ、故障する恐れがあります。

AC アダプターとバッテリーについて

- 充電ランプが点滅し続ける場合は、バッテリーやACアダプターの端子部にごみや異物、汚れが付着していないか確認し、正しく接続し直してください。ごみや異物、汚れが付着している場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから取り除いてください。それでも充電ランプが点滅する場合は、温度が高すぎるまたは低すぎるか、バッテリーまたはACアダプターが故障している可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- バッテリーの温度が高すぎたり、低すぎたりすると、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。
- ACアダプターをラジオの近くで使用すると、ラジオの音がひずむ場合があります。ACアダプターとラジオは1 m以上離してお使いください。
- ACアダプターの使用中に、ノイズ音が出る場合がありますが、故障ではありません。

機器を電源コンセントの近くに設置し､遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。

使用後は、バッテリーを外すか、または AC コードをコンセントから抜いておきます。

バッテリーの特性について

本機で使用する充電式リチウムイオン電池は、温度や湿度の影響を受けやすく、温度の低いところでは、満充電表示にならない場合や、使用開始後5 分くらいでバッテリー警告表示が出る場合があります。また高温になると保護機能が働き、使用できない場合もあります。

使い終わったら、必ずバッテリーを外してください。

本機からバッテリーを確実に外してください。付けたままにしておくと、本機の電源が切れていても、微量電流が消費されてしまいます。長期間バッテリーを付けたままにしておくと、過放電になり、充電しても使用できなくなるおそれがあります。

バッテリーの端子部を保護してください。

バッテリーの端子部にほこりや異物が付かないようにしてください。
また、バッテリーを誤って落下させてしまった場合、バッテリー本体と端子部が変形していないか確認してください。
変形したバッテリーを本機に入れたり、AC アダプターに付けると、本機や AC アダプターを傷めることがあります。

（次ページへつづく）

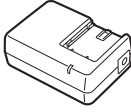
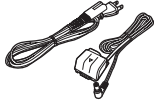
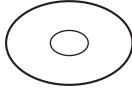
使用済みのバッテリーについて
不要になった電池（バッテリー）は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

使用済み充電式電池（バッテリー）の届け先
最寄りのリサイクル協力店へ。
詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。
- ホームページ:
  http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池の取り扱いについて
- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

SD メモリーカードについて
- SDメモリーカードのラベルに記載されているメモリー容量は、著作権の保護･管理のための容量と、本機やパソコンなどで通常のメモリーとして利用可能な容量の合計です。
- SDメモリーカードに強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 電気ノイズや静電気、本機やSDメモリーカードの故障により、SDメモリーカードのデータが壊れたり、消失することがあります。
- 長時間ご使用になると本機表面やSDメモリーカードが多少熱くなりますが、故障ではありません。

SD メモリーカードの取り扱い上のお願い
- カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させないでください。
- 次のような場所に置かないでください。
  - 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど温度が高いところ
  - 湿気やほこりの多いところ
  - 温度差の激しいところ（つゆつきが発生します）
  - 静電気や電磁波が発生するところ
- 使用後は袋やケースに収めてください。

メモリーカードを廃棄／譲渡する時のお願い
本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。 廃棄／譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

液晶について
- 液晶モニターに同じ映像や文字が長時間表示されたまま放置されると、画面に映像の焼き付きが生じることがありますが、数時間電源を切った状態にしておくと、元に戻ります。
- 液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については99.99 %以上の高精度管理をしておりますが、0.01 %以下で画素欠けや常時点灯するものがあります。また、これらの点はSDメモリーカードの映像には記録されませんのでご安心ください。
- 温度差が激しいところでは、液晶モニターの液晶部につゆがつくことがあります。そのような場合は柔らかい乾いた布でふいてください。
- 本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は、液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。
- 本機を湿気の多いところに保管しないでください。電源を入れたとき、まれに液晶モニター内部がくもる場合があります。

端子の保護について
接続端子を使用しない時は、カバーを取り付けておいてください。

付属品

- 本機に同梱している、ACアダプターには、「ビデオカメラ用」と表示されていますが、問題なくご使用いただけます。
- 付属品の追加ご購入は販売店にご相談ください。
- AC コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

別売品

- **バッテリー**
  AG-BPS581（7.2 V 5800/5400 (typ./min.) mAh）
  （本機で使用するには下記のバッテリーパックホルダーキットが必要です）（➔ 24ページ）
- **バッテリーパックホルダーキット**
  VW-VH04-K
- **コンパクトカメラヘッド**
  AG-HCK10G（本機と接続するには下記のカメラヘッドオプションケーブルが必要です）
  - **撮像素子**
    1/4.1 型　MOS 型固体撮像素子 ×3
  - **レンズ**
    光学式手ぶれ補正レンズ、電動 12 倍ズーム
    F1.8 ～ 2.8（f=4.0 mm ～ 48 mm）
    （35 mm 換算：40.8 mm ～ 490 mm）
  - **フィルター径**
    43 mm
  - **色分解光学系**
    プリズム方式
- **カメラヘッドオプションケーブル**
  AG-C20003G (3 m)
  AG-C20020G (20 m)

各部の名称

操作部 / 液晶部 / 機構部

■前面

液晶モニター
（➔ 31 ページ）

MENU ボタン
（➔ 28 ページ）

POWER ボタン
（➔ 25 ページ）

POWER ランプ
（➔ 25 ページ）

REW ボタン
（➔ 28、43、59 ページ）
操作説明では ◀◀ で
表記しています。

タリーランプ
（➔ 26 ページ）

REC/PAUSE ボタン
（➔ 35、36 ページ）

SHIFT/EXEC ボタン
（➔ 40、43 ページ）

PLAY / STILL ボタン
（➔ 28、43、59 ページ）
操作説明では ▶/II で
表記しています。

ENTER ボタン
（➔ 28、40、43、59 ページ）

AUDIO MON/ADV ボタン
（➔ 43、46、69 ページ）

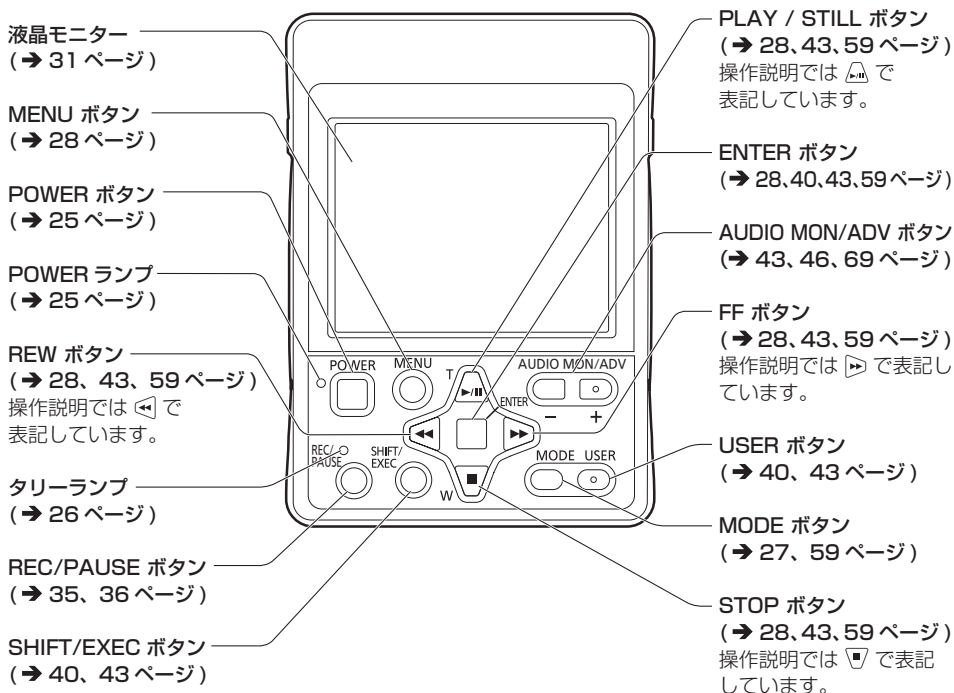
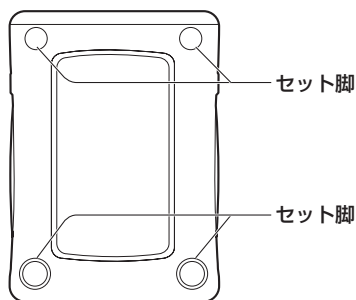
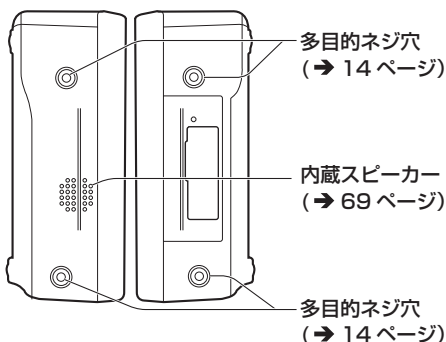
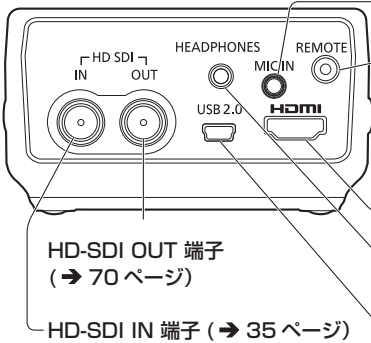
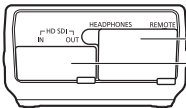
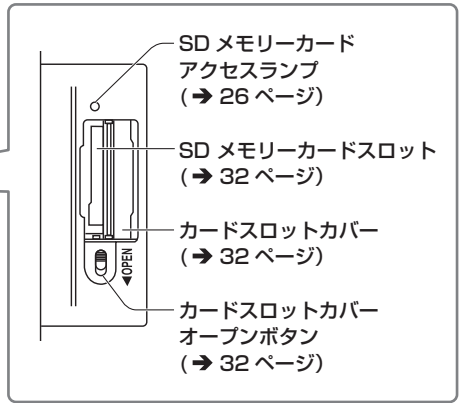
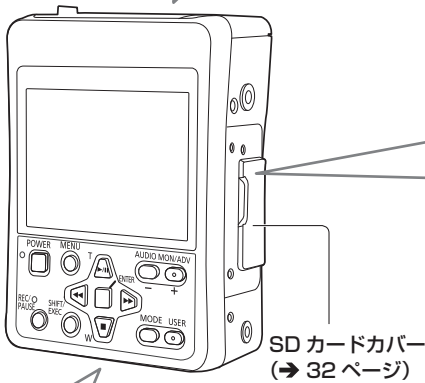
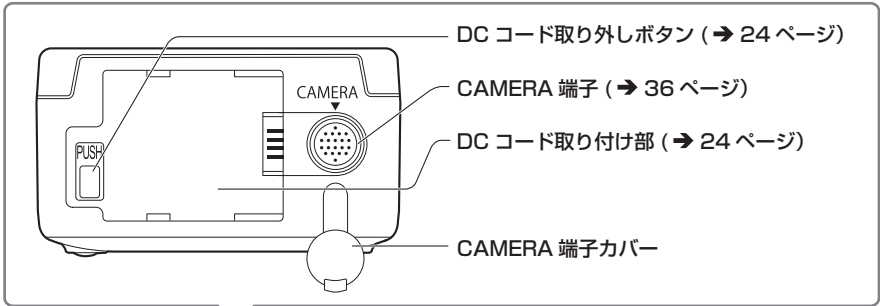
FF ボタン
（➔ 28、43、59 ページ）
操作説明では ▶▶ で表記し
ています。

USER ボタン
（➔ 40、43 ページ）

MODE ボタン
（➔ 27、59 ページ）

STOP ボタン
（➔ 28、43、59 ページ）
操作説明では ■ で表記
しています。

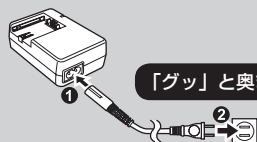
■後面　■側面

端子部 / 機構部

• HD-SDI IN 端子、HD-SDI OUT 端子に接続するケーブルは、5C-FB 相当のダブルシールドのものを使用してください。

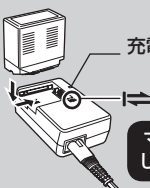
電源の準備

バッテリー（別売）を充電する

お買い上げ時、バッテリーは充電されていません。充電してからお使いください。
また、予備のバッテリーを 1 本用意されることをお勧めします。

1 電源コードを AC アダプターにつなぐ。

2 バッテリーを付ける。

■**充電ランプ**
点灯：充電中
消灯：充電完了
点滅：下記参照

■**充電ランプが点滅した時は**
バッテリーや AC アダプターの端子部にごみや異物、汚れが付着していないか確認し、正しく接続し直してください。
- ごみや異物、汚れが付着している場合は、電源プラグをコンセントから抜いた後、取り除いてください。
- それでも充電ランプが点滅する場合は、バッテリーまたはACアダプターが故障している可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。

■充電時間と記録可能時間の目安

バッテリー品番	電圧 / 容量	充電時間	連続記録可能時間
AG-BPS581	7.2 V/5800/5400 (typ./min.) mAh	約 350 分	SDI 記録時 (SDI モード) 約 350 分
			AG-HCK10G 接続記録時 (CAM モード) 約 160 分

- 上の表は常温(温度25 ℃ / 湿度60 %)での時間です。高温、低温時は充電時間が長くなりますので、目安にしてください。
- 長時間使用していないバッテリーを充電する時は、充電時間が長くなる場合があります。
- 連続記録可能時間は、外部機器と接続せずにPHモード1080/60i（または、1080/50i)で記録した場合の目安です。
- 使用状況によって連続記録可能時間は変わりますので、目安にしてください。
- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。

■バッテリー残量表示について

本機で使えるパナソニック製バッテリー使用時は、バッテリー残量が分単位で表示されます。

90 min

表示されるまでしばらく時間がかかります。

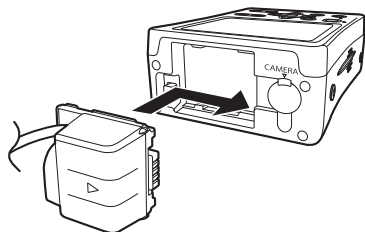
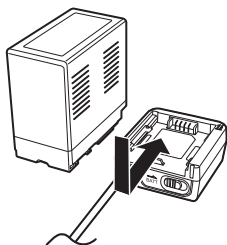
- バッテリーの残量が少なくなるに従って、→→→→と表示が変わります。3 分以下になると が赤色になり、容量がなくなると、 が点滅します。
- 低温、高温になるところや、長時間ご使用にならなかった場合は、バッテリー残量表示が正しく表示されないことがあります。バッテリー残量表示を正しく表示させるには、バッテリーを満充電してから使い切り、再度充電してください。（この操作を行っても、低温、高温になるところで長時間使用したバッテリーや、何度も充電を繰り返したバッテリーでは、バッテリー残量表示を正しく表示できないことがあります）
- 使用状況によってバッテリー残量表示の時間は変わりますので、目安にしてください。
- モードを切り替えたり、LCDバックライトの明るさを変更した時などは、バッテリー残量時間を再度計算するため時間表示が一度消えます。
- ACアダプター使用時は表示されません。

- バッテリーおよびレコーダー本体は、使用中や充電中には温度が高くなります。
- 記録と停止を繰り返すと、表に示した時間より、記録時間は短くなります。
- バッテリーが温かい時、充電時間は通常より長くかかります。
- AC アダプターをラジオの近くで使用すると、ラジオの音がひずむ場合があります。AC アダプターとラジオは1 m 以上離してお使いください。
- AC アダプターの使用中に、AC アダプターからノイズ音が出る場合がありますが、故障ではありません。
- AC アダプターにDC コードを接続している時は、バッテリーの充電を行うことができません。

バッテリー（別売）を使う

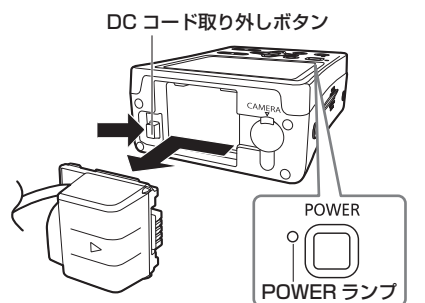
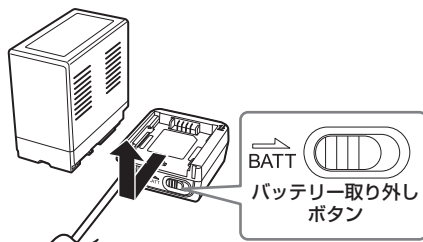
本機でバッテリー（AG-BPS581（別売））をご使用の場合、バッテリーパックホルダーキット（VW-VH04-K（別売））を使って接続してください。

取り付け

1 バッテリーパックホルダーキット（VW-VH04-K（別売））の DC コードを、本機の DC コード取り付け部にカチッという音がするまで入れる。

2 バッテリー（AG-BPS581（別売））をバッテリーパックホルダーキットのバッテリー取り付け部に、カチッという音がするまで入れる。

取り外し

1 [POWER] ボタンを2秒以上押して電源を切る。

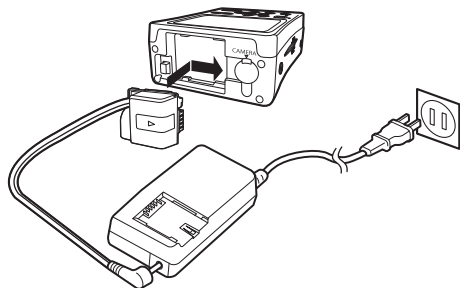
2 バッテリーパックホルダーキットのバッテリー取り外しボタンを押しながら、バッテリーをスライドさせて取り外す。

3 本機の DC コード取り外しボタンを押しながら、バッテリーパックホルダーキットの DC コードをスライドさせて取り外す。

AC アダプターを使う

取り付け

1 DC コードを AC アダプターに接続する。

2 AC コードをコンセントに接続する。

3 DC コードのプレートを、本機のバッテリー取り付け部にカチッという音がするまで入れる。

取り外し

1 [POWER] ボタンを２秒以上押して電源を切る。POWER ランプが消灯したことを確認する。

2 バッテリー取り外しボタンを押しながら DC コードのプレートをボタン方向にスライドさせて取り外す。

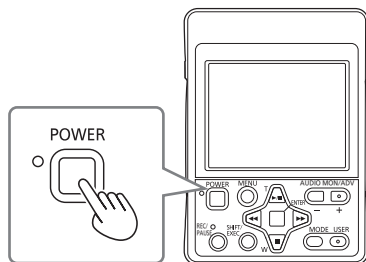
3 AC コードをコンセントから抜く。

- AC アダプターにDC コードを接続している時は、バッテリーの充電を行うことができません。
- AC アダプターは全世界の電源電圧(100 V－240 V)、電源周波数(50 Hz、60 Hz)で動作するように設計されています。ただし、国によって電源コンセントの形状は異なります。その国に合ったプラグを準備してください。変換プラグはお買い上げの販売店にご相談の上、お求めください。 (➔ 103ページ)
- 本機を使用しない時は、AC コードをコンセントから外してください。

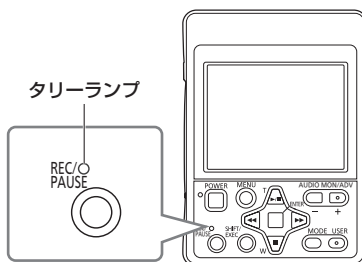
電源の入れかた・切りかた

[POWER] ボタンを２ 秒以上押す。
- POWERランプ(緑)が点灯し電源が入ります。
- 電源が入った状態で[POWER] ボタンを2 秒以上押すと、POWERランプ が点滅し、電源が切れると消灯します。

また、本機が下記の状態の時は、POWER ランプが点滅します。
- 記録異常が発生した時
- カメラケーブルが外れた時
(カメラヘッド AG-HCK10G（別売)接続時)

- **省電力モードについて**
記録待機状態(SD メモリーカード挿入時)で約5 分間、特定の操作* がない場合、設定メニュー[OTHER FUNCTIONS]の[POWER SAVE]の設定によって次のようになります。
ON：自動的に本機の電源が切れます。
OFF: 電源が切れません。
* 特定の操作については、設定メニュー [POWER SAVE] (➔ 96ページ)をご覧ください。

タリーランプについて

記録中にタリーランプが点灯します（赤色）。
また、本機が下記の状態の時は、タリーランプが点滅します。
（1 秒間に 4 回）

- 記録異常が発生した時
- バッテリーの残量がなくなった時
- SD メモリーカードの記録残量がなくなった時
- システム周波数を変更した時
  （1 秒間に1 回）
- バッテリーの残量が少なくなった時
- SD メモリーカードの記録残量が少なくなった時
- 設定メニューの初期化を行った時(➔ 29ページ)

■カメラヘッド AG-HCK10G（別売）接続時
以下の場合タリーランプが点滅します。
(1 秒間に 4 回)

- 冷却用のファンが正しく動作していない時
- カメラ内部の温度が異常に高くなった時
- 記録信号が乱れた時
- 手ぶれ補正機能が正しくはたらいていない時
- フォーカス機能に異常がある時
- カメラケーブルが外れた時

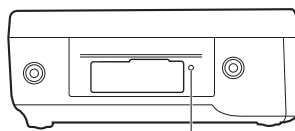
SD メモリーカードアクセスランプについて

本機に挿入した SD メモリーカードのアクセス状態により、SD メモリーカードアクセスランプが以下のように点灯します。

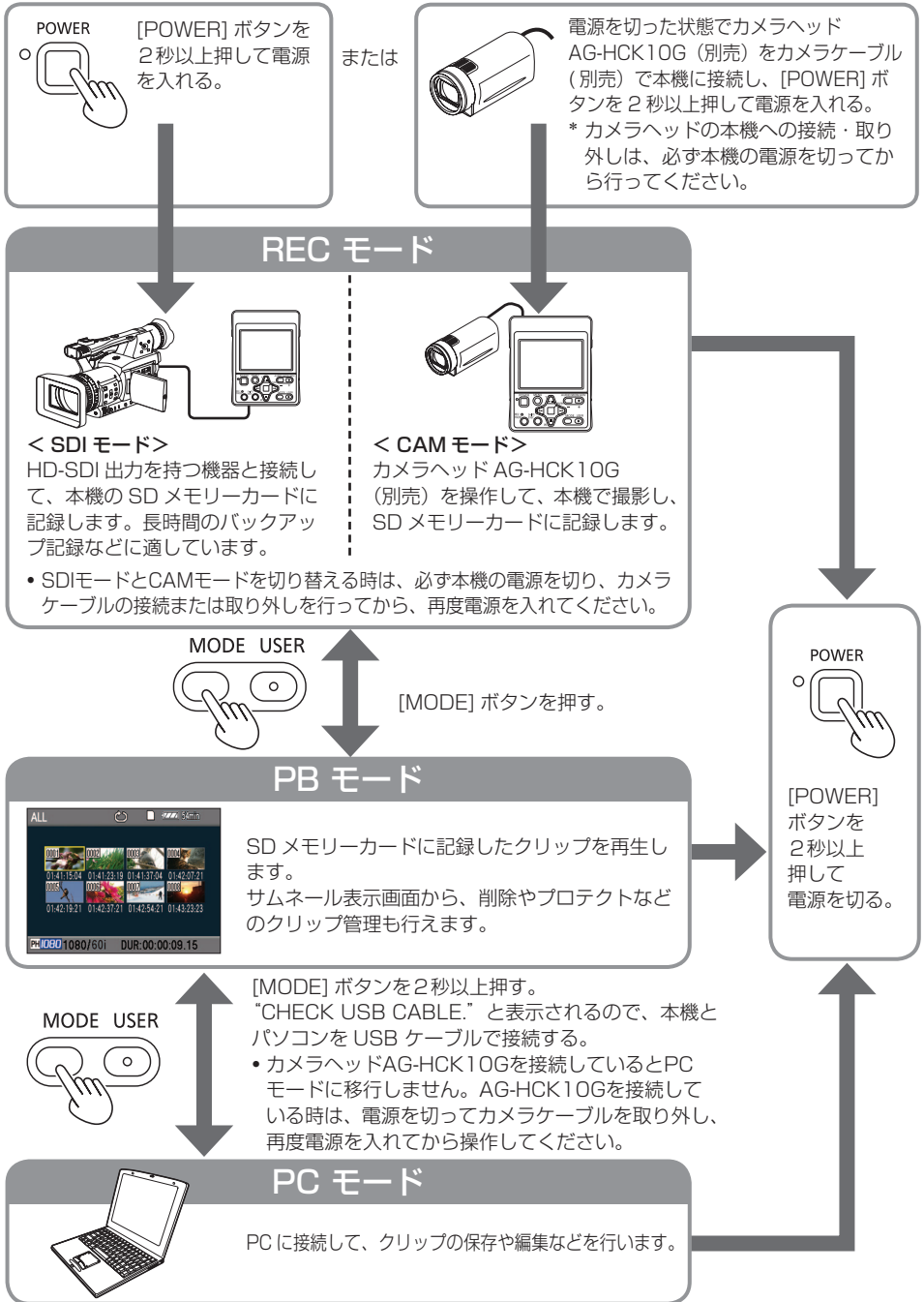
■REC モード、PB モード

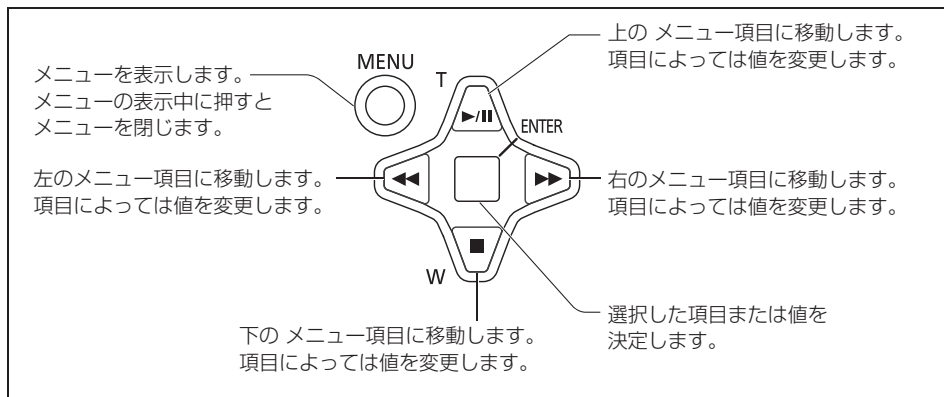
オレンジ色点灯：　読み込み、書き込み可能
オレンジ色点滅（速）：認識中、不良カード判別時
オレンジ色点滅（遅）：アクセス中
(記録中、再生中、読み込み中)
消灯 :　未挿入、未フォーマット
未対応カードの挿入

■PC モード

オレンジ色点滅（遅）：　アクセス中
消灯 :　アクセス中以外

- SD メモリーカードアクセスランプが点滅中に下記の動作を行わないでください。
  SD メモリーカードやSD メモリーカードの内容が破壊されたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。
  ・SD メモリーカードを抜く
  ・電源を切る
  ・バッテリーを取り外す
  ・USB接続ケーブルを抜き差しする
  ・振動や衝撃を与える

動作モードについて

本機は REC モード、PB モード、PC モードの３つのモードで動作します。
[MODE] ボタンを押すと、モードが切り替わります。

設定メニューの基本操作

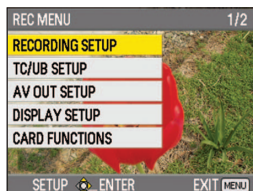
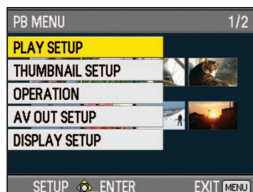
■設定メニューで使用するボタンのはたらき

設定メニューの操作方法

• グレー文字で表示されているメニュー項目は変更できません。

1 **記録中や再生中以外の時に、[MENU] ボタンを押す。**

下記の機能画面が、液晶モニターに表示されます。

• プリレック設定時は、"Wait"と表示された後で機能画面が表示されます。

REC モード（例）

PB モード（例）

2 **▶/II ■ を押して、設定したい機能に黄色のカーソルを移動する。**

3 **[ENTER] ボタンまたは ▶▶ を押して、設定項目を表示する。**

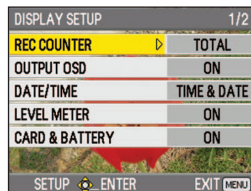
例：

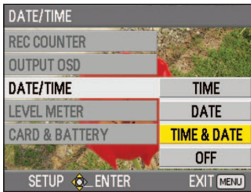
4 **▶/II ■ を押して、設定したい項目に移動する。**

例：

DISPLAY SETUP 1/2

REC COUNTER	TOTAL
OUTPUT OSD	ON
DATE/TIME	TIME & DATE
LEVEL METER	ON
CARD & BATTERY	ON

SETUP ENTER EXIT MENU

5 **[ENTER] ボタンまたは ⏩ を押して、設定する。**
⏯ ⏹ を押すと、数値などが変更できます。
例：

DATE/TIME	
REC COUNTER	
OUTPUT OSD	
DATE/TIME	TIME
LEVEL METER	DATE
CARD & BATTERY	TIME & DATE
	OFF
SETUP ENTER	EXIT MENU

- ⏪ を押すと、1つ前のメニューに戻ります。

6 **他の項目を変更する場合は、4 ～ 5 を繰り返す。**
設定を終了する場合は、[MENU] ボタンを押して、通常画面に戻ります。

7 **他の機能を変更する場合は、2 ～ 5 を繰り返す。**
設定を終了する場合は、[MENU] ボタンを押して、通常画面に戻ります。

設定メニューを初期化する

REC モード時に以下の操作を行うと、設定メニューを工場出荷時の状態に戻すことができます。

1 **[MENU] ボタンを押す。**

2 **[OTHER FUNCTIONS] → [MENU INIT] → [YES] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。**
“TURN POWER OFF”が表示されたら、[POWER] ボタンを 2 秒以上押して電源を切ってから、再度電源を入れてください。現在の設定メニューが工場出荷時の状態に戻ります。
- 設定メニューの初期化を行っても、[TIME ZONE]の設定は工場出荷時の状態に戻りません。
- 設定メニューの初期化を行っても、メタデータは初期化されません。(メタデータの初期化 ➔ 93ページ)

準備

日時の設定 / 内蔵電池の充電 / 液晶モニターの調整

本機で記録する前に、まず設定メニューで日時の設定や液晶モニターの調整を行います。

日時を設定する

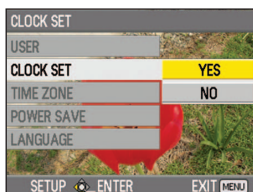
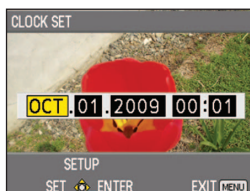
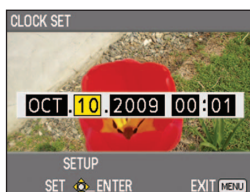
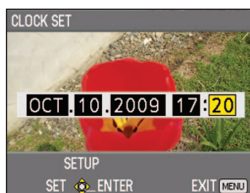
設定メニュー[CLOCK SET]の値は、コンテンツ(クリップ）に記録され、サムネールによる再生順序に影響します。記録の前に、必ず [CLOCK SET] と [TIME ZONE] を確認し、設定してください。
ここでは例として、2009 年 10 月 10 日 17 時 20 分に設定する手順を説明します。

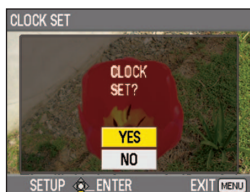
1 本機の [POWER] ボタンを２秒以上押して電源を入れる。
（➔ 25 ページ）

2 [MENU] ボタンを押す。
設定メニューの基本操作 （➔ 28 ページ）

3 [OTHER FUNCTIONS] → [TIME ZONE] を選択し、[ENTER] ボタンまたは ▶ を押す。

4 [ENTER] ボタンを２回押して設定画面を表示させ、◀ ▶ を押してグリニッジ標準時間からの時差を設定し、[ENTER] ボタンを押す。
日本で使う場合、「+09:00」（工場出荷モード）に設定します。（➔ 96 ページ）

5 ◀ を押して [OTHER FUNCTIONS] 設定メニューに戻り、[CLOCK SET] → [YES] を選択して [ENTER] ボタンを押す。

6 ▲ ▼ を押して [OCT] を選択する。

7 ▶ を押してカーソルを次の項目に移動させ、▲ ▼ を押して [10] を選択する。

8 手順 6、7 と同様の方法で、残りの項目を設定する。

- 日付は2001年1月1日 から2039年12月31日 まで設定できます。
- 日付が2039年12月31日を超えた場合は、“--.--.----” が表示されます。
- 時刻は24時間表示です。

9 設定が終了したら [ENTER] ボタンを押し、確認の画面で [YES] を選択して [ENTER] ボタンを押す。

- 時刻には誤差が生じますので、記録前に時間が合っているか確認してください。
- 海外で使う場合、[CLOCK SET]の時間を現地時間に設定するのではなく、[TIME ZONE]でグリニッジ標準時間からの時差を入力してください。(➔ 96ページ)

内蔵電池の充電

年月日、時刻は内蔵電池を使って記憶させています。
日時設定しても、“LOW INTERNAL BATTERY”(内蔵電池の残量がありません)が表示される時は、内蔵電池が消耗しています。以下の方法で充電してください。
充電完了後、日時を設定してください。

1 本機に AC アダプターを接続する。 **(➔ 25 ページ)**
- 本機の電源は切ったままにします。

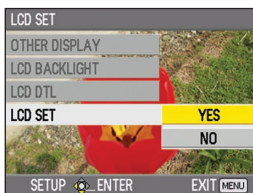
2 約 4 時間、そのままの状態にしておく。
- 内蔵電池が充電されます。
- 充電を行った後は、タイムコードやメニューを確認してください。

充電後も年月日、時刻が記憶されない場合は、内蔵電池の交換が必要です。お買い上げの販売店にご依頼ください。

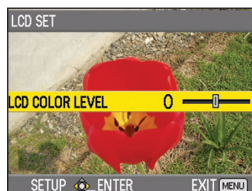
液晶モニターを調整する

1 本機の [POWER] ボタンを2秒以上押して電源を入れる。 **(➔ 25 ページ)**

2 [MENU] ボタンを押す。
設定メニューの基本操作 (➔ 28 ページ)

3 [DISPLAY SETUP] → [LCD SET] → [YES] を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

4 ▲ ▼ を押して項目を選択し、[ENTER] ボタンを押す。

LCD COLOR LEVEL: 画面の色濃度を調整します。
LCD BRIGHTNESS: 画面の明るさを調整します。
LCD CONTRAST: 画面のコントラストを調整します。
- すべての液晶モニター調整値を最少にすると、画面が見えにくくなりますので、ご注意ください。

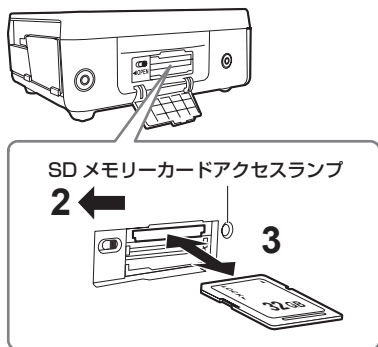
5 ◀ ▶ を押して項目の値を設定し、[ENTER] ボタンを押す。

6 [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

SD メモリーカードについて

SD メモリーカードを挿入する / 取り出す

1 **SD カードカバーを開く。**

2 **カードスロットカバーオープンボタンを左にスライドさせてカードスロットカバーを開く。**
- 記録中にカードスロットカバーを開けると記録が停止します。

3 **SD メモリーカードを挿入する / 取り出す。**
- SDメモリーカードを取り出す前に、SDメモリーカードアクセスランプがオレンジ色に点滅していないことを確認してください。

挿入する時：ラベルを上にして、「カチッ」と音がするまでまっすぐ押し込む。
取り出す時：SD メモリーカードの中央を押し、少し出たらまっすぐ引き抜く。

- SDメモリーカードが故障する原因となりますので、以下の状態の時は、カードを取り出したり、電源を切ったりしないでください
  ① SD メモリーカード挿入後、オレンジ色のカードアクセスランプの点滅が点灯に変わるまでの間
  ② 記録中や記録終了処理中など、SD メモリーカードアクセスランプが点滅している間

4 **カードスロットカバーを指で押し上げて閉める。**
- 「カチッ」と音がするまで確実に閉じてください。

5 **SD カードカバーを閉じる。**

- 他の機器でお使いになったSD メモリーカードを本機で初めてお使いの場合は、まずフォーマットしてください。(➔ 33ページ)
- 本機のシステム周波数を変更すると、SD メモリーカードが使用できなくなります。現在のシステム周波数の設定でフォーマットしてからご使用ください。
- フォーマットすると、SD メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことができません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 液晶モニターの画面に“CHECK CARD”（カードを確認してください。）の表示が出た場合は、SD メモリーカードを取り出して、再度挿入してください。

SD メモリーカードの保護について

SD メモリーカードの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐには、SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にします。

SD メモリーカードの修復について

SD メモリーカードの故障の原因になりますので、SD メモリーカードアクセスランプが点滅中に SD メモリーカードを取り出したり、バッテリーや DC コードを取り外したりしないでください。万が一、SD メモリーカードアクセスランプが点滅中に SD メモリーカードを取り出した場合や、記録中や記録終了処理中にバッテリーや DC コードを取り外して電源が切れた場合は、エラーを修復するために、次に電源を入れた時に修復を確認する画面が表示されます。

[YES] を選ぶと修復がはじまり、修復が終了すると "REPAIR FINISHED" が表示され、記録待機画面になります。
[NO] を選ぶと修復せずに記録待機画面になります。

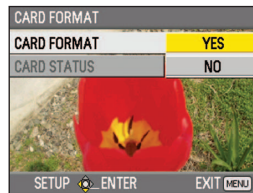
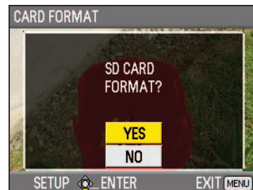
- [NO]を選んだ場合は、本機で修復できなくなりますが、コンテンツ修復ソフトAVCCAM Restorer（リストアラー）*を使うと修復可能です。
- エラーの発生したSDメモリーカードは、記録を行ったレコーダー本体または、コンテンツ修復ソフトAVCCAM Restorer（リストアラー)を使うと修復可能です。
- エラーの発生していないSDメモリーカードを挿入した場合に、修復確認メッセージが表示されることがありますが、[YES]または[NO]のいずれを選択しても修復はされません。
- 修復時間はカードのエラー発生箇所により最大20分前後かかる場合があります。
  十分に充電されたバッテリーまたは、ACアダプターをご使用ください。
- 修復に失敗すると、"SYSTEM ERROR TURN POWER OFF" が表示されます。この場合は、コンテンツ修復ソフトAVCCAM Restorer（リストアラー)をお使いください。
  データの状態によっては、完全に修復できないことがあります。この場合は、電源が切れる前に記録したクリップが再生できなくなります。
- 記録時間が10秒未満のクリップは、修復できない場合があります。
- メタデータおよび記録中に付加したインデックスは修復されません。

* AVCCAM Restorer（リストアラー）は同梱の CD-ROM に添付されています。ご使用になるパソコンに合わせてお使いください。使用方法については、同梱の CD-ROM に添付されている取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。
下記サイトにおいてもダウンロードすることができます。
http://panasonic.biz/sav/

SD メモリーカードのフォーマット

1 **本機の [POWER] ボタンを2秒以上押して電源を入れる。(➔ 25 ページ)**

2 **[MENU] ボタンを押す。**
設定メニューの基本操作（➔ 28 ページ）

3 **[CARD FUNCTIONS] → [CARD FORMAT] を選択する。**
- 下記のような画面が表示されますので、[YES]を選択して[ENTER]ボタンを押します。フォーマットしない場合は[NO]を選択してください。
- [MENU]ボタンを押すと、メニューが閉じます。

4 **確認の画面で [YES] を選ぶ。**
- SD メモリーカードがフォーマットされます。

5 **[MENU] ボタンを押してメニューを閉じる。**
- フォーマットすると、SD メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことができません。
  大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

SD メモリーカードの記録時間について

• パナソニック製SD/SDHC メモリーカード使用時の記録時間(目安)

SD メモリーカード容量	記録モード				
	PH*1 (最高画質モード*3/ 1920 × 1080 画素 又は 1280 × 720 画素)	PM*2 (長時間モード/ 1280 × 720 画素)	HA*1 (高画質モード/ 1920 × 1080画素)	HG*2 (標準画質モード/ 1920 × 1080画素)	HE*2 (長時間モード/ 1440 × 1080画素)
512 MB	約 2分	約 5分	約 3分	約 4分	約 10分
1 GB	約 5分	約 12分	約 7分	約 9分	約 21分
2 GB	約 10分	約 25分	約 15分	約 20分	約 45分
4 GB	約 21分	約 52分	約 30分	約 40分	約 90分
6 GB	約 33分	約 80分	約 45分	約 60分	約 135分
8 GB	約 45分	約 110分	約 60分	約 80分	約 180分
12 GB	約 65分	約 170分	約 90分	約 120分	約 270分
16 GB	約 90分	約 225分	約 120分	約 160分	約 360分
32 GB	約 180分	約 450分	約 240分	約 320分	約 720分

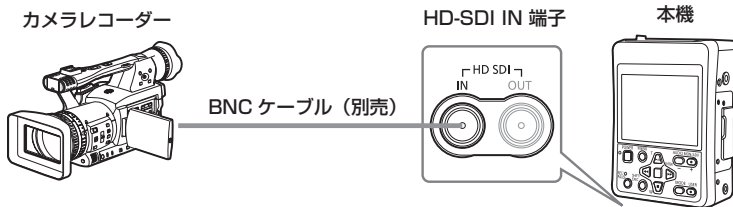
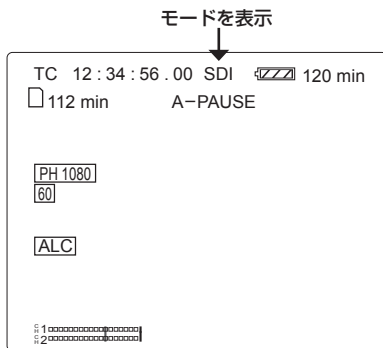
*1 PHモードおよびHAモードで記録する場合は、SD スピードクラス4以上のSD メモリーカードをお使いください。SD スピードクラス4未満のSD メモリーカードでは記録できません。
*2 PMモード、HGモードおよびHEモードで記録する場合は、SD スピードクラス2以上のSD メモリーカードのご使用をおすすめします。
*3 本機での最高画質モードです。

• 本機はVBR記録方式を採用しております。VBRとはVariable Bit Rate (可変ビットレート)の略で、撮影する被写体によりビットレート(一定時間あたりのデータ量)が自動的に変わる記録方式です。このため、動きの激しい被写体を記録した場合は、記録できる時間が短くなります。
• 表示容量には管理領域などが含まれており、記録に使用できる容量はこれより少なくなります。
• 連続して記録できる時間は最大12時間です。
• 以下のような撮影条件では、再生画面にモザイク状のノイズが出る場合があります。
  ・背景に複雑な絵柄がある場合
  ・動きの激しい被写体を撮影した場合 (特に記録モードをHEに設定しての撮影時)
• 記録・削除を何度も繰り返していると、SD メモリーカードの記録時間が短くなる場合があります。その場合は、本機でSD メモリーカードをフォーマットしてください。フォーマットすると、SD メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことができません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

SD メモリーカードに記録する（REC モード）

以下の 2 つのモードを使って SD メモリーカードに記録することができます。
SDI モード：　HD-SDI 出力機器と接続して入力記録を行う
CAM モード：　カメラヘッド AG-HCK10G（別売）と接続して撮影・入力記録を行う

HD-SDI 入力記録をする（SDI モード）

HD-SDI 出力端子が搭載されている外部機器を接続して、映像信号や音声信号、また、タイムコード (S-LTC) などを本機に記録することができます。

1 **[POWER] ボタンを 2 秒以上押して電源を入れる。**
SDI モード画面が表示されます。

2 **[MENU] ボタンを押す。**
設定メニューの基本操作（➔ 28 ページ）

3 **下記の設定メニューの項目で、SDI モードにかかわる各種の設定を行う。**
- **[RECORDING SETUP]→[REC FORMAT]（➔ 88 ページ）**
  - 入力する信号の映像フォーマットと本機の記録フォーマットを合わせてください。フォーマットが合っていない場合、記録できずに液晶モニター画面の“SDI”表示が点滅します。
  - 工場出荷モードでは、PH モード 1080/60i 記録の設定になっています。
- **[RECORDING SETUP]→[AUTO REC]（➔ 88 ページ）**
- **[TC/UB SETUP]の各項目(➔ 90 ページ)**

4 **[REC/PAUSE] ボタンを押して記録を開始する。**
- メニュー画面が表示されていると記録ができません。メニュー画面を閉じてから、[REC/PAUSE]ボタンを押してください。
- 外部機器制御機能を備えたカメラレコーダーの場合は、本機の記録･記録待機などの操作が行えます。HD-SDI 接続における対応機器、ならびに本機の設定については設定メニュー「RECORDING SETUP」の「AUTO REC」（➔ 88 ページ）を参照してください。またカメラレコーダーの設定はカメラレコーダーの取扱説明書を参照してください。

5 **[REC/PAUSE] ボタンを押して記録を終了する。**
- 記録待機状態になります。

準備
記録

カメラで撮影して記録する（CAM モード）

カメラヘッド AG-HCK10G（別売）を接続すると、本機でカメラ機能を操作しながら撮影することができます。

1 **本機とカメラヘッドをカメラケーブルで接続し、[POWER] ボタンを 2 秒以上押して電源を入れる。**

CAM モード画面が表示されます。

- カメラヘッドと接続する前に電源を入れると、SDI モードになり、CAMモードには切り替えることができません。本機の電源が入った状態でカメラヘッドを接続または取り外すと、本機とカメラヘッドが故障する原因となります。カメラヘッドの本機への接続・取り外しは、必ず本機の電源を切ってから行ってください。
- 故障やケーブル断線など、カメラヘッドに異常がある場合、記録できずに液晶モニター画面に"SYSTEM ERROR TURN POWER OFF"が表示され、“CAM”表示が点滅します。

2 **[MENU] を押す。**

設定メニューの基本操作（➔ 28 ページ）

3 **[RECORDING SETUP] → [REC FORMAT] を選択し、[ENTER] ボタンまたは ▶ を押す。**

4 **▲ ▼ を押して記録フォーマットを選択し、[ENTER] ボタンを押す。**

- 工場出荷モードでは、PHモード1080/60i記録の設定になっています。

5 **[REC/PAUSE] ボタンを押して撮影を開始する。**

- メニュー画面が表示されていると撮影ができません。メニュー画面を閉じてから、[REC/PAUSE]ボタンを押してください。
- 工場出荷時は、フォーカス、アイリス、シャッタースピードの調整がオートに設定されています。設定を変更する場合は51ページをご覧ください。
- CAMモード(カメラヘッドAG-HCK10G接続時)中は内蔵スピーカーから音声は出力されません。

6 **[REC/PAUSE] ボタンを押して撮影を終了する。**

- 撮影待機状態になります。

■SD メモリーカードへの記録について
• 記録を開始してから停止するまでが、1クリップとして記録されます。
• 1枚のSD メモリーカードに記録できるクリップ数の上限は900です。（ただし、電源を入れてすぐに記録するような場合に、クリップ数が900を超えて記録されることがあります。）
• PB モード(➔ 59 ページ)、PC モード(➔ 72 ページ)では記録できません。
• SDIモードはネイティブ記録には対応していません。

■記録中の操作について
• 映像信号が入力されていることを確認してから記録を行ってください。
• 記録中にカードスロットカバーを開けると、記録が停止します。
• 短時間記録の停止動作の場合、[REC/PAUSE]ボタンを押しても、SD メモリーカードへの書き込み完了までに時間を要する場合があります。その場合は、すぐに[REC/PAUSE]ボタンを押しても、動作を受け付けることができません。
• SD メモリーカード挿入直後は、SD メモリーカード情報の読み込みを行っていますので、動作状態表示 (➔ 77ページ)に"PAUSE"が表示されてから、[REC/PAUSE]ボタンを押して撮影を開始してください。
• 記録中に入力信号フォーマットが変化すると、正しい記録が行えません。
• 記録中に外部機器の出力を停止したりケーブルを抜いたりしないでください。再度記録を行う時に信号を正しく認識できないことがあります。
• 不正規信号や連続的な乱れのある入力信号を入力したまま記録開始しないでください。機器が正常に動作しないことがあります。
• 記録中にHD-SDI入力信号に重畳されているS-LTC やS-VITC 内の時間情報データ識別コード(DBB1)がなくなったり、S-LTCやS-VITCのON/OFFが切り替わったりすると、その切り替わり時に映像が乱れることがあります。

タイムコードを設定する

タイムコードを設定する

設定メニュー [TC/UB SETUP] の下記の項目で、タイムコードにかかわる各種の設定を行います。(➔ 90 ページ)

- TC MODE
  ([SYSTEM FREQ]を[59.9Hz]に設定時のみ)
- TCG
- SDI REGEN
- TC PRESET

[SDI REGEN] を [ON] に設定すると、[TC MODE]、[TCG]、[TC PRESET] の設定を変更することができなくなります。

タイムコードを指定する (TC PRESET)

任意の値を記録開始時のタイムコード値として記録する場合、[TC PRESET] でタイムコード値を設定します。

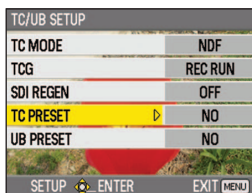
1 **本機の [POWER] ボタンを2秒以上押して、電源を入れる。**

2 **[MENU] ボタンを押す。**
設定メニューの基本操作(➔ 28 ページ)

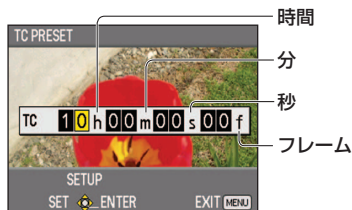
3 **[TC/UB SETUP] → [TC PRESET] を選択する。**

TC/UB SETUP

TC MODE	NDF
TCG	REC RUN
SDI REGEN	OFF
TC PRESET	NO
UB PRESET	NO

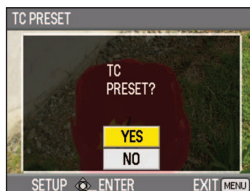
SETUP ENTER EXIT MENU

4 **を押して [YES] に移動し、[ENTER] ボタンを押す。**

5 **下記の画面が表示されたらタイムコード値を設定する。**
を押して、タイムコード値を選択します。

を押して次の桁に移動し、再度、を押して値を選択します。

例：10 時間 23 分 46 秒 20 フレームに設定する場合は、"10h23m46s20f" とタイムコード値を選択します。

タイムコード設定中に [USER] ボタンを押すと、タイムコード値がゼロにリセットされます。

6 **タイムコード値の設定が完了したら [ENTER] ボタンを押す。**

7 **を押して [YES] に移動し、[ENTER] ボタンを押す。**

本機では、記録フォーマットやフレームレートに従ってタイムコードの値が調整されます。記録フォーマットを 1080/24P、720/24P にして撮影した場合は、4 フレーム単位で記録を行うため、記録フォーマットやフレームレートを変更すると、前回の最終タイムコード値と不連続になることがありますのでご注意ください。([SYSTEM FREQ] を [59.9Hz] に設定時のみ)

ユーザーズビットを設定する

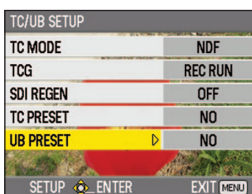
ユーザーズビットを設定することにより、16 進数 8 桁までのメモ情報を記録することができます。
ユーザーズビットの設定内容は、自動的にメモリーされ、電源を切った後も保持されます。

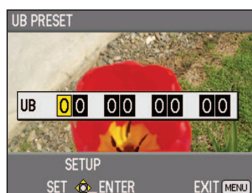
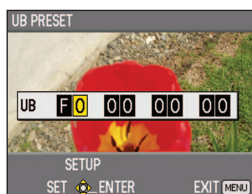
1 **本機の [POWER] ボタンを２秒以上押して、電源を入れる。**

2 **[MENU] ボタンを押す。**
設定メニューの基本操作 (➔ 28 ページ)

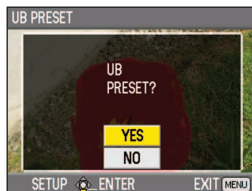
3 **[TC/UB SETUP] → [UB PRESET] を選択する。**

TC/UB SETUP	
TC MODE	NDF
TCG	REC RUN
SDI REGEN	OFF
TC PRESET	NO
UB PRESET	NO

SETUP ENTER EXIT MENU

4 **を押して [YES] に移動し、[ENTER] ボタンを押す。**

5 **ユーザーズビットを設定する。**
を押して、ユーザーズビットの文字を選択します。
- 設定できるユーザーズビットの文字は、数字の0 ～ 9とアルファベットのA ～ Fです。

を押して次の桁に移動し、再度、を押して文字を選択します。

ユーザーズビット設定中に [USER] ボタンを押すと、ユーザーズビットがゼロにリセットされます。

6 **ユーザーズビットの設定が完了したら [ENTER] ボタンを押す。**

7 **を押して [YES] に移動し、[ENTER] ボタンを押す。**

[USER] ボタンを使う

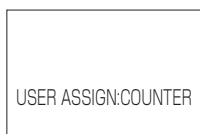
[USER] ボタンには、11 種類の機能から 1 つの機能を割り当てることができます。[USER] ボタンを利用すると、本機の機能を簡単に切り替えることができます。

1 **設定メニュー [OTHER FUNCTIONS] → [USER] を選択する。**
設定メニューの基本操作（➔ 28 ページ）

2 **[USER] ボタンに割り当てる機能 * を選択し、[ENTER] ボタンを押す。**
* 割り当て可能な機能については下表を参照してください。

3 **[MENU] ボタンを押してメニューを閉じる。**

4 **[USER] ボタンを押す。**
[USER] ボタンに割り当てられた機能がはたらきます。

USER ASSIGN:COUNTER

REC モード中に [SHIFT/EXEC] ボタンを押すと、液晶モニター画面に割り当てられた機能が表示されます。

画面表示	使用できるモード	
	SDI	CAM
INH	○	○
REC CHECK	–	○
SPOTLIGHT	–	○
BACKLIGHT	–	○
ATW LOCK	–	○
LCD DTL	○	○
LCD REVERSE	○	○
INDEX	○	○
SHOT MARK*1	○	○
LAST CLIP	○	○
COUNTER*2	○	○

*1 [SHOT MARK] を割り当てた [USER] ボタンは、サムネール表示時にも使用できます。
*2 [COUNTER] を割り当てた [USER] ボタンは、クリップの再生中にも使用できます。

- 工場出荷時の設定では、[COUNTER]に割り当てられています。
- [USER]ボタンを押して機能を動作させた状態で電源を切ると、機能が解除されます。
（ただし、[LCD DTL]は解除されません。）

■ INH（操作を無効にする）

INH を割り当てると、[USER] ボタンを押しても何も動作しません。

■ REC CHECK（記録を確認する）

[USER] ボタンを撮影待機中に押すと、直前に記録された映像と音声の最後の約 2 秒間を再生します。再生後は撮影待機状態に戻ります。

- REC CHECK 中は、[POWER] ボタン、[REC/PAUSE] ボタン、[AUDIO MON/ADV] ボタンのみ動作します。
- 機器を接続してバックアップ映像を記録している場合、この REC CHECK 映像も記録されます。
- 記録 / 撮影終了後に以下の操作を行った場合は、[USER] ボタンを押しても動作しません。
  - PB モードに切り替える
  - 記録フォーマットを変更する
  - 本機の電源を入れ直す
  - SD メモリーカードを取り出す

■ SPOTLIGHT（スポットライト）

スポットライト用のオートアイリス制御を行います。
画面に“SPOT”が表示されます。
再度 [USER] ボタンを押すと解除します。
設定メニュー [CAMERA SETUP] の [IRIS] で [MANUAL] を選択している時は、[USER] ボタンを押しても動作しません。

■ BACKLIGHT（逆光補正）

逆光で被写体を撮影する時に逆光補正用のオートアイリス制御を行い、被写体の映像が暗くなるのを防ぎます。
画面に“BACK”が表示されます。
再度、[USER] ボタンを押すと、逆光補正を解除します。
設定メニュー [CAMERA SETUP] の [IRIS] で [MANUAL] を選択している時は、[USER] ボタンを押しても動作しません。

■ ATW LOCK（ATW ロック）

ATW 時に [USER] ボタンを押すと、ホワイトバランスの値を固定します。
画面に“LOCK”が表示されます。
再度 [USER] ボタンを押すと、ATW 機能動作を行います。

■LCD DTL（映像の輪郭を強調する）

液晶モニター映像の輪郭が強調され、フォーカスが合わせやすくなります。輪郭を強調しても、記録される映像には影響しません。
設定すると画面中央に“LCD DTL ON”というメッセージが表示されます。(CAM モード時のみ)
再度 [USER] ボタンを押すと、解除します。

- この機能は電源を切っても解除されません。
- [USER]ボタンでこの機能の動作/解除を切り替えると、設定メニュー [DISPLAY SETUP] の[LCD DTL]の設定も切り替わります。

■LCD REVERSE（画像の上下左右を反転させる）

[USER] ボタンを押している間、液晶モニターに表示される映像が上下左右反転し、画角や映像のイメージを確認することができます。
表示される映像が反転しても、記録される映像は反転しません。

- [USER] ボタンを押していない時は通常表示になります。

■INDEX（インデックス機能）

記録中のクリップのある映像ポイントに、インデックスを付加する機能です。
記録や撮影中に [USER] ボタンを押すと、画面に“INDEX”と表示され、そのポイントにインデックス信号が記録されます。

- 再生中にインデックスを付加するには、設定メニュー [OPERATION] → [INDEX] → [YES] を選択します。(➔ 65、95 ページ)
- インデックスの付加ができない時は、“INVALID”が表示されます。
- 付加したインデックスは、PB モードで削除できます。(➔ 65 ページ)
- インデックスは 1 クリップにつき、最大 100 個まで記録できます。
- インデックスが 100 個を超えると付加操作を行っても、INVALID と表示されて付加できません。
- 連続してインデックスを付加する場合は、1 秒以上の間隔をあけて付加してください。1 秒以内に連続して付加操作を行っても、最初の操作しか有効になりません。

■SHOT MARK（ショットマーク機能）

クリップのサムネールに付ける目印をショットマークといい、サムネール画面でショットマークを付けたクリップのみ選んで表示／再生できます。
記録や撮影中に [USER] ボタンを押すと、液晶モニター画面に“MARK ON”と表示され、記録中のクリップのサムネールにショットマークが設定され、再度ボタンを押すと解除します。
また、PB モードのサムネール画面でもショットマークの設定／解除が可能です。ただし、再生中はショットマークの設定 / 解除はできません。

- リピートレック中は、ショットマークを設定できません。
- ショットマークの設定 / 解除ができない時は、“INVALID”が表示されます。

■LAST CLIP（ラストクリップ削除機能）

最後に記録 / 撮影したクリップを削除することができます。
[USER] ボタンを記録 / 撮影待機中に押すと、液晶モニター画面に“DELETE LAST CLIP?”のメッセージが表示され、[YES] を選ぶと最後に記録 / 撮影したクリップが削除されます。
クリップを削除しない場合は、[NO] を選択してください。

- 記録 / 撮影終了後に以下の操作を行った場合は、[USER] ボタンを押してもクリップの削除ができません。
  - PB モードに切り替える
  - 記録フォーマットを変更する
  - 本機の電源を入れ直す
  - SD メモリーカードを取り出す

（次ページへつづく）

■COUNTER（カウンター機能）

記録や撮影の経過時間を示すカウンターを表示することができます。
[USER] ボタンを押すごとに、下記のデータに切り替わります。

0 : 00 . 00

カウンター値の表示

・[USER]ボタンを 1 秒以上押したままにすると、カウンター値が 0 にリセットされます。
・クリップの再生時には表示されません。

CLIP 0 : 00 . 00

設定メニュー [DISPLAY SETUP] → [REC COUNTER] → [CLIP] を選択した場合に表示されます。
記録 / 撮影開始時に自動的に値がリセットされ、クリップごとのカウンター値が表示されます。

TC 12 : 34 : 56 . 01

タイムコードの表示

■ [SYSTEM FREQ] を [59.9Hz] に設定時
24P に設定している時は、フレーム桁を 24 フレームで表示します。それ以外の設定では、フレーム桁を 30 フレームで表示します。

■ [SYSTEM FREQ] を [50Hz] に設定時
フレーム桁を 25 フレームで表示します。

UB 12 34 56 78

ユーザーズビットの表示

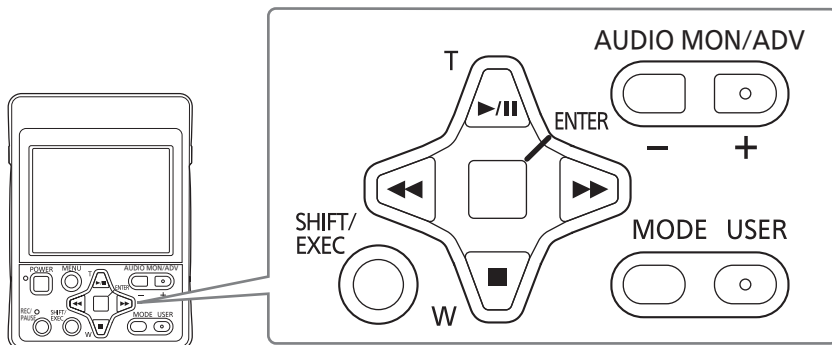
無表示

データを表示しません

- クリップの再生中でも、[USER]ボタンでカウンターを切り替えることができます。
設定メニュー [DISPLAY SETUP]の[REC COUNTER]の設定にかかわらず、再生中に表示されるカウンターは CLIP 0 : 00 . 00 になります。
- 設定メニュー [TC/UB SETUP]→[SDI REGEN]→[ON]を選択している時は、外部入力信号と、タイムコードまたはユーザーズビットが一致すると、タイムコードまたはユーザーズビットの表示が反転します。

記録や撮影に便利な機能

[SHIFT/EXEC] ボタンを押しながらその他のボタンを押すと、記録や撮影に便利な機能を使うことができます。

- メニュー画面が表示されていると操作ができません。メニュー画面を閉じてから、操作を行ってください。
- [SHIFT/EXEC]ボタンを押すと、液晶モニター画面に操作ボタンと機能のガイダンス（説明）が表示されます。

[SHIFT/EXEC] ボタンと同時に押すボタン	画面表示	機能	使用できるモード	
			SDI	CAM
[AUDIO MON/ADV −] ボタン	MIC LEV −	入出力音声レベルを小さくする（➔ 46 ページ）	○	○
[AUDIO MON/ADV +] ボタン	MIC LEV +	入出力音声レベルを大きくする（➔ 46 ページ）	○	○
[ENTER] ボタン（長押し）	KEY LOCK	ボタン操作をロックまたは解除する（➔ 45 ページ）	○	○
▶▶	FA	フォーカスアシストを表示する（➔ 45 ページ）	−	○
■	WFM	ウェーブフォームモニターを表示する（➔ 45 ページ）	○	○
◀◀	ONE PUSH AF	一時的にオートフォーカスモードにする（➔ 45 ページ）	−	○
▶/II（長押し）	AWB	ホワイトバランス / ブラックバランスを調整する（➔ 44 ページ）	−	○
[USER] ボタン	LCD OFF	液晶モニターをオンまたはオフする（➔ 46 ページ）	○	○

ホワイトバランスとブラックバランスの調整

ホワイトバランス

白を正確に再現するために、RGB 三原色の比率を調整します。ホワイトバランスがずれていると、白の再現が悪くなるだけでなく、画面全体の色調も悪くなります。マニュアルモードで撮影する場合、照明条件が変わった時には、必ずホワイトバランスを調整し直してください。ホワイトバランスの調整値は、W.SET にメモリーすることができます。また、あらかじめメモリーされているプリセット値を使うこともできます。撮影条件に合わせて、メモリーを使い分けてください。

ブラックバランス

黒を正確に再現するために、RGB 三原色の比率を調整します。ブラックバランスがずれていると、黒の再現が悪くなるだけでなく、画面全体の色調も悪くなります。通常、ブラックバランスを調整する必要はありませんが、周囲の温度が大幅に変化した状態で使用する場合には調整が必要です。

ホワイトバランスとブラックバランスを調整する

1 **被写体の照明光源と同じ条件のところにホワイトパターンを置き、画面全体に白を写す。**
- 被写体近くの白い物(白布、白壁)を代用することもできます。
- 画面内に高輝度スポットを入れないようにしてください。

2 **ホワイトバランスのモードを選択する。**
- ホワイトバランスを設定する(➔ 54ページ)

3 **[SHIFT/EXEC] ボタンを押しながら ▶/II を 1 秒以上押す。**
- 手順 **2** で選んだモードに合わせて、次のようにホワイトバランスとブラックバランスの調整を開始します。

モード	記録動作	調整
W.SET	記録中	ホワイトバランスの調整を行います。
	記録中以外	ホワイトバランスの調整後にブラックバランスの調整を行います。
ATW P3.2K P5.6K	記録中	調整を行いません。
	記録中以外	ブラックバランスの調整を行います。

- 調整がはじまると、図のようなメッセージが表示されます。

調整中のメッセージの例

AWB ABB ACTIVE

調整終了時のメッセージの例

AWB ABB OK

- ホワイトバランスの自動調整ができない時は、液晶モニターの画面にエラーメッセージが表示されます。

調整できない時のメッセージ

AWB NG

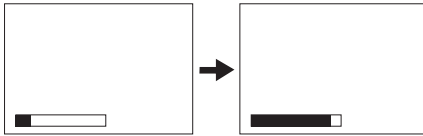
シャッタースピードが 1/2 ～ 1/15 の時は調整できません。

フォーカスアシストを使う（FA）

画面中央部分が拡大表示され、ピントを容易に合わせることができます。

1 [SHIFT/EXEC] ボタンを押しながら ▷ を押す。

画面中央部分が、縦が約 4 倍、横が約 6 倍に拡大表示されます。
拡大表示中は液晶モニター画面に“EXPANDED”が表示されます。

- 液晶モニター画面では、画角の中心が少しずれて表示されます。
- デジタルズーム機能を使用中は、動作しません。
- もう一度同じボタンを押すと元の画面に戻ります。
- 電源が切れると設定が解除されます。
- 設定メニュー [DISPLAY SETUP] → [FOCUS BAR] → [ON]を選択すると、FOCUS ASSISTバーを表示することができます。
  フォーカスが合っている度合いをバーの長さで表示します。
  フォーカスが合っているほど、バーが右方向に長く伸びます。

ピントが合ってないとき　　ピントが合ってくると、バーが右方向に伸びる

ウェーブフォームモニター（WFM）

記録中や撮影中に、液晶モニター画面に映像の波形を表示することができます。

1 [SHIFT/EXEC] ボタンを押しながら ▽ を押す。

▽ を押すたびに、WAVE → VECTOR → OFF → WAVE と切り替わります。

WAVE:　波形表示をします。
VECTOR:　ベクトル表示をします。
OFF:　波形およびベクトルを表示しません。

- フォーカスアシスト機能の動作中は表示されません。
- ウェーブフォームは記録できません。
- 電源が切れると設定が解除されます。

一時的にオートフォーカスにする（ONE PUSH AF）

マニュアルフォーカス中（➔ 51 ページ）でも、一時的にオートフォーカスモードになり、自動で焦点を合わせることができます。

1 [SHIFT/EXEC] ボタンを押しながら ◁ を押す。

[SHIFT/EXEC] ボタンと ◁ を押している間、オートフォーカスモードになり、自動で焦点を合わせます。

- フリッカーが生じると、オートフォーカスの制御が正しく動作しない時がありますので、照明に適したシャッタースピードを選んでください。(➔ 52ページ)
- 60i、60P（または50i、50P)以外の時にオートフォーカスモードにすると、フォーカス制御を行う時間が若干長くなります。

誤操作を防ぐ（KEY LOCK）

一時的に操作ボタンの操作を無効にして、誤操作を防ぐことができます。

1 [SHIFT/EXEC] ボタンを押しながら [ENTER] ボタンを 2 秒以上押す。

- すべてのボタン操作が無効になります。
- もう一度同じボタンを2秒以上押すとロックを解除します。
- 電源が切れるとロック設定が解除されます。
- ロック中は液晶モニター画面に 🔑 (黄色)が表示されます。

REMOTE ジャックにリモコン（別売）を接続している場合は、リモコンでの記録およびズーム操作がロック中でも有効です。

液晶モニター画面をオフにする（LCD OFF）

液晶モニター画面をオフにすることができます。

1 **[SHIFT/EXEC] ボタンを押しながら [USER] ボタンを押す。**
- もう一度同じボタンを押すと設定を解除します。
- 電源が切れると設定が解除されます。
- 液晶モニター画面がオフの時は、画面をオンに戻す操作以外に、[POWER]ボタンおよび[REC/PAUSE]ボタンの操作が可能です。

入力音声の記録レベルを調整する（MIC LEV）

マイク端子からの入力音声の記録レベルを調整します。

1 **[SHIFT/EXEC] ボタンを押しながら [AUDIO MON/ADV +] または、[AUDIO MON/ADV －] ボタンを押す。**

AUDIO MON/ADV ＋ : 入力レベルを上げる。
AUDIO MON/ADV － : 入力レベルを下げる。
液晶モニター画面のマイク入力調整レベル表示を参考に調整してください。

＜カメラヘッド AG-HCK10G 接続時＞

I. MIC　[－] ▭▭▭▭▭▯▭▭▭▭ [＋]

＜マイク端子接続時＞

E. MIC　[－] ▭▭▭▭▭▯▭▭▭▭ [＋]

- 撮影前に記録音量レベルを確認してください。
- 当社放送用カメラレコーダー（品番AJ シリーズ）と比較すると、記録音声レベルが約８ dB 高く設定されています。
- マイク端子に外部マイクが接続されていると入力音声が自動的に外部マイクになります。
- マイク端子に外部マイクが接続されていない場合は以下のように入力音声が選択されます。
  CAMモード：カメラヘッドAG-HCK10G（別売）の内蔵マイク
  SDIモード：HD-SDIのエンベデットオーディオ信号

カラーバー

設定メニュー [RECORDING SETUP] → [INT SG] → [ON] を選択すると、テレビや外部モニターの画質調整に便利なカラーバーを、REC モード時に表示させることができます。
- カラーバー表示中に1 kHz* のテストトーンがヘッドホン端子および内蔵スピーカーから出力されます。（ただし、CAMモード時は内蔵スピーカーからは出力されません。）
  * [SYSTEM FREQ]を[50Hz]に設定時は、997 Hzのテストトーンが出力されます。
- [REC/PAUSE]ボタンを押すと、カラーバーを記録することができます。
- 電源を切っても機能は解除されません。カラーバーを非表示にするには、設定メニュー [RECORDING SETUP]→[INT SG]→[OFF]を選択してください。
  カラーバーをSDI OUT端子から出力する場合は、設定メニュー [AV OUT SETUP]→[SDI EE SEL]→[NORMAL]を選択してください。

タイムスタンプ機能

映像に重ねて、撮影日時を記録することができます。
設定メニュー [RECORDING SETUP] → [TIME STAMP] → [ON] を選択します。
[TIME STAMP] が [ON] の時は、液晶モニターに R が表示されます。
- R は、実際の映像には記録されません。
- 記録フォーマットによって、映像に記録される日時の文字の大きさや位置は異なります。
- 液晶モニターの表示と外部出力表示では、タイムスタンプの文字サイズと位置が異なります。
- 記録される日時表示は、[DISPLAY SETUP]の[DATE/TIME]の設定に従います。
  [DATE/TIME]を[OFF]に設定している場合は、[TIME STAMP]を[ON]に設定していても撮影日時が記録されません。
- タイムスタンプを記録したクリップを本機で再生する場合は、日時が重なって表示されるのを防ぐために、設定メニュー [DISPLAY SETUP] → [DATE/TIME] → [OFF]を選択してください。

リピートレック (REPEAT REC) を使う

16 GB 以上の SD メモリーカードをご使用ください。
約 90 分のクリップを、繰り返し記録します。

- 1枚のSDメモリーカードに、記録されるクリップ数は、SDメモリーカードの容量によって、4または、8です。
- 記録されたクリップ数が、4（または、8)になると、最も古いクリップを消去して新しいクリップを記録します。
- リピートレックに設定すると、自動的に記録フォーマットが、HEモードになります。
- リピートレックを行う前に、必ず本機でSDメモリーカードをフォーマットしてお使いください。
- バッテリーで使用中は、リピートレックの設定ができません。ACアダプターを接続してお使いください。
- リピートレック機能は、SDIモードとCAMモードで動作します。

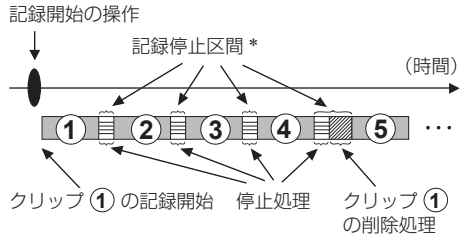
1 設定メニュー [RECORDING SETUP] → [REPEAT REC MODE] → [ON] を選択する。

画面に“R-PAUSE”が表示されます。

- 設定メニュー [RECORDING SETUP] → [REC FORMAT] でHEモード以外の記録フォーマットを選択していた場合は、自動的にHEモードに変更されます。
- CAMモードで、設定メニュー [RECORDING SETUP] → [PREREC MODE]で[ON]が設定されている場合は、自動的に[OFF]に変更されます。
- SDIモードで、設定メニュー [RECORDING SETUP] → [AUTOREC MODE]で[OFF]以外が設定されている場合は、自動的に[OFF]に変更されます。
- リピートレックを解除するには、本機の電源を切るか、[REPEAT REC MODE]で[OFF]を選択します。
- リピートレックを解除しても、記録フォーマットと、PREREC MODE、AUTOREC MODEの設定は、リピートレック設定前には戻りません。記録フォーマットはHEモード、PREREC MODEはOFF, AUTOREC MODEは OFFの設定になります。

2 [REC/PAUSE] ボタンを押してリピートレックを開始する。

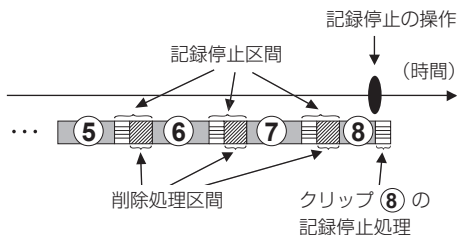
- 記録機能表示が“R-PAUSE”のときに記録を開始することができます。
- もう一度同じボタンを押すまで繰り返しリピートレックを行います。

例） 16GB の SD メモリーカードに記録を開始した場合

* 記録停止処理やクリップの削除処理を行うために記録を停止している区間です。
記録停止中は、R-PAUSE(赤) が表示されます。

- 記録開始の操作によりクリップ ① から記録を行います。
- 約 90分間の記録を行い、自動的にクリップ ① の記録を停止した後、クリップ ② の記録を開始します。
- ① から ④ までの4つのクリップを記録した後、最も古いクリップ ① を削除して、新たにクリップ ⑤ を記録します。
- 記録状態により、記録停止区間が、12秒程度になる場合があります。

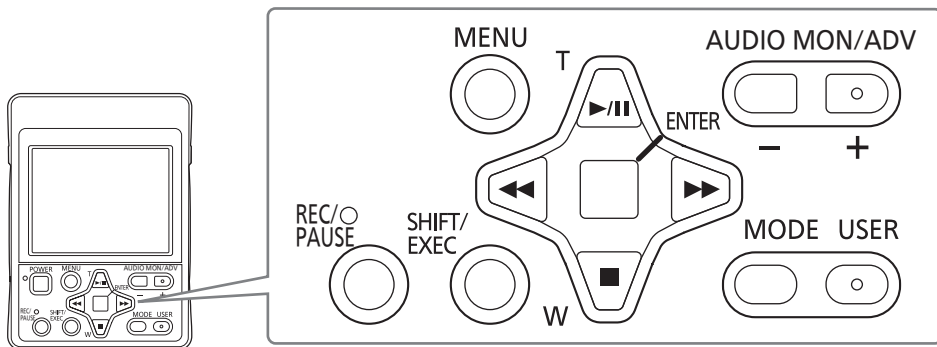
3 **[REC/PAUSE] ボタンを押してリピートレックを停止する。**

- 記録機能表示が “R-REC” の点灯表示のときに記録を停止することができます。

例） 16GB の SD メモリーカードへの記録を停止した場合

- 記録停止の操作によりクリップ ⑧ の記録を停止します。
- SDメモリーカードには、クリップの作成された順番に、⑤、⑥、⑦、⑧ の４つのクリップが存在します。
- サムネール表示中はクリップの作成された順（⑤、⑥、⑦、⑧）にサムネールが表示されます。

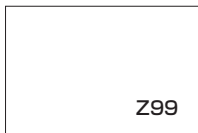
- SDIモードでのリピートレック中に、SDI入力信号が乱れた場合、リピートレックを停止します。SDメモリーカードのフォーマットなどの再設定のため、本機の電源を入れ直してください。
- リピートレック機能を使って記録したクリップと通常のクリップをサムネール表示などで区別することはできません。

カメラヘッドを操作する

本機の操作ボタンを使って、カメラヘッド AG-HCK10G（別売）のカメラ機能を操作することができます。
- メニュー画面が表示されていると操作ができません。メニュー画面を閉じてから、操作を行ってください。

ズーム機能を使う

カメラヘッド AG-HCK10G（別売）は、12 倍光学ズームを備えています。

1 ▶/II または ■ を押す。

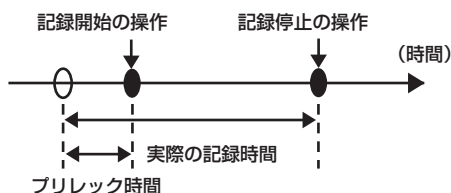
▶/II：ズームイン
■：ズームアウト

液晶モニター画面に現在のズーム範囲 (Z00 〜 Z99) が表示されます。

- ボタンを押し続けると低速でズーム動作を行い、2回続けてボタンを押した後に押し続けると高速でズーム動作を行います。

デジタルズーム機能

設定メニュー [CAMERA SETUP] の [D.ZOOM] を [OFF] 以外に設定すると、デジタルズーム機能を使うことができます。(➔ 87 ページ)
- ズーム倍率が大きくなるほど画質が粗くなります。
- [OFF]（× 1)以外が選択されている時は、液晶モニター画面に現在の倍率が表示されます。
- 記録フォーマットが1080/60i、720/60P（または、1080/50i、720/50P)の時のみ、デジタルズーム機能を使うことができます。
- 撮影中は、デジタルズームの切り替えはできません。

プリレック (PRE REC)

記録開始の操作をした時点より約 3 秒前からの映像と音声を記録します。

1 設定メニュー [TC/UB SETUP] → [TCG] → [FREE RUN] を選択する。
設定メニューの基本操作（➔ 28 ページ）

2 設定メニュー [RECORDING SETUP] → [PREREC MODE] → [ON] を選択する。
画面に“P-PAUSE”が表示されます。
- “P-PAUSE”が表示されていない時に記録を開始すると、通常の記録になります。
- 設定メニュー [TC/UB SETUP] の[TCG] で [REC RUN]が設定されている場合は、自動的に[FREE RUN]に設定が変更されます。

3 [REC/PAUSE] ボタンを押す。
約 3 秒前からの映像と音声を記録します。
- 下記の場合、すぐに記録を開始しても約3 秒前の映像と音声が記録できない場合があります。
  - ・PB モードからCAM モードへの切り替え直後
  - ・電源を入れた直後
  - ・[PREREC MODE]の選択項目を変更した直後
  - ・TC、UBを設定した直後
- プリレック機能を使って記録したクリップのサムネールには、[REC/PAUSE]ボタンを押した時点の画像が表示されます。
- プリレック機能を使って記録したクリップを再生した場合に、クリップの切り替わりで画像が一時静止します。(➔ 101ページ)
- プリレック機能を使って記録したクリップの先頭には、インデックスが付加できません。

手ぶれ補正機能

カメラヘッドを手に持って撮影する時は、手ぶれ補正機能を使うことで、手ぶれの少ない撮影を行うことができます。

1 設定メニュー [CAMERA SETUP] → [O.I.S.] → [ON] を選択する。
設定メニューの基本操作（➔ 28 ページ）
手ぶれ補正が [ON] の時は、液晶モニター画面に ((✋)) が表示されます。
三脚を使用するなどして、カメラヘッドを固定して使う場合は、手ぶれ補正機能を [OFF] にすることで、自然な映像を得ることができます。
- 大きくぶれた時や、動いている被写体を追いかけながら撮影した場合、補正しきれないことがあります。

マニュアル調整をする（CAMERA FUNCTIONS）

フォーカス、アイリス、シャッタースピード、ホワイトバランスをマニュアルで調整することができます。

1 **設定メニュー [CAMERA SETUP] の項目を、マニュアル調整が可能な設定にする。（下表参照）**

2 **[ENTER] ボタンを押して機能を選ぶ。**

[ENTER] ボタンを押すごとに、マニュアル調整できる機能が順に液晶モニターに表示されます。

◀◀ F ▶▶ →◀◀ I ▶▶ → ◀◀ S ▶▶ → ◀◀ W ▶▶

3 **◀◀ ▶▶ を押して調整する。**

■機能とメニューの設定

液晶モニター画面の表示	機能	CAMERA SETUP メニュー	
		項目	設定
◀◀ F ▶▶	ピントの調整（➔ 51 ページ）	FOCUS	MANUAL
◀◀ I ▶▶	絞り・明るさの調整（➔ 51 ページ）	IRIS	MANUAL
◀◀ S ▶▶	シャッタースピードの調整（➔ 52 ページ）	IRIS	AUTO2* または MANUAL
◀◀ W ▶▶	ホワイトバランスの設定（➔ 54 ページ）	–	–

* AUTO2: 光源にあわせてアイリス、ゲインを調整し、明るさを最適にします。

◀◀ F ▶▶ ピントを調整する（マニュアルフォーカス）

1 **設定メニュー [CAMERA SETUP] → [FOCUS] → [MANUAL] を選択する。**

設定メニューの基本操作（➔ 28 ページ）

2 **[ENTER] ボタンを押して液晶モニター画面に ◀◀ F ▶▶ を表示させる。**

3 **▶▶ または ◀◀ を押してピントを調整する。**

▶▶：遠くにピントを合わせる

◀◀：近くにピントを合わせる

MF 19

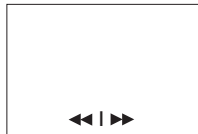
液晶モニター画面に現在の値が表示されます。

- オートフォーカス時にも、一時的にピントを移動することができます。

◀◀ I ▶▶ 絞り・明るさを調整する

1 **設定メニュー [CAMERA SETUP] → [IRIS] → [MANUAL] を選択する。**

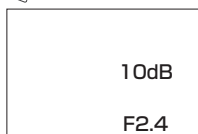
設定メニューの基本操作（➔ 28 ページ）

2 **[ENTER] ボタンを押して液晶モニター画面に ◀◀ I ▶▶ を表示させる。**

3 **▶▶ または ◀◀ を押してレンズの絞り・明るさを調整する。**

▶▶：アイリス、ゲインを調整して明るくする

◀◀：アイリス、ゲインを調整して暗くする

10dB

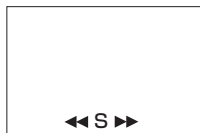
F2.4

液晶モニター画面に現在の F 値および、ゲイン値、シャッター値が表示されます。

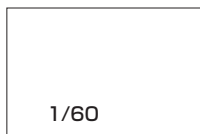
（次ページへつづく）

◀◀ S ▶▶ シャッタースピードを調整する

1 設定メニュー [CAMERA SETUP] → [IRIS] → [AUTO2] または [MANUAL] を選択する。
設定メニューの基本操作（➔ 28 ページ）

2 [ENTER] ボタンを押して液晶モニターに ◀◀ S ▶▶ を表示させる。

◀◀ S ▶▶

3 ▶▶ または ◀◀ を押してシャッタースピードを調整する。
▶▶：シャッタースピードを速くする
◀◀：シャッタースピードを遅くする

1/60

液晶モニター画面に現在の値が表示されます。

- シャッタースピードが速いほど、カメラの感度は低減します。
- 設定メニュー [CAMERA SETUP]→[IRIS]→[AUTO2]を選択時は、シャッタースピードが速くなるにつれて絞りが開き、焦点深度も浅くなります。
- シャッタースピードを遅くした場合、合焦するまでの時間が長くなるため、カメラヘッドを三脚などに固定して使用することをおすすめします。
  シャッタースピードが遅い場合、映像に白、赤、青または、緑色の点が出ることがありますが、故障ではありません。
- 設定メニュー [DISPLAY SETUP]→[OTHER DISPLAY]→[ON]を選択時は、液晶モニター画面に、現在設定されているシャッタースピードが表示されます。
- 人工照明、特に蛍光灯や水銀灯などは、電源周波数に同期して輝度が変化しています。特に電源周波数が50 Hz の地域では、本機の垂直同期周波数(約60 Hz)と照明の周波数(50 Hz)がお互いに干渉するため、ホワイトバランスが周期的に変化することがあります。人工照明下で撮影する時やホワイトバランスを調整する時は、シャッタースピードを次の表を参考に設定してください。

■ [SYSTEM FREQ] を [59.9Hz] に設定時

フレームレート	シャッタースピード	
	50 Hz	60 Hz
60i	1/100	1/60
30P	1/50	1/60
24P	1/50	1/60

■ [SYSTEM FREQ] を [50Hz] に設定時

フレームレート	シャッタースピード	
	50 Hz	60 Hz
50i	1/50	1/60
25P	1/50	1/60

■シャッタースピードの可変範囲

[SYSTEM FREQ] の設定が [59.9Hz] の場合

1080/60i、720/60P の時

SYNCRO SCAN ⟷ 1/2 ⟷ 1/4 ⟷ 1/8 ⟷ 1/15 ⟷ 1/30 ⟷ 1/60 (標準)
↕ ↕
1/2000 ⟷ 1/1000 ⟷ 1/500 ⟷ 1/250 ⟷ 1/120 ⟷ 1/100

1080/30P、720/30P の時

SYNCRO SCAN ⟷ 1/2 ⟷ 1/4 ⟷ 1/8 ⟷ 1/15 ⟷ 1/30 ⟷ 1/50 (標準)
↕ ↕
1/2000 ⟷ 1/1000 ⟷ 1/500 ⟷ 1/250 ⟷ 1/120 ⟷ 1/60

1080/24P、720/24P の時

SYNCRO SCAN ⟷ 1/2 ⟷ 1/3 ⟷ 1/6 ⟷ 1/12 ⟷ 1/24 ⟷ 1/50 (標準)
↕ ↕
1/2000 ⟷ 1/1000 ⟷ 1/500 ⟷ 1/250 ⟷ 1/120 ⟷ 1/60

[SYSTEM FREQ] の設定が [50Hz] の場合

SYNCRO SCAN ⟷ 1/2 ⟷ 1/3 ⟷ 1/6 ⟷ 1/12 ⟷ 1/25 ⟷ 1/50 (標準)
↕ ↕
1/2000 ⟷ 1/1000 ⟷ 1/500 ⟷ 1/250 ⟷ 1/120 ⟷ 1/60

■シンクロスキャン

テレビ画面やパソコンのモニター画面を撮影する時などに使用するシンクロスキャンのシャッタースピードは、設定メニュー [CAMERA SETUP] の [SYNCRO SCAN] で設定します。
(➔ 86 ページ)

- テレビ画面やパソコンのモニター画面の周波数に合わせてシャッタースピードを調整すると、テレビ画面を撮影した時に発生する水平方向のノイズを最小限にして、撮影することができます。
- プログレッシブモードにすると、PAL 方式で再生しているテレビ画面を撮影することもできます。
- [SYNCRO SCAN]の選択項目でグレー表示のものは、現在の記録フォーマットでは有効ではありません。記録フォーマットごとの設定値で動作します。
  記録フォーマットごとの設定値は次のようになります。

  [SYSTEM FREQ]を[59.9Hz]に設定時
  60i/60Pモード: 1/60.0 ～ 1/250.0
  30Pモード: 1/30.0 ～ 1/250.0
  24Pモード: 1/24.0 ～ 1/250.0
  [SYSTEM FREQ]を[50Hz]に設定時
  50i/50Pモード: 1/50.0 ～ 1/250.0
  25Pモード: 1/25.0 ～ 1/250.0
- プログレッシブモードは、設定メニュー [RECORDING SETUP]の[REC FORMAT] (➔ 55 ページ)で切り替えることができます。

記録

（次ページへつづく）

◀◀ W ▶▶
ホワイトバランスを設定する

1 **[ENTER] ボタンを押して液晶モニターに ◀◀ W ▶▶ を表示させる。**

2 **▶▶ または ◀◀ を押してモードを選ぶ。**

▶▶ または ◀◀ を押すごとに、液晶モニター画面にモードが順に表示されます。

<table>
<tr><th>モード</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>W.SET</td><td>撮影状況などに応じてホワイトバランスとブラックバランスを調整する時に選択します。</td></tr>
<tr><td>ATW</td><td>ATW（Auto Tracking White;
自動追尾式ホワイトバランス）機能を使って撮影環境を自動的に判定し、常に最適なホワイトバランスに自動的に調整します。</td></tr>
<tr><td>P3.2K</td><td rowspan="2">プリセットされている値を使用します。ホワイトバランス調整をする時間がない時などに便利です。
■ プリセット値の目安
P3.2K(3200 K): ハロゲンライト
P5.6K(5600 K): 屋外</td></tr>
<tr><td>P5.6K</td></tr>
</table>

- 環境によっては、多少の調整誤差が発生することがあります。
- 高精度のホワイトバランスが必要な場合は、ホワイトバランスの調整を行ってください。（ホワイトバランスとブラックバランスを調整する ➔ 44ページ）

プログレッシブモードで撮影する

設定メニュー [RECORDING SETUP] → [REC FORMAT] → [PH1080/30P] または [PH1080/24P]（または [PH1080/25P]）を選択すると、プログレッシブモードで撮影できます。（➔ 88 ページ）

30P モード：
（[SYSTEM FREQ] を [59.9Hz] に設定時）

30コマ/秒のプログレッシブモードで撮影を行います。映像信号は、30コマ/秒の画像を60フィールドインターレース信号に変換し、出力や記録が行われます。
高画質な映像を得ることができます。

30 P	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
↓										
60 i	Ao Ae	Bo Be	Co Ce	Do De	Eo Ee	Fo Fe	Go Ge	Ho He	Io Ie	Jo Je

24P モード：
（[SYSTEM FREQ] を [59.9Hz] に設定時）

24コマ/秒のプログレッシブモードで撮影を行います。映像信号はネイティブで記録されます。ただし外部出力は、2:3 変換方式で60フィールドインターレース信号に変換されて出力されます。

24 P	A	B	C	D	E	F	G	H
↓								
60 i	Ao Ae	Bo Be Bo	Ce Co	De Do De	Eo Ee	Fo Fe Fo	Ge Go	He Ho He

25P モード：
（[SYSTEM FREQ] を [50Hz] に設定時）

25コマ/秒のプログレッシブモードで撮影を行います。映像信号は、25コマ/秒の画像を50フィールドインターレース信号に変換し、出力や記録が行われます。
高画質な映像を得ることができます。

プログレッシブモードで撮影を行う場合は、次のことに注意してください。
- シャッタースピードを1/50に設定されることをおすすめします。
- 24Pモードで撮影を行う時は、4フレーム単位で記録を行うため、記録を開始するタイミングが少し遅れることがあります。

クリップメタデータについて

SD メモリーカードに記録した映像データには、映像音声方式、撮影者名、撮影場所、テキストメモなどを付加することができます。これをクリップメタデータと呼びます。
(表示の方法は ➔ 67 ページ)

クリップメタデータには、撮影時に自動的に記録されるものと、SD メモリーカードにメタデータアップロードファイルを作成して、これを本機に読み込むものがあります。
(クリップメタデータの読み込み方法は ➔ 57 ページ)

クリップメタデータの内容

下線の項目は、SD メモリーカード内のメタデータアップロードファイルを読み込むことで設定できます。その他の項目は記録時に自動的に設定されます。

GLOBAL CLIP ID:
　クリップの撮影状態を示すグローバルクリップID を表示します。
USER CLIP NAME :
　ユーザーが設定したクリップの名称を表示します。*1
VIDEO & AUDIO:
　記録映像の FRAME RATE（フレームレート）、RESOLUTION（解像度）、PULL DOWN*4（プルダウン方式）、AUDIO（記録音声）を表示します。
ACCESS:
　CREATOR（収録者名）、CREATION DATE（収録日）、LAST UPDATE DATE（最終更新日）、LAST UPDATE PERSON（最終更新者）を表示します。
DEVICE:
　MANUFACTURER（機材のメーカー名）、SERIAL NO.（機材のシリアルナンバー）、MODEL NAME（機材のモデル名：AG-HMR10) を表示します。
SHOOT:
　SHOOTER（撮影者名）、PLACE NAME（撮影地名）を表示します。
LOCATION*4:
　ALTITUDE（撮影地の高度）、LONGITUDE（撮影地の経度）、LATITUDE（撮影地の緯度）、SOURCE（情報源）を表示します。
SCENARIO:*2
　PROGRAM NAME（番組名）、SCENE NO.（シーンナンバー）、TAKE NO.（テイクナンバー）を表示します。
NEWS 1:
　REPORTER（リポーター名）、PURPOSE（取材目的）を表示します。
NEWS 2:
　OBJECT（取材対象）を表示します。
MEMO:*3
　PERSON（テキストメモの記録者）、TEXT（テキストメモの内容）を表示します。

*1 メタデータアップロードファイルに情報がない場合は、カード単位に、最初に撮影したクリップを 0 として、撮影順に 5 桁の連番を付加していきます。USER CLIP NAME の記録方法は選択することが可能です。詳しくは 58 ページをご参照ください。
*2 SCENARIO を入力する時は、必ず PROGRAM NAME を入力してください。SCENE NO.、TAKE NO. のみの入力はできません。
*3 MEMO を入力する時は、必ず TEXT を入力してください。PERSON のみの入力はできません。
*4 本機では記録されません。

- 本機では、ASCII文字のみ表示可能です。日本語の表示はできません。
- 本機では、文字数の表示制限があるため、すべてのデータは表示できません。(データが消えているわけではありません。)すべてを確認するにはAVCCAMビューアーなどをご使用ください。
- メタデータは、AVCCAMビューアーで作成することができます。(➔ 105ページ)

メタデータのアップロードなどを行う（META DATA）

以下の操作が行えます。
必要に応じて準備を行ってください。

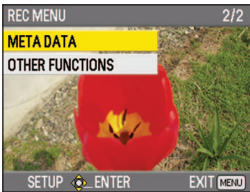
メタデータの読み込み

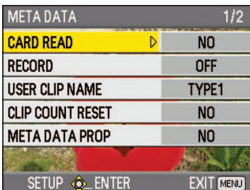
- メタデータを記録したSD メモリーカードを本機に挿入してください。（クリップメタデータの内容 ➔ 56 ページ）

メタデータを SD メモリーカードに記録する / しないの選択
本機内メタデータの初期化
本機内メタデータの表示

1 **[MODE] ボタンを押して REC モードにする。**
動作モードについて（➔ 27 ページ）

2 **[MENU] ボタンを押す。**
設定メニューの基本操作（➔ 28 ページ）

3 **▲ ▼ を押して [META DATA] を選択し、[ENTER] ボタンまたは ▶ を押す。**

4 **▲ ▼ を押して項目を選び、[ENTER] ボタンを押す。**

META DATA	1/2
CARD READ ▷	NO
RECORD	OFF
USER CLIP NAME	TYPE1
CLIP COUNT RESET	NO
META DATA PROP	NO
SETUP ENTER	EXIT MENU

CARD READ:
　SD メモリーカードにセットしたメタデータを本機に読み込みます。
　読み込むメタデータを [ENTER] ボタンを押して選択し、読み込みする / しない（YES/NO）を選んで、[ENTER] ボタンを押してください。
- SD メモリーカードのメタデータは、作成日が新しい順に10個まで表示できます。
- 読み込むメタデータファイル名が半角英数字以外の場合は＊に変換されて表示されます。

RECORD:
　本機に読み込むメタデータを同時に SD メモリーカードに記録するかどうかを設定します。
　記録する / しない（ON/OFF）を選び、[ENTER] ボタンを押してください。
　工場出荷モードは [OFF] です。

USER CLIP NAME:
　USER CLIP NAME の記録方法を選択することが可能です。詳しくは次の項目をご参照ください。

CLIP COUNT RESET：
　COUNT 値を 1 にリセットします。
　リセットする / しない（YES/NO）を選び、[ENTER] ボタンを押してください。

META DATA PROP：
　[YES] を選択すると、本機に記録されたメタデータを表示します。

META INITIAL SET：
　本機に記録されたメタデータを初期化します。
　初期化する / しない（YES/NO）を選び、[ENTER] ボタンを押してください。

5 **[MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。**

USER CLIP NAME の記録方法の選択

[MENU] ボタンを押して [META DATA] →
[USER CLIP NAME] を選択すると、USER
CLIP NAME の記録方法を選ぶことができます。
TYPE1 と TYPE2 の 2 通りがあります。

記録される USER CLIP NAME

	TYPE1	TYPE2
クリップメタデータを読み込んでいる場合	アップロードされたデータ	アップロードされたデータ + COUNT 値 *
クリップメタデータを読み込んでいない、または読み込んだクリップメタデータを記録しない設定の場合	5 桁の撮影順の連番	5 桁の撮影順の連番

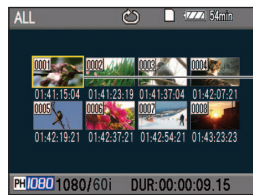
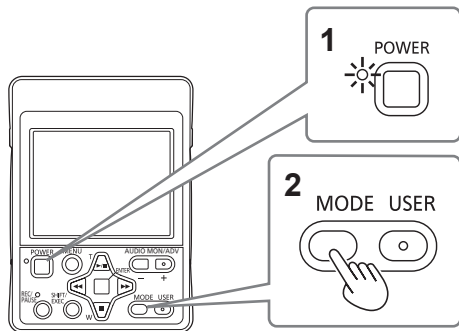
* COUNT 値は、4 桁の数字で表示されます。
  COUNT 値は、クリップメタデータが読み込まれ、かつ [USER CLIP NAME] → [TYPE2] を選択した状態の時、記録を行って新しいクリップを生成するごとに、1 ずつ増えます。
  また COUNT 値は、以下の方法でリセットできます。
  [MENU] ボタンを押して [META DATA] →
  [CLIP COUNT RESET] → [YES] を選んで
  [ENTER] ボタンを押すと、COUNT 値が 1 にリセットされます。

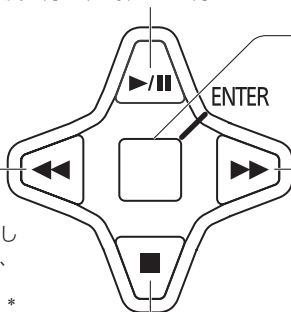
クリップを再生する（PB モード）

1 **[POWER] ボタンを押して電源を入れる。**
[POWER] ボタンを２秒以上押すと POWER ランプ（緑）が点灯し、電源が入ります。

2 **[MODE] ボタンを押し、サムネール画面を表示させる。**
本機が PB モードになります。
- [MODE]ボタンを押すたびに、以下のようにモードが切り替わります。
  PB ⇆ REC
  PB モード時に [MODE] ボタンを２秒以上押して USB ケーブルを接続すると、PC（パソコン接続）モードになります。
  （➔ 72 ページ）
- カメラヘッドAG-HCK10Gを接続しているとPCモードに移行しません。
  AG-HCK10Gを接続している時は、電源を切ってカメラケーブルを取り外し、再度電源を入れてから操作してください。

3 **▲ ▼ ◀ ▶ を押してカーソル（黄色の枠）を移動させ、クリップを選ぶ。**

4 **[ENTER] ボタン を押してクリップを再生する。**
- カーソルを合わせたクリップから再生がはじまります。カーソルを合わせたクリップの再生が終わると、それ以降のクリップが順に再生され、最後のクリップの再生が終わるとサムネール画面に戻ります。

■再生時に使用するボタンのはたらき

一時停止する
・再生中にこのボタンを押すと、一時停止します。
　再度押すと、再生に戻ります。
・早送り再生/早戻し再生中に押すと、再生にもどります。

再生する
このボタンを押すと、カーソルがある位置のクリップが再生されます。

早戻し再生をする
再生中にこのボタンを押すと、早戻し再生します。早戻し再生中に押すと、早戻し速度が切り替わります。
（約５倍速→約 15 倍速→約５倍速）*
一時停止中に押すと、クリップを１つ戻します。
* [PB FORMAT] を 720/24P に設定している場合は、約６倍速→約 20 倍速→約６倍速と切り替わります。([SYSTEM FREQ] を [59.9Hz] に設定時のみ）

停止する
再生中に押すと、再生を停止し、サムネール表示画面に戻ります。

早送り再生をする
再生中にこのボタンを押すと、早送り再生します。早送り再生中に押すと、早送り速度が切り替わります。
（約５倍速→約 15 倍速→約５倍速）*
一時停止中に押すと、クリップを１つ進めます。
* [PB FORMAT] を 720/24P に設定している場合は、約６倍速→約 20 倍速→約６倍速と切り替わります。([SYSTEM FREQ] を [59.9Hz] に設定時のみ）

サムネール画面について

1 回の撮影によってできた映像データを「クリップ」と呼びます。PB モードにした時は、液晶画面に各クリップがサムネール表示されます。（クリップ数が多い場合、表示されるまでに時間がかかります。）
サムネール画面を使って、以下のようなことが行えます。
- クリップの再生、削除
- SD メモリーカードのフォーマット
- インデックスの付加、消去
- ショットマークの付加、消去

1 サムネールの表示状態 (➔ 64 ページ)
サムネール表示するクリップの種類を示しています。

2 リピート再生インジケーター (➔ 62 ページ)
リピート再生時に表示します。

3 カード状態表示
SD メモリーカードの状態を表示します。

4 バッテリー残量表示 (➔ 23 ページ)
バッテリーの残量を表示します。

5 カーソル（黄色の枠）
選択中のサムネールに表示されます。

6 記録モード表示
PH モードまたは PM モードで撮影されたクリップにカーソルが置かれた場合に、記録モードが表示されます。

7 記録フォーマット表示
カーソルがある位置のクリップの記録フォーマットが表示されます。

8 デュレーション表示
カーソルがある位置のクリップの記録時間が表示されます

9 時間表示 (➔ 64 ページ)
設定メニュー [THUMBNAIL SETUP] の [DATA DISPLAY] の設定により、クリップの記録開始時点のタイムコード／クリップの記録開始時点のユーザーズビット／撮影時刻／撮影日／撮影日時のいずれかを表示します。

10 クリップ番号
記録した順番が表示されます（1000 クリップまで）。記録フォーマットが違うクリップなど、再生できないクリップの番号は赤色で表示されます。
赤色のクリップを再生するには、設定メニュー [PLAY SETUP] の [PB FORMAT] で、記録フォーマットと同じフォーマットを選択してください。(➔ 62 ページ)

11 O┳ : クリッププロテクト表示
プロテクトされたクリップに表示します。
(➔ 66 ページ)

12 各種インジケーター
M : ショットマーク
ショットマークが付加されていることを示しています。(➔ 41 ページ)
I : インデックス
インデックスが付加されていることを示しています。(➔ 41、65 ページ)
⏵⏵ : レジューム再生表示
レジューム再生の対象になるクリップに表示します。(➔ 63 ページ)

再生の設定をする（PLAY SETUP）

再生するフォーマットや再生の方法を設定します。

再生フォーマットを設定する（PB FORMAT）

再生するフォーマットを設定します。

1 **[MENU] ボタンを押す。**
設定メニューの基本操作（➔ 28 ページ）

2 **[PLAY SETUP] → [PB FORMAT] を選択し、[ENTER] ボタンまたは ▷ を押す。**

3 **△ ▽ を押して、再生するフォーマットを選び、[ENTER] ボタンを押す。**
設定できるフォーマット：
■ [SYSTEM FREQ] を [59.9Hz] に設定時
1080/60i(30P)、1080/24P、
720/60P(30P)、720/24P
■ [SYSTEM FREQ] を [50Hz] に設定時
1080/50i(25P)、720/50P(25P)
- 初期値は、RECモードの設定メニュー [RECORDING SETUP]の[REC FORMAT]で設定されたフォーマットとなります。

4 **[MENU] ボタンを押して、サムネール画面に戻る。**
- 再生可能なクリップのクリップ番号が黒色で、再生できないクリップ番号は赤色で表示されます。

再生フォーマットを設定しても、REC モードに切り替えると、設定メニュー [RECORDING SETUP] の [REC FORMAT] で設定されたフォーマットに戻ります。

リピート再生 (REPEAT PLAY)

設定すると、再生可能なすべてのクリップを繰り返して再生します。

1 **[MENU] ボタンを押す。**
設定メニューの基本操作（➔ 28 ページ）

2 **[PLAY SETUP] → [REPEAT PLAY] → [ON] を選択する。**

3 **[MENU] ボタンを押して、サムネール画面に戻る。**
液晶モニター画面に ⟲ が表示されます。
再生操作をすると、再生可能なクリップを繰り返し再生します。
- 停止操作をするまで、繰り返し再生を行います。
- リピート再生の設定を OFF にするには、手順 **2** で [OFF] を選んでください。

続きから再生する (RESUME PLAY)

設定すると、再生を途中で止めた場合に続きから再生します。

1 **[MENU] ボタンを押す。**
設定メニューの基本操作（➔ 28 ページ）

2 **[PLAY SETUP] → [RESUME PLAY] → [ON] を選択する。**

3 **[MENU] ボタンを押して、サムネール画面に戻る。**

4 **クリップを選んで再生する。**
再生を途中で止めた場合は、クリップのサムネールに ⏩ が表示され、再生操作をすると続きから再生します。
- レジューム再生の設定を解除にするには、手順 **2** で[OFF]を選んでください。
- この設定は、電源を切る、またはCAMモードに切り替えると解除されます。

スキップの方法を設定する (SKIP MODE)

一時停止中に ⏪ または ⏩ を押した時の動作を設定します。

1 **[MENU] ボタンを押す。**
設定メニューの基本操作（➔ 28 ページ）

2 **[PLAY SETUP] → [SKIP MODE] を選択する。**

3 **スキップの方法を選択する。**
CLIP：
一時停止中に ⏪ または ⏩ を押すと、前後の CLIP の先頭に移動します。
CLIP & INDEX：
一時停止中に ⏪ または ⏩ を押すと、前後の CLIP の先頭と、前後のインデックスの位置に移動します。

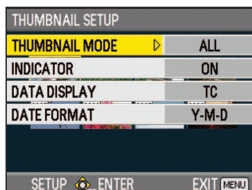
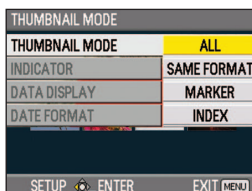
4 **[MENU] ボタンを押して、サムネール画面に戻る。**

サムネールの操作

サムネールの表示方法を選ぶ (THUMBNAIL SETUP)

好みの種類のクリップをサムネール表示させることができます。
また、サムネール表示のしかたをさらに細かく設定することもできます。

1 **[MENU] ボタンを押す。**
設定メニューの基本操作（➔ 28 ページ）

2 **[THUMBNAIL SETUP] を選択し、[ENTER] ボタンまたは ▷ を押す。**

3 **△ ▽ を押して項目を選択し、[ENTER] ボタンを押す。**

THUMBNAIL MODE:
表示するクリップを選びます。
ALL:
すべてのクリップを表示します。
SAME FORMAT:
[PB FORMAT] で設定したフォーマットと同じクリップを表示します。
MARKER:
ショットマークが付いたクリップを表示します。
INDEX:
インデックスが付いたクリップを表示します。

INDICATOR:
インジケーターの表示／非表示（ON/OFF）を設定します。（工場出荷時は [ON] に設定されています。）
[OFF] に設定しても、クリッププロテクト表示とレジューム再生表示は表示されます。

DATA DISPLAY:
クリップの時間表示を選びます。
TC:　タイムコード
UB:　ユーザーズビット
TIME:　撮影時刻
DATE: 撮影日
DATE & TIME: 撮影日時

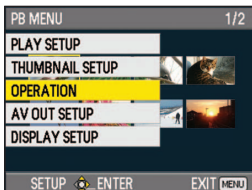
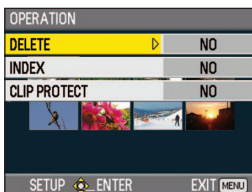
DATE FORMAT:
[DATA DISPLAY] で [DATE] を選択時に表示される記録日時の形式を選びます。
Y-M-D: 年月日
M-D-Y: 月日年
D-M-Y: 日月年
・この設定は、クリップのプロパティで表示される記録日に反映されません。

4 **[MENU] ボタンを押して、サムネール画面に戻る。**

クリップの削除やプロテクトなどを行う（OPERATION）

クリップの削除やプロテクト（保護）が行えます。

1 **[MENU] ボタンを押す。**
設定メニューの基本操作（➔ 28 ページ）

2 **[OPERATION] を選択し、[ENTER] ボタンまたは ▷ を押す。**

3 **▲ ▼ を押して項目を選択し、[ENTER] ボタンを押す。**

DELETE:
　ALL CLIPS:
　　すべてのクリップを削除します。
　　削除する / しない（YES/NO）を選び、[ENTER] ボタン を押してください。
　SELECT:
　　選択したクリップを削除します。
　　▲ ▼ ◀ ▶ を押してクリップを選び、[ENTER] ボタンを押すと、選んだクリップがオレンジ色の枠で囲まれます。（続けて選択できます。）
　　同じクリップを選んで [ENTER] ボタンを押すと、オレンジ色の枠が消えて選択が解除されます。
　　[SHIFT/EXEC] ボタンを押し、確認の画面で削除する / しない（YES/NO）を選び、[ENTER] ボタン を押してください。
　NO:
　　1 つ前の画面に戻ります。

- プロテクトされているクリップは削除できません。
- [ALL CLIPS] を選んですべてのクリップを削除する時は、削除する容量によって時間がかかる場合があります。

INDEX:
　YES:
　　選択したクリップにインデックスを付加します。
　　1）クリップを選んで再生し、インデックスを付加するポイントで [ENTER] ボタンを押す。

　　2）確認の画面で [YES] を選んで [ENTER] ボタンを押すと、インデックスが付加される。
　　・クリップにインデックスが付加されるポイントには、0.5 秒程度の誤差が発生します。
　　・インデックスを削除する場合は手順 **3** で [INDEX] → [YES] を選んだ後、次の操作を行ってください。
　　　1）クリップを選んで再生し、▲ を押して一時停止状態にする。
　　　2）◀ ▶ を押すと、インデックスが付加されたポイントにポインターが移動するので、削除するインデックスにポインターを移動させて [ENTER] ボタンを押す。
　　　3）確認の画面で [YES] を選んで [ENTER] ボタンを押す。
　NO:
　　1 つ前の画面に戻ります。

- 民生用カメラ機器で撮影した映像には、インデックスを付加することができません。
- インデックスの付加・削除中は、音量調整ができません。

（次ページへつづく）

CLIP PROTECT:
YES:
選択したクリップをプロテクトします。
▲▼◀◀▶▶を押してクリップを選び、[ENTER] ボタンを押す。
（О┳ マークが表示されます。）
• プロテクトされたクリップを選択するとプロテクトが解除されます。（О┳ マークが消えます。）
クリップがプロテクトされていても、フォーマットを実行すると、すべてのクリップが消去されます。詳しくは次の項目をご参照ください。

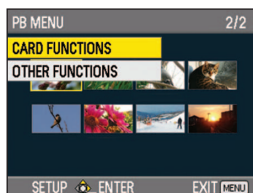
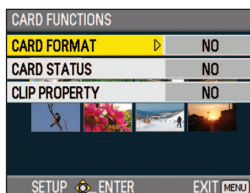
NO:
1 つ前の画面に戻ります。

4 **[MENU] ボタンを押して、サムネール画面に戻る。**

カードをフォーマットする / クリップやカードの情報を確認する (CARD FUNCTIONS)

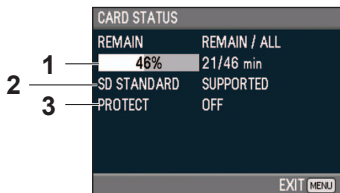
SD メモリーカードのフォーマットを行ったり、クリップや SD メモリーカードの情報が確認できます。

1 **[MENU] ボタンを押す。**
設定メニューの基本操作（➔ 28 ページ）

2 **[CARD FUNCTIONS] を選択し、[ENTER] ボタンまたは ▶▶ を押す。**

3 **▲▼を押して項目を選択し、[ENTER] ボタンを押す。**

CARD FORMAT :
SD メモリーカードをフォーマットします。フォーマットするカードを本機に挿入後、フォーマットする / しない（YES/NO）を選び、[ENTER] ボタン を押してください。
• フォーマットするとすべてのデータが消去されます。

CARD STATUS:
SD メモリーカードの情報が表示されます。（➔ 67 ページ）

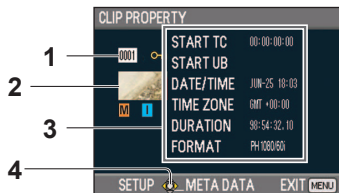
CLIP PROPERTY:
選択したクリップの情報が表示されます。（➔ 67 ページ）
• ◀◀ ▶▶ を押すと、前後のクリップの情報が表示されます。

4 **[MENU] ボタンを押して、サムネール画面に戻る。**

SD メモリーカードの情報画面

1 REMAIN :
SD メモリーカードの残量を表示します。

2 SD STANDARD :
SD メモリーカードが SD および SDHC 準拠でフォーマットされている / いない (SUPPORTED/NOT SUPPORTED) を表示します。

3 PROTECT :
SD メモリーカードの書き込み禁止状態を表示します。

クリップの情報画面

1 クリップ番号

2 サムネール（サムネール画面について ➔ 60 ページ）

3 クリップ情報
クリップに付加された各種インジケーターや、さまざまなデータを表示します。

START TC:	記録開始時のタイムコードの値
START UB:	記録開始時のユーザーズビットの値
DATE/TIME:	記録した日付と記録開始時の時刻
TIME ZONE:	[TIME ZONE] の設定値
DURATION:	クリップの記録時間
FORMAT:	記録フォーマット

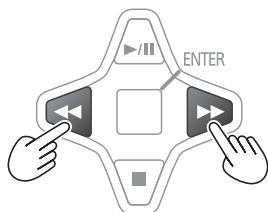
4 クリップメタデータ
クリップの情報画面を表示している時に [ENTER] ボタンを押すと、映像音声フォーマットや、撮影者情報などの詳しいデータを表示します。
▶/II ■ を押して見たい情報を確認してください。（クリップメタデータの内容については 56 ページをご覧ください）

再生に便利な機能

早送り / 早戻し再生

1 再生中に ⏩ または ⏪ を押す。

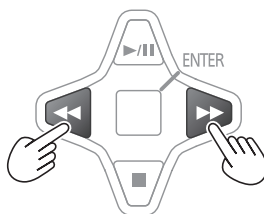
約 5 倍速 * で早送り / 早戻し再生します。

- 早送り/早戻し再生中に ⏩ または ⏪ を押すと、早送り/早戻し速度が切り替わります。（約5 倍速→約15 倍速→約5 倍速）*
  * [PB FORMAT] を 720/24P に設定している場合は、約 6 倍速→約 20 倍速→約 6 倍速と切り替わります。([SYSTEM FREQ] を [59.9Hz] に設定時のみ)
- 記録時間が短いクリップを連続して早送り/早戻し再生すると、速度が遅くなる場合があります。

通常の再生に戻すには、▶/Ⅱ（再生）を押します。

- 早送り再生で最後のクリップの再生を終了すると、サムネール表示に戻ります。
- リピート再生中に早送り再生で最後のクリップの再生を終了すると、先頭のクリップから再生します。
- 早戻し再生で先頭のクリップの早戻し再生を終了すると、サムネール表示に戻ります。
- 早戻し再生で先頭のクリップの早戻し再生を終了すると、リピート再生中もサムネール表示に戻ります。
- 早送り / 早戻し再生中は音声出力されません。

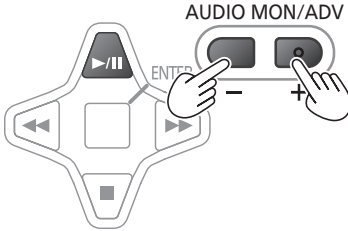
クリップ送り / 戻し

1 再生中に ▶/Ⅱ を押して、一時停止状態にする。

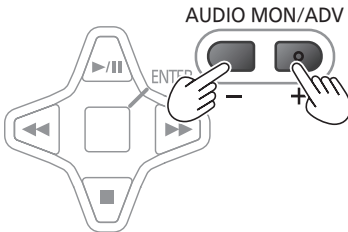
2 ⏪ または ⏩ を押す。

- 再生可能な前後のクリップに移動します。
- 先頭のクリップの先端または最後のクリップの終端に移動後は、サムネール表示に戻ります。

コマ送り再生

1 **再生中に ▶/II を押して、一時停止状態にする。**

2 **[AUDIO MON/ADV] ボタンを押す。**
- 押し続けている間、連続してコマ送りします。

+ ボタンを押すと正方向にコマ送りされ、– ボタンを押すと逆方向に約 0.5 秒ごとの映像がコマ送りされます。
通常の再生に戻すには、▶/II を押します。

音量を調整する

1 **再生中に [AUDIO MON/ADV] ボタンを押して、内蔵スピーカーとヘッドホンジャックから出力される音量を調整する。**

テレビ / モニターに接続して見る

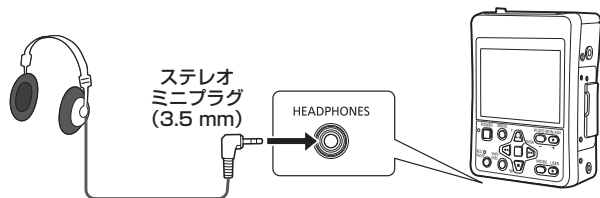
本機の HD-SDI OUT 端子または HDMI 端子とケーブルで接続すると、テレビ／モニターで再生映像を見ることができます。

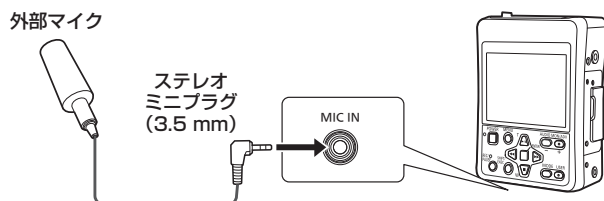
1 **本機とテレビ / モニターを接続する。**
(➔ 70 ページ)

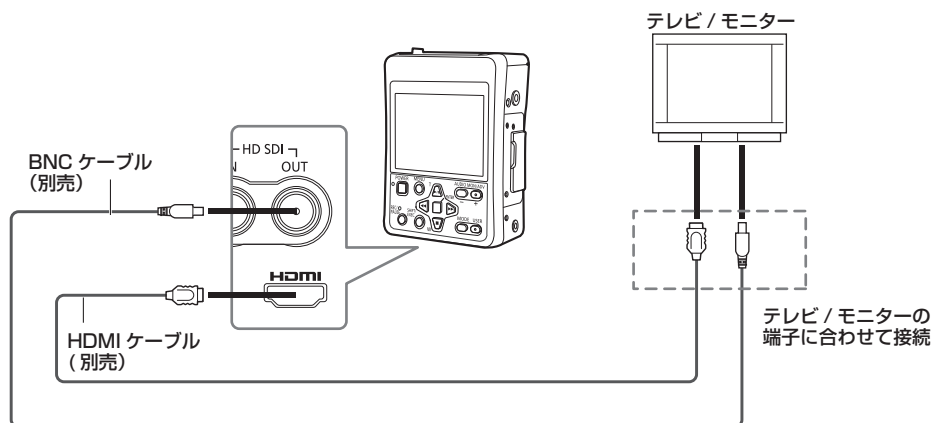
2 **本機を再生する。**
- 液晶モニターに表示されている情報をテレビ/モニター画面に表示する時は、設定メニュー [DISPLAY SETUP] → [OUTPUT OSD] → [ON]を選択します。

再生

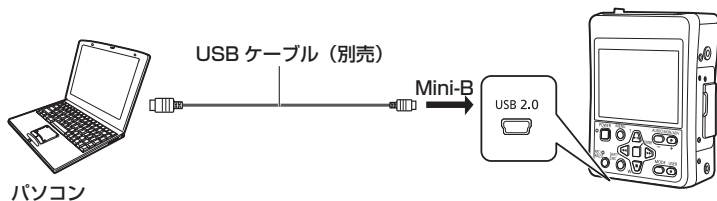
外部機器を接続する

ヘッドホンを使う

• ヘッドホン(別売)を接続すると内蔵スピーカーから音声は出力されません。

外部マイクを使う

マイク端子に外部マイク（別売）を接続すると、記録する音声が以下のように切り替わります。
CAM モード：　カメラヘッド内蔵マイク→外部マイク
SDI モード：　HD-SDI 入力信号に多重されている音声→外部マイク
カラーバー表示中：1 kHz* のテストトーン→外部マイク
* [SYSTEM FREQ] を [50Hz] に設定時は、997 Hz のテストシーンが出力されます。
• 外部マイクからの記録音量は、[SHIFT/EXEC]ボタンを押しながら[AUDIO MON/ADV]ボタン押すと調整できます。

テレビ / モニターに接続して見る

■本機の映像信号や音声信号を外部機器に出力する場合、外部機器の入力端子に接続します。

- HDMI ケーブルは当社製HDMI ケーブルを推奨します。
- ビエラリンクには対応していません。
- HD-SDI OUT 端子とHDMI 端子から同時に出力することはできません。設定メニュー [AV OUT SETUP]の[SDI OUT]で[ON]または[DOWNCON]を選んだ場合はHD-SDI OUT 端子から出力され、[OFF](工場出荷モード)を選んだ場合はHDMI 端子から出力されます。(HDMI 接続が認証された場合)

パソコンに接続する（ノンリニア編集 / ファイル転送）

パソコンの条件などについては ➔ 72 ページ

- USBケーブルは、3 m以内のシールドケーブルをご使用ください。

編集

ノンリニア編集をする（PC モード）

編集用のパソコンと USB ケーブルで接続して、SD メモリー カード内の映像データをノンリニア編集することができます。(接続 ➔ 71 ページ)
十分に充電されたバッテリーまたは、AC アダプターをご使用ください。

- カメラヘッドAG-HCK10Gを接続しているとPCモードに移行しません。
  AG-HCK10Gを接続している時は、電源を切ってカメラケーブルを取り外し、再度電源を入れてから操作してください。

USB 接続を行う場合のパソコンおよび USB の条件と、注意点は以下の通りです。

- WindowsXPまたはWindowsVista を搭載したパソコン、またはIntel 製CPUを搭載したMacintosh (Intel Mac)
- USB2.0（High Speed、MassStorageClass）対応(USB1.1 は対応していません)
- パソコンは 1 台のみ接続してください。
- 本機とパソコンの間にハブなど、他の機器が接続されていると操作できません。

1 カメラケーブルを取り外した状態で SD メモリーカードを本機に挿入し、[POWER] ボタンを２秒以上押して電源を入れる。
SDI モード画面が表示されます。(➔ 35 ページ)

2 [MODE] ボタンを押して PB モードに切り替える。
サムネール画面が表示されます。

3 [MODE] ボタンを 2 秒以上押す。
“CHECK USB CABLE.”と表示されるので、本機とパソコンを USB ケーブルで接続する。
正しく接続されると“PC CONNECT”が表示されます。接続する前にパソコンの電源を入れてください。

- USBケーブルの接続、取り外しはPCモードで行ってください。

4 パソコンでノンリニア編集を行う。
パソコンのマイコンピュータまたはデスクトップに、SD メモリーカードの中身がリムーバブルディスクとしてアイコン表示されます。
(➔ 105 ページ)
（例）Windows の場合

リムーバブルディスク（E:）

（例）Macintosh の場合

NO NAME

- 本機のファイルをパソコンにコピーする時は、ファイルの上書きなどに十分注意して操作を行ってください。
- 詳しくは、パソコンの編集ソフトの説明をご覧ください。
- カードを入れ替える場合は、SDメモリーカードアクセスランプが点滅していないこと、およびカードにアクセスしていないことを確認してください。
- PC モードの間は、本機の操作が行えません。
- カードスロットカバーが開いていると、SD メモリーカードにアクセスできません。

5 PC モードを終了する。
SD メモリーカードにアクセスしていない（SD メモリーカードアクセスランプが点滅していない）ことを確認し、USB ケーブルを取り外してください。
電源を切る場合：
USB ケーブルを取り外した後、[POWER] ボタンを 2 秒以上押す。
PB モードに切り替える場合：
USB ケーブルを取り外した後、[MODE] ボタンを 2 秒以上押す。

- パソコンで本機が正しく認識できない時は、以下の方法で認識できる場合があります。
  - 本機とパソコンの電源を切ってから再度電源を入れてください。
  - 本機からSD メモリーカードを取り出し、再度挿入してください。
  - パソコンの他のUSB端子に接続してください。
- USBケーブルは、お使いのパソコンが推奨する安全な方法で取り外しを行ってください。

ダビングをする

ブルーレイディスクレコーダーを使ってダビングする

当社製 BD レコーダーに本機で記録した SD メモリーカードを入れて、ブルーレイディスクや DVD、HDD に保存することができます。

本機で記録したクリップを保存できる機器
(2009 年 10 月現在)
－ BD レコーダー /DMR-BW700*1
－ BD レコーダー /DMR-BW730*2
－ BD レコーダー /DMR-BW750*2
－ BD レコーダー /DMR-BW800*1
－ BD レコーダー /DMR-BW830*2
－ BD レコーダー /DMR-BW850*2
－ BD レコーダー /DMR-BW900*1
－ BD レコーダー /DMR-BW930*2
－ BD レコーダー /DMR-BW950*2
－ BD レコーダー /DMR-BR500*2
－ BD レコーダー /DMR-BR550*2
HDD またはブルーレイディスク（BD-RE,BD-R)、DVD にダビングすることができます。
*1 SD メモリーカードにあるハイビジョン動画を直接再生することはできません。
*2 SD メモリーカードにあるハイビジョン動画を直接再生することができます。

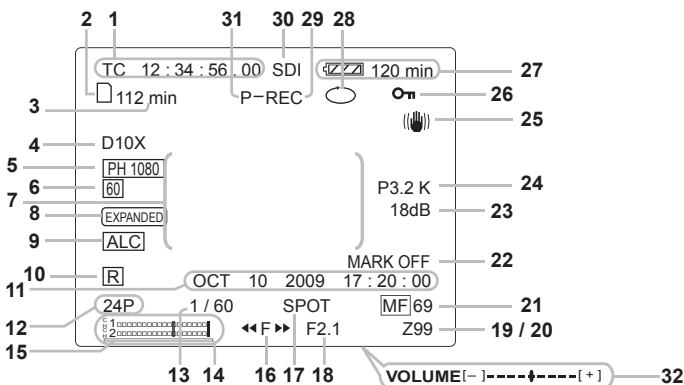
- ブルーレイディスクへのダビング方法などは、BDレコーダーの取扱説明書をお読みください。
- 本機で記録したクリップをブルーレイディスク(BD-RE,BD-R)または　HDD、DVD へダビングすると、本機のサポートしているメタデータ情報が失われます。
  メタデータ情報を含めたダビングが必要な場合は、専用のソフトウェアAVCCAM ビューアーをお使いください。(➔ 105ページ)

1 本機から記録済みの SD メモリーカードを取り出す。
SD メモリーカードアクセスランプが点滅していないこと、およびカードにアクセスしていないことを確認してから取り出してください。

2 SD メモリーカードを BD/DVD レコーダーのカードスロットに入れる。
ブルーレイディスクへのダビング方法などは、BD/DVD レコーダーの取扱説明書をお読みください。

画面の表示

通常の表示

セーフティゾーンについては **33**(➔ 78 ページ）を参照してください。

1 タイムコード表示 (➔ 42 ページ)

COUNTER 機能を割り当てた [USER] ボタンを押すごとに、下記のデータ（または表示なし）に切り替わります。

- 外部機器には出力されません。

0 : 00 . 00/CLIP 0 : 00 . 00

カウンター値

設定メニュー [DISPLAY SETUP] → [REC COUNTER] → [TOTAL] /[CLIP] の選択で、カウンター表示を切り替えます。

- 0 : 00 . 00（[TOTAL]選択時）:
  継続的に記録時間をカウント(表示)します。
- CLIP 0 : 00 . 00（[CLIP]選択時）:
  クリップごとの記録時間をカウント(表示)します。
  PBモードのカウンター表示は、自動的にCLIPになり、クリップ単位の再生(記録)時間をカウント(表示)します。

TC 12 : 34 : 56 . 01

タイムコード

- タイムコードがSD メモリーカードから正しく読みとれなかった時には、[TC ＊] を表示します。

UB 12 34 56 78

ユーザーズビット

- ユーザーズビットがSD メモリーカードから正しく読みとれなかった時には、[UB ＊]を表示します。

2 メディア情報表示

挿入されている SD メモリーカードの基本情報を表示します。

□ :
記録可能なカード

P :
ライトプロテクトがかかっている

☒ :
記録不可能なカード

F :
カードの容量がいっぱい

- 表示がされていても記録できる場合があります。
- SD メモリーカードの容量や種類によっては、記録中にカードの容量がいっぱいになり記録が停止しても、表示されない場合があります。

R :
再生専用カード
1000 以上のクリップが記録された SD メモリーカードは再生専用になります。

➔ :
カードアクセス中

⃠ :
カード未挿入

3 メディア残量表示

設定メニュー[RECORDING SETUP]の[REC FORMAT] で設定された記録フレームレートでの残量を表示します。
PB モード時には表示しません。

- 表示される時間は目安です。
- 設定メニュー[DISPLAY SETUP]→[CARD & BATTERY]→[ON]/[OFF]の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。

リピートレックをONに設定時は、次の表示になります。

4：

- リピートレックを行うのに十分な残量があります。
- リピートレック時に繰り返し記録する最大のクリップ数は4です。

例）16GBのSDメモリーカードを本機でフォーマットすると、4の表示になります。

8：

- リピートレックを行うのに十分な残量があります。
- リピートレック時に繰り返し記録する最大のクリップ数は8です。

例）32GBのSDメモリーカードを本機でフォーマットすると、8の表示になります。

LACK：

- 残量が不足しています。リピートレックを開始することはできません。
- 設定メニュー[DISPLAY SETUP] → [CARD&BATTERY] → [OFF]に設定している場合でもLACK表示を行います。
- SDメモリーカードの状態によっては、本機でのフォーマット直後でも十分な残量を確保できず、LACK表示になることがあります。

4 デジタルズーム倍率表示 (CAMモード時)

デジタルズーム倍率を表示します。(➔ 87ページ)

D2X: 2倍
D5X: 5倍
D10X: 10倍

5 記録フォーマット表示 (➔ 88ページ)

クリップの記録時の設定フォーマットを表示します。

- 設定メニュー[DISPLAY SETUP]→[OTHER DISPLAY]→[ON]/[OFF]の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。

6 システム周波数表示 (➔ 96ページ)

60 : 59.94 Hz

50 : 50 Hz

- 設定メニュー[DISPLAY SETUP]→[OTHER DISPLAY]→[ON]/[OFF]の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。

7 情報表示

下記の情報を表示します。

- オートホワイトバランスやオートブラックバランスの動作状態を表示します。(CAMモード時 ➔ 44ページ)
- 警告表示(➔ 79ページ)
- AWBエラーメッセージ(AWB NG)を表示します。（CAMモード時）

8 FOCUS ASSIST表示 (CAMモード時)

FOCUS ASSIST使用時に表示します。
(➔ 45ページ)

- 外部機器には出力されません。

9 マイクレベル自動制御表示

設定メニュー[RECORDING SETUP] → [MIC ALC] → [ON]に設定中に、表示します。

- 設定メニュー[DISPLAY SETUP]→[OTHER DISPLAY]→[ON]/[OFF]の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。

10 タイムスタンプ表示 (➔ 46ページ)

11 日付と時刻表示

12 フレームレート表示

記録フレームレートを表示します。
1080/60i（または、1080/50i）の時は、表示しません。

- 設定メニュー[DISPLAY SETUP]→[OTHER DISPLAY]→[ON]/[OFF]の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。

13 シャッタースピード表示 (CAMモード時)

シャッタースピードを表示します。

- 設定メニュー[DISPLAY SETUP]→[OTHER DISPLAY]→[ON]/[OFF]の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。

14 オーディオレベルメーター表示

記録もしくは記録待機時は入力レベル、再生時は再生している音声レベルを表示します。

- 設定メニュー[DISPLAY SETUP]→[LEVEL METER]→[ON]/[OFF]の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。
- 外部機器には出力されません。

（次ページへつづく）

15 フォーカスバー表示
設定メニュー [DISPLAY SETUP] → [FOCUS BAR] → [ON] を選択時に表示します。
- フォーカスが合うとバーが右方向に伸びます。

16 CAMERA FUNCTIONS 表示 (CAM モード時 ➔ 51 ページ)
[ENTER] ボタンを押して選択したカメラ撮影機能を表示します。
◀◀ F ▶▶ ：ピントの調整
◀◀ I ▶▶ ：絞り・明るさの調整
◀◀ S ▶▶ ：シャッタースピードの調整
◀◀ W ▶▶ ：ホワイトバランスの設定

17 オートアイリス制御表示 (CAM モード時)
STD: 標準オートアイリス制御
SPOT: スポットライト用のオートアイリス制御 (➔ 40 ページ)
BACK: 逆光補正用のオートアイリス制御 (➔ 40 ページ)
- 設定メニュー [DISPLAY SETUP]→[OTHER DISPLAY]→[ON]/[OFF]の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。

18 アイリス表示 (CAM モード時 ➔ 51 ページ)
F 値を表示します。
- 設定メニュー [DISPLAY SETUP]→[OTHER DISPLAY]→[ON]/[OFF]の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。

19 ズームポジション表示 (CAM モード時 ➔ 49 ページ)
Z00（広角最大）～ Z99（望遠最大）でズームポジションを表示します。
- 設定メニュー [DISPLAY SETUP]→[ZOOM & FOCUS]→[ON]/[OFF]の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。

20 SDI スルー出力表示 (SDI モード時 ➔ 91 ページ)
設定メニュー [AV OUT SETUP] → [SDI EE SEL] → [THROUGH] を選択すると、“THROUGH”が表示されます。
- 外部機器には出力されません。

21 フォーカス制御情報表示 (CAM モード時 ➔ 51、87 ページ)
99 ～ 00 でフォーカス制御情報を表示します。
オートフォーカスの時は AF、マニュアルフォーカスの時は MF と表示されます。マクロ制御機能がはたらいている時は、AF または MF が白黒反転表示になります。
95（焦点距離：無限大）
：
00（焦点距離：約 5 cm）
- ズームポジションにより、マクロ範囲にならないことがあります。また、ズームポジションにより、マクロ範囲の下限値が異なることがあります。
- 設定メニュー [DISPLAY SETUP]→[ZOOM & FOCUS]→[ON]/[OFF]の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。

22 インデックス / ショットマーク記録表示 (➔ 41 ページ)
MARK ON: ショットマークを付加すると表示します。
MARK OFF: ショットマークを解除すると表示します。
INDEX: インデックスを付加すると表示します。
- 付加できない場合は、“INVALID”を表示します。

23 ゲイン表示 (CAM モード時)
現在のゲイン値を表示します。
- 設定メニュー [DISPLAY SETUP]→[OTHER DISPLAY]→[ON]/[OFF]の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。

24 AWB 情報表示 (CAM モード時 ➔ 40、54 ページ)
ホワイトバランスの情報を表示します。
ATW: ATW 設定時
P3.2K/P5.6K: プリセット使用時
W.SET: ホワイトバランス調整可能時
LOCK: ATW ロック時
- 設定メニュー [DISPLAY SETUP]→[OTHER DISPLAY]→[ON]/[OFF]の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。

25 手ぶれ補正表示 (CAM モード時 ➔ 50 ページ)
手ぶれ補正機能が [ON] の時に表示します。
- 設定メニュー [DISPLAY SETUP]→[OTHER DISPLAY]→[ON]/[OFF]の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。

26 KEY LOCK 表示 (➔ 45 ページ)

操作ボタンの動作を無効に設定した時に表示します。

- REMOTEジャックにリモコン(別売)を接続している場合は、リモコンでの記録およびズーム操作がロック中でも有効です。

27 バッテリー残量表示

本機で使えるパナソニック製バッテリー使用時は、バッテリー残量が分単位で表示されます。表示されるまでしばらく時間がかかります。

- バッテリーの残量が少なくなるに従って、→→→→ と表示が変わります。3 分以下になると が赤色になり、容量がなくなると、 が点滅します。
- 低温、高温になるところや、長時間ご使用にならなかった場合は、バッテリー残量表示が正しく表示されないことがあります。バッテリー残量を正しく表示させるには、バッテリーを満充電してから使い切り、再度充電してください。(この操作を行っても、低温、高温になるところで長時間使用したバッテリーや、何度も充電を繰り返したバッテリーでは、バッテリー残量表示を正しく表示できないことがあります)
- 使用状況によってバッテリー残量表示の時間は変わりますので、目安にしてください。
- モードを切り替えたり、LCDの明るさを変更したときなどは、バッテリー残量時間を再度計算するため時間表示が一度消えます。
- ACアダプター使用時は表示されません。
- 設定メニュー[DISPLAY SETUP]→[CARD & BATTERY]→[ON]/[OFF]の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。

28 リピート再生表示 (PBモード時 ➔ 62ページ)

設定メニュー [PLAY SETUP] → [REPEAT PLAY] → [ON] を選択した時に、表示されます。

29 動作状態表示

REC モード時

REC: 記録
PAUSE(緑): 記録待機
PAUSE(赤): 記録一時停止

リピートレック時
• 約90分間の記録完了後、次のクリップの記録を開始するまで表示します。

リピートレック時以外(SDI モード時のみ)
• 記録中に入力信号に異常が発生した場合に表示します。 • 入力信号が正常に戻ると、記録を再開します。 • [REC/PAUSE]ボタンを押すと、緑の表示に変わります。

CHK: REC CHECK 中

PB モード時

▷: 再生
❙❙: 再生一時停止
INDEX [❙❙]: インデックス付加位置での再生一時停止
❙❙▷ (◁❙❙): コマ送り再生(逆方向コマ送り再生)
▷▷|(|◁◁): クリップ送り(クリップ戻し)
▷▷ (◁◁): 早送り再生(約 5 倍速 *)(早戻し再生(約 5 倍速 *))

* [PB FORMAT] を 720/24P に設定している時は約 6 倍速になります。

▷▷▷ (◁◁◁):早送り再生(約 15 倍速 *)(早戻し再生 (約 15 倍速 *))

* [PB FORMAT] を 720/24P に設定している時は約 20 倍速になります。

▷| (|◁): 最終シーンでの一時停止(先頭シーンでの一時停止)

30 入力信号表示

SDI: SDI モード時に表示します。

- 入力信号と記録フォーマットが異なる場合など、記録できない状態の時は、表示が点滅します。

CAM: CAM モード時に表示します。

- 故障やケーブル断線など、カメラヘッドに異常がある時は表示が点滅します。

INT: 設定メニュー [RECORDING SETUP] → [INT SG] → [ON] を選択時に表示します。(➔ 89 ページ)

- 設定メニュー [DISPLAY SETUP]→[OTHER DISPLAY]→[ON]/[OFF]の選択で、表示/非表示を切り替えることができます。

31 記録機能表示

P-: プリレック設定時に表示します。(CAM モード時 ➔ 50 ページ)
A-: 設定メニュー [RECORDING SETUP] の [AUTO REC] を [OFF] 以外に設定した時に表示します。(SDIモード時 ➔ 88ページ)
R-: リピートレック設定時に表示します。(CAM/SDI モード時 ➔ 47 ページ)

32 オーディオ出力調整レベル表示(➔ 69 ページ)
/ マイク入力調整レベル表示（➔ 46 ページ）
[AUDIO MON/ADV] ボタンを押すと、内蔵スピーカーとヘッドホンジャックから出力される音量が表示されます。
入力音声レベル調整時には、“VOLUME”のかわりに“I.MIC”/“E.MIC”が表示されます。

33 セーフティゾーン
[DISPLAY SETUP] の [SAFETY ZONE]（➔ 92 ページ）の設定により、範囲を表示します。
[4:3] を選択時： 4:3 に切り出した位置を表示します。

[90%] を選択時：一般的な家庭用テレビで表示できる範囲 (90 %) を表示します。

- CAMモードのフォーカスアシスト機能を使用することにより“EXPANDED”が表示されている場合は、セーフティゾーンは液晶モニター画面に表示されません。
(フォーカスアシスト機能 ➔ 45ページ)

主な警告表示

液晶モニター画面に表示される、主な警告表示を記載しています。その他の警告表示については、表示時に確認してください。

■C

CANNOT BE USED DUE TO INCOMPATIBLE DATA.
データの規格が異なるため使えません。
- SD メモリーカードのフォーマットが [SYSTEM FREQ] の設定と合っていません。

CANNOT DELETE.
削除できません。

CANNOT DELETE WITH THIS BUTTON
削除することができません。

CANNOT OPERATE.
FAN MOTOR IS STOP.
PLEASE TURN OFF.
・カメラヘッドの冷却ファンに異常が検出された場合に表示されます。

CANNOT OPERATE.
TEMPERATURE IS HIGH.
PLEASE TURN OFF AND WAIT A WHILE.
・カメラヘッドに高温異常が検出された場合に表示されます

CANNOT PLAY.
再生できません。

CANNOT PLAY WITH THIS BUTTON
再生することができません。

CANNOT RECORD PH MODE AND HA MODE INTO THIS CARD.
本カードには、PH モード HA モードで記録できません。

CANNOT RECORD.
THE NUMBER OF CLIPS HAS EXCEEDED THE MAXIMUM LIMIT.
クリップ数がいっぱいで記録できません。

CANNOT SET
THE NUMBER OF INDEXES HAS EXCEEDED THE MAXIMUM LIMIT.
インデックス数が上限をこえるためセットできません。

CANNOT SET PRE-REC,
CARD CAPACITY TOO LOW.
カード残量が少ないため PRE-REC は設定できません。

CANNOT START REPEAT REC
リピートレックを開始できません。

CARD DOOR OPENED.
カードのふたが開いています。

CARD ERROR.
PLEASE REFORMAT.
フォーマット失敗しました。このカードは再フォーマットが必要です。

CARD FULL.
カード残量がありません。

CHECK CARD.
カードを確認してください。

CHECK USB CABLE.
PC を接続してください。

CONTROL DATA ERROR
HAS BEEN DETECTED.
管理情報にエラーを検出しました。

■D

DISCONNECT USB CABLE.
モード切換時は USB ケーブルを抜いてください。

■I

INCOMPATIBLE CARD.
PLEASE CHECK CARD.
このカードは記録停止するおそれがあります。カードを確認してください。

INVALID KEY INPUT
・KEY LOCK を使用中に、ボタン操作を行うと表示されます。(➔ 45 ページ)

■N

NO CARD
カードが入っていません。

NOW ACCESSING.
PLEASE DO NOT REMOVE CARD.
カードにアクセス中です。カードを抜かないでください。

■R

REC STOPPED.
NOW WRITING.
ビデオ記録が停止しました。カードに書き込み中です。

REPAIR CLIP?
クリップを修復しますか？

REC WARNING
IRREGULAR FRM SIG.
・SDI 入力記録時に、本機への入力信号に異常が検出された場合に表示されます。
入力信号が正常に戻ると記録を再開します。
REC/PAUSE ボタンを押すことで、記録再開（ワーニング表示）を解除できます。

REPEAT REC COMPLETED
リピートレックを停止しました。

REPEAT REC STOPPED
INPUT ERROR
TURN POWER OFF
リピートレックを停止しました。
入力エラーのため電源を切ってください。

■S

SD CARD FORMAT?
YES　NO
SD カードをフォーマットしますか？
する　しない

SDI INPUT ERROR.
(OTHER FORMAT)
・SDI入力信号のフォーマットが、本機の記録フォーマットと異なる場合に表示されます。

SET DATE AND TIME
時計を設定してください。

■T

THE CLIP IS PROTECTED.
PLEASE CANCEL PROTECTION.
クリップがプロテクトされています。プロテクトを解除してください。

THE RECORDING IS STOPPED
(OVER THE LIMITATION)
記録を停止します。（12 時間連続録画）

THE TC MODE IS CHANGED TO "NDF"
TC モードは NDF となります。
（[SYSTEM FREQ] を [59.9Hz] に設定時に表示されます）

THIS BATTERY CANNOT BE USED.
このバッテリーは使えません。

THIS CARD CANNOT RECORD IN VIDEO MODE.
このカードはビデオ記録できません。

THUMBNAIL DATA ERROR IS DETECTED.
サムネール情報にエラーを検出しました。

■U

UNABLE TO FORMAT.
フォーマットできません。

■W

WRITE PROTECT
ライトプロテクトされています。

エラー表示

本機や SD メモリーカードなどに異常が発生した場合に表示します。一度電源を切っても直らない場合は、表示の内容に従ってカードを交換するか、もしくはお買い上げの販売店へご相談ください。

■C

CANNOT RECORD
記録時に異常が生じた時に表示します。

■R

REC WARNING
記録時に異常が生じた時に表示します。再度記録してください。それでも警告が出る場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
・警告が続く場合は電源を切ってください。
再度記録しても警告が出る場合は、別の SD メモリーカードに取り替えてください。

■S

SYSTEM ERROR
TURN POWER OFF

システムに異常が発生した時に表示します。電源を入れ直してください。

- クリップを削除した時など、SD メモリーカードへのアクセス中に表示された場合は、SD メモリーカードが壊れている可能性があります。新しいカードに交換してください。
- 修復時に表示された場合は、コンテンツ修復ソフト AVCCAM Restorer（リストアラー）をお使いください。(➔ 33 ページ)
- カメラヘッド AG-HCK10G 接続時は、電源が入った状態でカメラケーブルを取り外すと表示されます。カメラケーブルは、電源を切ってから取り外してください。

■カメラヘッド接続時

カメラヘッド AG-HCK10G（別売）を接続して撮影している時に、異常が発生すると表示します。電源を入れ直してください。

FOCUS NG
TURN POWER OFF（フォーカス動作異常）

PSD NG
TURN POWER OFF（手ぶれ検出異常）

ZOOM NG
TURN POWER OFF（ズームモータの異常）

表示

画面表示内容の選択

液晶モニター画面に表示する下記の項目は、設定メニュー [DISPLAY SETUP] の [OTHER DISPLAY]（➔ 92 ページ）の設定により表示します。

No.	表示項目	動作モード			[OTHER DISPLAY] での表示 / 非表示の切り替え
		SDI	CAM	PB	
1	タイムコード表示	○	○	○	–
2	メディア情報表示	○	○	○	–
3	メディア残量表示	○	○	×	–
4	デジタルズーム倍率表示	×	○	×	–
5	記録フォーマット表示	○	○	○	□
6	システム周波数表示	○	○	○	□
7	情報表示	○	○	×	–
8	FOCUS ASSIST 表示	×	○	×	–
9	マイクレベル自動制御表示	○	○	×	□
10	タイムスタンプ表示	○	○	×	–
11	日付と時刻表示	○	○	○	–
12	フレームレート表示 *	○	○	×	□
13	シャッタースピード表示	×	○	×	□
14	オーディオレベルメーター表示	○	○	○	–
15	フォーカスバー表示	×	○	×	–
16	CAMERA FUNCTIONS 表示	×	○	×	–
17	オートアイリス制御表示	×	○	×	□
18	アイリス表示	×	○	×	□
19	ズームポジション表示	×	○	×	–
20	SDI スルー出力表示	○	×	×	–
21	フォーカス制御情報表示	×	○	×	–
22	インデックス / ショットマーク記録表示	○	○	×	–
23	ゲイン表示	×	○	×	□
24	AWB 情報表示	×	○	×	□
25	手ぶれ補正表示	×	○	×	□
26	KEY LOCK 表示	○	○	×	–
27	バッテリー残量表示	○	○	○	–
28	リピート再生表示	×	×	○	–
29	動作状態表示	○	○	○	–
30	入力信号表示	○	○	×	□
31	記録機能表示	○	○	×	–
32	オーディオ出力調整レベル表示 / マイク入力調整レベル表示	○	○	○	–
33	セーフティゾーン	×	○	×	–

○ : 表示する　× : 表示しない　–: 他の設定により表示を行います。　□ : 切り替えが可能

*1080/60i（または、1080/50i）の時は表示しません。

記録／出力対応フォーマット一覧

設定メニューの設定により、以下のように記録 / 出力フォーマットが選択されます。

■SDI 入力信号と SDI 出力／ HDMI 出力一覧

SDI 入力信号と記録フォーマットの設定	[SDI OUT] 項目の設定	HD-SDI OUT 端子出力	HDMI 端子出力
一致している、または AG-HCK10G 接続時	ON	HD-SDI 出力（記録フォーマットと同じ）	出力しない
	DOWNCON*	SD-SDI	
	OFF	出力しない	[HDMI OUT SEL] 設定に依存
不一致	ON	出力しない	出力しない
	DOWNCON		
	OFF		BLACK

* 設定メニュー [AV OUT SETUP] → [SDI EE SEL] を [THROUGH] に設定時は入力信号がそのまま出力されます。

■HDMI 出力フォーマット

記録フォーマット	[HDMI OUT SEL] 項目の設定	接続モニター解像度	HDMI 端子出力
1080i	AUTO	1080P	1080i
		720P	
		1080i	
		480P/576P	480/576P
	FIX	1080P	1080i
		720P	
		1080i	
		480P	
	480P/576P	1080P	480/576P
		720P	
		1080i	
		480P/576P	
720P	AUTO	1080P	720P
		720P	
		1080i	1080i
		480P/576P	480P/576P
	FIX	1080P	720P
		720P	
		1080i	
		480P/576P	
	480P/576P	1080P	480P/576P
		720P	
		1080i	
		480P/576P	

設定メニューの構成

記録 (REC) モードのメニュー

記録 (REC) モードのメニュー (つづき)

- AV OUT SETUP (AV 出力設定) (➔ 91 ページ)
  - SDI OUT (SDI 出力)
  - HDMI OUT SEL (HDMI 出力選択)
  - SDI EDH (SDI EDH)
  - DOWNCON MODE (ダウンコン モード)
  - HP MODE (ヘッドフォンモード)
- DISPLAY SETUP（表示設定）（➔ 92 ページ）
  - ZEBRA (ゼブラ)
  - SAFETY ZONE (セーフティゾーン)
  - FOCUS BAR (フォーカスバー)
  - REC COUNTER (記録時間カウンター)
  - OUTPUT OSD (表示出力)
  - DATE/TIME (日時表示)
  - LEVEL METER (レベルメーター)
  - ZOOM & FOCUS (ズーム・フォーカス)
  - CARD & BATTERY (カード・バッテリー)
  - OTHER DISPLAY (その他表示)
  - LCD BACKLIGHT (LCD バックライト)
  - LCD DTL (LCD DTL)
  - LCD SET (LCD 調整)
- CARD FUNCTIONS (SD カード機能) (➔ 93 ページ)
  - CARD FORMAT (SD カードフォーマット)
  - CARD STATUS (カード情報)
- META DATA (メタデータ) (➔ 93 ページ)
  - CARD READ (カード読込)
  - RECORD(記録)
  - USER CLIP NAME (ユーザークリップ名)
  - CLIP COUNT RESET (クリップカウンタリセット)
  - META DATA PROP (メタデータ情報表示)
  - META INITIAL SET (メタデータ初期化)
- OTHER FUNCTIONS（その他の機能） (➔ 95 ページ)
  - USER (USER)
  - CLOCK SET (時計設定)
  - TIME ZONE (タイムゾーン)
  - POWER SAVE (パワーセーブ)
  - LANGUAGE (LANGUAGE)
  - SYSTEM FREQ (システム周波数)
  - SYSTEM INFO (機器情報表示)
  - MENU INIT (メニュー初期化)
  - OPERATION (通電時間)
  - LCD OPERATION（LCD 通電時間）
  - CAMERA OPERATION*（カメラ通電時間）

* AG-HCK10G（別売）接続時のみ表示

再生（PB）モードのメニュー

設定メニュー一覧

[OTHER FUNCTIONS] の [SYSTEM FREQ]（➔ 96 ページ）の設定を変更すると、[SYNCRO SCAN]（➔ 86 ページ）、[REC FORMAT]（➔ 88 ページ）、および [HDMI OUT SEL]（➔ 91 ページ）の設定が工場出荷時の設定に変わります。

CAMERA SETUP

項目	表示モード	設定内容
SYNCRO SCAN	CAM	テレビ画面を撮影する時などに使用するシンクロスキャンシャッタースピードの調整を行います。 ◀◀ または ▶▶ を押したままにすると、設定値が変わるスピードが速くなります。 **■ [SYSTEM FREQ] を [59.9Hz] に設定時** **・60P/60i の時:** 1/60.0…1/250.0 (工場出荷時は 1/60.0 に設定されています。) **・30P の時:** 1/30.0…1/48.0…1/250.0 **・24P の時:** 1/24.0…1/48.0…1/250.0 **■ [SYSTEM FREQ] を [50Hz] に設定時** **・50P/50i の時:** 1/50.0…1/250.0 (工場出荷時は 1/50.0 に設定されています。) **・25P の時:** 1/25.0…1/48.0…1/250.0
DETAIL LEVEL	CAM	画像の輪郭補正（水平垂直の両方向）の強弱を調整します。 － 7…0…＋ 7
V DETAIL LEVEL	CAM	画像垂直方向の輪郭補正の強弱を調整します。 － 7…0…＋ 7
DETAIL CORING	CAM	ディテール信号のノイズを除去するレベルを調整します。 － 7…0…＋ 7 －方向にすると鮮明な画像になりますが、ノイズも多少増えます。 ＋方向にするとノイズが少なくなります。
CHROMA LEVEL	CAM	クロマレベルの調整を行います。 － 7…0…＋ 7
CHROMA PHASE	CAM	クロマ位相の微調整を行います。 － 7…0…＋ 7
COLOR TEMP	CAM	色温度の微調整を行います。 － 7…0…＋ 7 ・この項目は、54ページの「ホワイトバランスを設定する」で、W.SETモードを選択している場合に有効になります。
MASTER PED	CAM	映像の基準とする黒のマスターペデスタルの調整を行います。 － 15…0…＋ 15
A.IRIS LEVEL	CAM	AUTO IRIS 目標値の設定を行います。 － 10…0…＋ 10
DRS	CAM	DRS（ダイナミックレンジストレッチャー）機能を設定します。 通常の撮影では白飛びする高輝度な部分の映像信号レベルを圧縮することにより、ダイナミックレンジを拡大することができます。 OFF、1、2、3 ・数値が大きいほど、高輝度部の圧縮レベルが大きくなります。 ・数値が大きいほど、暗部のノイズが大きくなります。

＿＿ は工場出荷モードです。

CAMERA SETUP（つづき）

項目	表示モード	設定内容
GAMMA	CAM	ガンマカーブを選択します。 HD NORM: HD 撮影に適したガンマ設定です。 LOW: 低輝度部の傾きがゆるやかなガンマカーブを使用して、落ち着きのある映像にします。コントラストはシャープになります。 SD NORM: DVX100 シリーズを継承した通常の映像設定です。 HIGH: 低輝度部の傾きが急なガンマカーブを使用して、暗い部分の階調を広げて明るい感覚の映像にします。コントラストはソフトになります。 B.PRESS: LOW よりコントラストをよりシャープにします。 CINE-LIKE D: 映画感覚の映像に仕上げるガンマカーブを使用します。 CINE-LIKE V: コントラスト重視の映画感覚の映像に仕上げるガンマカーブを使用します。 ・[CINE-LIKE D]または[CINE-LIKE V]を選択した時は、その特長を十分に生かすために、レンズ絞りは通常の映像レベルより低く(約1/2)することをおすすめします。
KNEE	CAM	白飛びを押さえるために、撮像素子が受光した高輝度の映像信号を圧縮するレベル（ニーポイント）を設定します。 AUTO: 受光した信号に応じて自動で設定します。 LOW: 低めの設定（約 80 % から圧縮を開始） MID: 中間の設定（約 90 % から圧縮を開始） HIGH: 高めの設定（約 100 % から圧縮を開始） ・DRSの値を設定している時や、[GAMMA]を[CINE-LIKE D]または[CINE-LIKE V]に設定している時は選択できません。
MATRIX	CAM	マトリックステーブルを選択して、撮影時の色を表現します。 NORM1: 屋外やハロゲンランプの光源で撮影を行う時に適した色を表現します。 NORM2: [NORM1] より鮮やかな色を表現します。 FLUO: 蛍光灯下の屋内で撮影を行う時に適した色を表現します。 CINE-LIKE: 映画感覚の撮影を行う時に適した色を表現します。
SKIN TONE DTL	CAM	肌色ディテールの調整を行います。[ON] を選択すると、肌色部分のディテールが減少し、肌のざらざら感を少なくします。 ON OFF
O.I.S.	CAM	光学手ぶれ補正機能 (O.I.S.) の使用を選択します。 ON: 手ぶれ補正機能を使用します。 OFF: 手ぶれ補正機能を使用しません。
IRIS	CAM	アイリス機能の調整方法を選択します。 AUTO1: 光源に合わせてアイリス、ゲイン、シャッタースピードを自動で調整し、明るさを最適にします。 AUTO2: 光源に合わせてアイリス、ゲインを自動で調整し、明るさを最適にします。 MANUAL: マニュアルで調整可能にします。
FOCUS	CAM	フォーカス機能の調整方法を選択します。 AUTO: 自動でフォーカスを合わせます。 MANUAL: マニュアルで調整可能にします。
D.ZOOM	CAM	デジタルズームを設定します。(光学ズームからさらに、この倍率が適用されます) OFF: デジタルズームを使用しません。 ×2: 2倍のデジタルズームを使用します。 ×5: 5倍のデジタルズームを使用します。 × 10: 10 倍のデジタルズームを使用します。

____ は工場出荷モードです。

RECORDING SETUP

[RECORDING SETUP] で選択した内容は、モードごとに設定されます。

項目	表示モード	設定内容
REC FORMAT	SDI/ CAM	記録フォーマットを選択します。 ■ [SYSTEM FREQ] を [59.9Hz] に設定時 PH 1080/60i PH 1080/30P* PH 1080/24P* PH 720/60P PH 720/30P* PH 720/24P* PM 720/60P HA 1080/60i HG 1080/60i HE 1080/60i ■ [SYSTEM FREQ] を [50Hz] に設定時 PH 1080/50i PH 1080/25P* PH 720/50P PH 720/25P* PM 720/50P HA 1080/50i HG 1080/50i HE 1080/50i * CAM モードでのみ選択できます。 ・PH 1080/24P、PH 720/24Pはネイティブ記録です。
PREREC MODE	CAM	プリレック機能の使用を選択します。(➔ 50 ページ) ON　OFF ・[ON]を選択すると、設定メニュー [TC/UB SETUP]の[TCG]が、[FREE RUN]に設定されます。
AUTO REC	SDI	HD-SDI 端子に接続したカメラレコーダーから入力される信号に従って、自動的に記録 / 停止を行うかどうかを選択します。 OFF:　自動的に記録 / 停止を行いません。 TYPE1:　HD-SDI に付加されている LTC 情報内の Recording Mark に従って、自動的に記録 / 停止を行います。 TYPE2:　HD-SDI に付加されている S-VITC 情報内の Recording Mark に従って、自動的に記録 / 停止を行います。 TYPE3:　パナソニック製以外のカメラレコーダー使用時に設定します。 ・TYPE1またはTYPE2の選択は、「パナソニック製カメラレコーダーの記録フォーマットとRecording Mark」(➔ 89ページ)を参照してください。 ・TYPE3対応確認機器は、下記のWebサイトをご覧ください。 （日本語）http://panasonic.biz/sav/autorec_j （英語）　http://panasonic.biz/sav/autorec_e ・記録/停止の間隔が短い時(1秒以下)や、入力信号が乱れた時などは、入力と記録が一致しない場合があります。 ・[OFF]以外に設定する場合は、必ず本機の電源を入れ、記録待機状態でカメラレコーダーを接続してください。
REPEAT REC MODE	SDI/ CAM	リピートレック機能の使用を選択します。(➔ 47 ページ) ON　OFF ・[ON]を選択すると、記録フォーマットはHEに設定されます。 ・SDIモード時、[ON]を選択すると、AUTO REC機能は[OFF]に設定されます。 ・CAMモード時、[ON]を選択すると、プリレック機能は[OFF]に設定されます。
TIME STAMP	SDI/ CAM	撮影した映像に DATE/TIME 情報を重畳する機能を設定します。 ON:　[DATE/TIME] で設定されている情報を映像に重畳します。 OFF:　[DATE/TIME] で設定されている情報を映像に重畳しません。
MIC ALC	SDI/ CAM	マイクから入力されるマイクレベルを、自動制御するかどうかを選択します。 ON　OFF [ON] に設定すると、過大な入力レベルの時に音声歪みを低減することができます。 音声信号の記録レベルは、この項目の設定に関係なく、[SHIFT/EXEC] ボタンを押しながら [AUDIO MON/ADV] ボタンを押して調整してください。

____ は工場出荷モードです。

RECORDING SETUP（つづき）

項目	表示モード	設定内容
INT SG	SDI/ CAM	記録信号を内蔵信号に切り替えます。 ON:　内蔵カラーバー OFF:　外部入力信号

____ は工場出荷モードです。

パナソニック製カメラレコーダーの記録フォーマットと Recording Mark

機種	記録フォーマット	Recording Mark Type	備考
AJ-HDC27F, H	720/24p over 60p	TYPE1	–
AJ-HDX400, A	1080/59.94i	– *	TYPE1/TYPE2 への切り替えが可能です。 操作方法は、弊社カメラレコーダーの取扱説明書を参照してください。
AJ-HDX400E	1080/50i	– *	
	1080/25p over 50i	– *	
AJ-HDX900	720/59.94p	TYPE1	–
	720/23.98p over 59.94p	TYPE1	
	720/29.97p over 59.94p	TYPE1	
	1080/59.94i	– *	
	1080/23.98p over 59.94i	TYPE2	
	1080/29.97p over 59.94i	– *	
	1080/50i	– *	
	1080/25p over 50i	– *	
	720/50p	TYPE1	
	720/25p over 50p	TYPE1	
AJ-HPX2100 AJ-HPX3000	720p	TYPE1, 2	
	1080i	TYPE2	
AG-HPX555 AJ-HPX2700 AJ-HPX3700 AG-HPX175 AG-HPX305	720p 1080i	TYPE1, 2	

* 初期設定の状態では、HD-SDI 信号に Recording Mark は重畳されていません。
  接続するカメラレコーダーの UB(LTC) あるいは VITC(S-VITC) を、フレームレートに設定すると、HD-SDI 信号に重畳されます。詳しくは、弊社カメラレコーダーの取扱説明書を参照してください。
- 記録フォーマットが1080iでRecording Mark TypeをTYPE1に設定する場合は、出力機器のメニュー設定でUB MODEをFR（フレームレート）に設定してください。（初期値FR）

TC/UB SETUP

[TC/UB SETUP] で選択した内容は、モードごとに設定されます。

項目	表示モード	設定内容
TC MODE ([SYSTEM FREQ] を [50Hz] に設定時は表示されません。)	SDI/ CAM	内部タイムコードジェネレーターのタイムコードを記録する時の、タイムコード補正モードを選択します。 DF: ドロップフレームモードを使用します。 NDF: ノンドロップフレームモードを使用します。 ・記録フォーマットの記録フレームレートを24Pに設定している時は、自動でNDFに設定されます。([SYSTEM FREQ]を[59.9Hz]に設定時のみ)
TCG	SDI/ CAM	内部タイムコードジェネレーターのタイムコードを歩進させる動作モードを設定します。 FREE RUN: 動作モードに関係なく歩進させます。 24P に設定している時は、PB モードへの切り替えを行うと誤差が発生する場合があります。([SYSTEM FREQ] を [59.9Hz] に設定時のみ) REC RUN: 撮影中に歩進させます。 ・設定メニュー [RECORDING SETUP]→[PREREC MODE]→[ON]を選択すると、自動的に[FREE RUN]に設定されます。
SDI REGEN	SDI	記録する TC および UB の値を選択します。 ON: HD-SDI 入力の S-LTC の領域の値を記録します。 OFF: 内蔵の TC および UB を記録します。 [ON] に設定すると以下のようになります。 ・[TC MODE]、[TCG]、[TC PRESET]、[UB PRESET] の設定を変更することができなくなります。 ・HD-SDI入力信号からTCデータを受けた場合は、TCあるいはUBの表示文字が白黒反転表示になります。 ・フォーマットが一致しない、入力データが無いなど、TCデータを受けることができない場合は、内蔵のTC（FREE RUN)およびUBを記録します。
TC PRESET	SDI/ CAM	記録するタイムコードの初期値を設定します。 YES NO ・記録フォーマットの記録フレームレートを24Pに設定している時は、フレームの値を、0 または、4 の倍数に設定してください。他の値の場合、記録するタイムコードがずれます。([SYSTEM FREQ]を[59.9Hz]に設定時のみ)
UB PRESET	SDI/ CAM	ユーザーズビットを設定します。 YES NO

____ は工場出荷モードです。

AV OUT SETUP

項目	表示モード	設定内容
SDI OUT	SDI/ CAM PB	SDI OUT 端子の出力映像フォーマットを選択します。 ON: 記録フォーマットで出力します。 DOWNCON: ダウンコンバートした映像を出力します。 OFF: SDI OUT 端子から映像を出力しません。（HDMI 出力モード）
HDMI OUT SEL	SDI/ CAM PB	HDMI OUT 端子の出力映像方式を設定します。 AUTO: 接続したテレビ / モニターの情報を元に自動的に出力解像度を決定します。 FIX: 記録された解像度に出力を固定します。 （1080 インターレースモード出力、または 720 プログレッシブモード） **480P（[SYSTEM FREQ] を [59.9Hz] に設定時）：** 480 プログレッシブモードで出力します。 **576P（[SYSTEM FREQ] を [50Hz] に設定時）：** 576 プログレッシブモードで出力します。
SDI EDH	SDI/ CAM PB	SD-SDI 出力時に EDH(Error Detection Handling; エラーディテクションハンドリング）を重畳するかどうかを選択します。 ON: EDH を重畳します。 OFF: EDH を重畳しません。
SDI EE SEL	SDI	SDI OUT 端子からの出力を切り替えます。 NORMAL: 記録フォーマットのデータを出力します。OSD 表示など、モニター出力に適した設定です。 THROUGH: 入力されたデータをそのまま出力します。 OSD 表示など、機器情報は出力されません。
DOWNCON MODE	SDI/ CAM PB	SDI 出力時のダウンコンバート出力モードを切り替えます。 SIDE CROP: サイドクロップ（左右両端をカットして 4：3 の画面にします。） LETTER BOX: レターボックス（上下に黒い帯を追加して 16：9 の映像を 4：3 の画面に映します。） SQUEEZE: スクイーズ（16：9 の映像を水平方向に圧縮して 4：3 の画面に映します。）
HP MODE	CAM	ヘッドホンの出力を切り替えます。 LIVE: マイクから入力された音声をそのまま出力します。音の遅延が気になる場合に選択します。 RECORDING: 記録される状態の音声（映像と同期した音声）を出力します。

＿＿ は工場出荷モードです。

DISPLAY SETUP

項目	表示モード	設定内容
ZEBRA	CAM	液晶モニター画面に表示するゼブラパターンのレベルを設定します。 OFF、105%、100%、95%、90%、85%、80%、75%、70%、65%、60%、55%、50%
SAFETY ZONE	CAM	セーフティゾーンの表示方法を設定します。（➔ 78 ページ） 90%、4：3、OFF
FOCUS BAR	CAM	FOCUS ASSIST バーの表示 / 非表示を設定します。 ON　OFF [ON] を選択すると FOCUS ASSIST バーを表示します。
REC COUNTER	SDI/ CAM	記録時のカウンターの動作を選択します。 TOTAL: リセットするまでカウントを継続します。 CLIP:　記録開始時にカウンターをリセットし、クリップ単位で記録時間をカウントします。 ・PBモードでは常にCLIPモードで動作します。
OUTPUT OSD	SDI/ CAM PB	ON　OFF [ON] を選択すると、液晶モニター画面に表示している情報を、映像と一緒に映像出力信号として出力します。
DATE/TIME	SDI/ CAM PB	液晶モニターに表示または映像に重ねて出力する日付や時刻を選択します。 TIME:　時刻を表示 / 出力します。 DATE:　日付を表示 / 出力します。 TIME & DATE: 日付と時刻を表示 / 出力します。 OFF:　日付や時刻を表示 / 出力しません。
LEVEL METER	SDI/ CAM PB	オーディオレベルメーターの表示 / 非表示を設定します。 ON　OFF
ZOOM & FOCUS	CAM	ズーム値とフォーカス値の表示 / 非表示を設定します。 ON　OFF
CARD & BATTERY	SDI/ CAM PB	SD メモリーカードの記録残量とバッテリー残量の表示 / 非表示を設定します。 ON　OFF
OTHER DISPLAY	SDI/ CAM PB	液晶モニター画面に表示する情報量を設定します。（➔ 82 ページ） ON　OFF
LCD BACKLIGHT	SDI/ CAM PB	液晶モニターのバックライトを調整します。[HIGH] に設定すると、通常より明るくなります。 LOW　NORMAL　HIGH
LCD DTL	SDI/ CAM	液晶モニター画面に表示される映像のエッジを強調します。 ON　OFF
LCD SET	SDI/ CAM PB	液晶モニターを調整します。（➔ 31 ページ） LCD COLOR LEVEL:　画面の色濃度を調整します。 LCD BRIGHTNESS:　画面の明るさを調整します。 LCD CONTRAST:　画面のコントラストを調整します。

＿＿ は工場出荷モードです。

CARD FUNCTIONS

項目	表示モード	設定内容
CARD FORMAT	SDI/CAM PB	SD メモリーカードをフォーマットします。 YES　NO
CARD STATUS	SDI/CAM PB	SD メモリーカードの状態を表示します。 YES　NO
CLIP PROPERTY	PB	選択したクリップの情報を表示します。 YES　NO

META DATA

項目	表示モード	設定内容
CARD READ	SDI/CAM	SD メモリーカードに記録したメタデータを本機にロードします。 YES　NO ・SD メモリーカードにメタデータが記録されていない時は、“NO FILE”が表示されます。
RECORD	SDI/CAM	本機にロードするメタデータを同時に SD メモリーカードに記録するかどうかを設定します。 ON:　同時に記録する OFF:　同時に記録しない
USER CLIP NAME	SDI/CAM	USER CLIP NAME として記録されるデータを選択します。 TYPE1:アップロードされたメタデータ TYPE2:アップロードされたメタデータ+ COUNT 値 アップロードデータがない場合は、CLIP NAME と同じ名前になります。
CLIP COUNT RESET	SDI/CAM	COUNT 値を 1 にリセットします。 YES　NO
META DATA PROP	SDI/CAM	本機に記録されたメタデータを表示します。 YES　NO
META INITIAL SET	SDI/CAM	本機に記録されたメタデータを初期化します。 [RECORD] の設定も含め、すべてクリアされます。 YES　NO ・設定メニューの初期化(➔ 29ページ)を行っても、メタデータは初期化されません。

____ は工場出荷モードです。

PLAY SETUP

項目	表示モード	設定内容
PB FORMAT	PB	再生するフォーマットを設定します。 ■ [SYSTEM FREQ] を [59.9Hz] に設定時 1080/60i (30P)、1080/24P、720/60P(30P)、720/24P ■ [SYSTEM FREQ] を [50Hz] に設定時 1080/50i(25P)、720/50P(25P) ・PBモードへ移行する前のSDI/CAM モードの[REC FORMAT]の設定が、[PB FORMAT]の初期値になります。
REPEAT PLAY	PB	ON OFF [ON] を選択すると、再生可能なクリップを繰り返し再生します。
RESUME PLAY	PB	ON OFF [ON] を選択すると、クリップ再生を停止した映像位置から再生します。
SKIP MODE	PB	一時停止状態からの頭出しの先頭位置を選択します。 CLIP: クリップの先頭に移動します。 CLIP & INDEX: クリップの先頭とインデックスに移動します。

THUMBNAIL SETUP

項目	表示モード	設定内容
THUMBNAIL MODE	PB	サムネールの表示方法を選択します。 ALL: すべてのクリップを表示します。 SAME FORMAT: 選択した記録フォーマットと同じクリップを表示します。 MARKER: ショットマークが付いたクリップを表示します。 INDEX: インデックスが付いたクリップを表示します。
INDICATOR	PB	インジケーターの表示 / 非表示を設定します。 ON: 表示する OFF: 表示しない
DATA DISPLAY	PB	クリップの時間表示部に表示する内容を選択します。 TC: タイムコード UB: ユーザーズビット TIME: 撮影時刻 DATE: 撮影日 DATE & TIME: 撮影日時
DATE FORMAT	PB	[DATA DISPLAY] → [DATE] を選択時に表示される、クリップの日付表示形式を選択します。 Y-M-D: 年月日 M-D-Y: 月日年 D-M-Y: 日月年

____ は工場出荷モードです。

OPERATION

項目	表示モード	設定内容
DELETE	PB	クリップを削除します。 ALL CLIPS: すべてのクリップを削除します。 SELECT: 選択したクリップのみを削除します。[SHIFT/EXEC] ボタンを押して [YES] を選択すると、削除実行します。 <u>NO</u>: 1 つ前の画面に戻ります。 ・[CLIP PROTECT]で保護の設定をされたクリップは削除できません。
INDEX	PB	クリップにインデックスを付加、削除します。 YES: 付加、削除します。 <u>NO</u>: 1 つ前の画面に戻ります。
CLIP PROTECT	PB	クリップを保護し、誤消去を防ぎます。 YES: クリップのプロテクト（保護）、解除をします。 <u>NO</u>: 1 つ前の画面に戻ります。 ・クリップがプロテクトされていても、SDメモリーカードのフォーマット(➔ 33ページ)を実行すると消去されます。

OTHER FUNCTIONS

項目	表示モード	設定内容
USER	SDI/ CAM PB	[USER] ボタンに割り当てる機能を設定します。(➔ 40 ページ) INH: 何も割り当てません。 REC CHECK*1: 直前に撮影した映像音声の最後の約２秒間が確認できます。 SPOTLIGHT*1: スポットライト用のオートアイリス制御のオン／オフを切り替えます。 BACKLIGHT*1: 逆光補正用のオートアイリス制御を設定します。 ATW LOCK*1: ATW 設定時にボタンを押すと、ホワイトバランスの値を固定します。 LCD DTL: 液晶モニター画面に表示される映像のエッジを強調します。 LCD REVERSE: ボタンを押している間、液晶モニター画面に表示される映像の左右上下を反転させます。 INDEX: インデックスを付加します。 SHOT MARK*2: ショットマークを付加します。 LAST CLIP: 記録直後のクリップを削除します。 <u>COUNTER</u>*2: カウンター表示を切り替えます。(カウンター表示時にボタンを 2 秒以上押すと値を0にクリアします) *1 CAM モード時のみ設定できます。 *2 PB モードでは [SHOT MARK] および [COUNTER] のみ有効になります。 • [USER]で選択した内容は、モードごとに設定されます。
CLOCK SET	SDI/ CAM PB	日時を設定します。(➔ 30 ページ)

____ は工場出荷モードです。

（次ページへつづく）

OTHER FUNCTIONS（つづき）

項目	表示モード	設定内容
TIME ZONE	SDI/ CAM PB	GMT に対して、− 12:00 から＋ 13:00 まで 30 分単位で設定します。 （下記参照） +09：00

時　差	地　域	時　差	地　域
+ 00:00	グリニッジ	– 00:30	
– 01:00	アゾレス諸島	– 01:30	
– 02:00	中部大西洋	– 02:30	
– 03:00	ブエノスアイレス	– 03:30	ニューファンドランド島
– 04:00	ハリファックス	– 04:30	
– 05:00	ニューヨーク	– 05:30	
– 06:00	シカゴ	– 06:30	
– 07:00	デンバー	– 07:30	
– 08:00	ロサンゼルス	– 08:30	
– 09:00	アラスカ	– 09:30	マルケサス諸島
– 10:00	ハワイ	– 10:30	
– 11:00	ミッドウェイ諸島	– 11:30	
– 12:00	クワジャリン	+ 12:30	
+ 13:00		+ 11:30	ノーフォーク島
+ 12:00	ニュージーランド	+ 10:30	ロード・ハウ・アイランド
+ 11:00	ソロモン諸島	+ 09:30	ダーウィン諸島
+ 10:00	グアム	+ 08:30	
+ 09:00	東京	+ 07:30	
+ 08:00	北京	+ 06:30	ヤンゴン
+ 07:00	バンコク	+ 05:30	ムンバイ
+ 06:00	ダッカ	+ 04:30	カブール
+ 05:00	イスラマバード	+ 03:30	テヘラン
+ 04:00	アブダビ	+ 02:30	
+ 03:00	モスクワ	+ 01:30	
+ 02:00	東ヨーロッパ	+ 00:30	
+ 01:00	中央ヨーロッパ		

項目	表示モード	設定内容
POWER SAVE	SDI/ CAM	SDI/CAM モードで SD メモリーカードが挿入されている時に約 5 分間、▶/II ■ ◀◀ ▶▶ の各ボタン、[ENTER] ボタン、[MENU] ボタン、[AUDIO MON/ADV] ボタン、[USER] ボタン、[REC/PAUSE] ボタン、[SHIFT/EXEC] ボタンの操作がなかった時の省電力モードを選択します。 ON:　本機の電源を切ります。 OFF:　本機の電源を切りません。 ・[ON]を選択していても、SD メモリーカードが挿入されていない時や、PBモード時、PCモード時、ACアダプター接続時は電源OFF になりません。
LANGUAGE	SDI/ CAM PB	メニュー表示言語を設定します。 ENGLISH: 英語　JAPANESE: 日本語
SYSTEM FREQ	SDI/ CAM	システムの周波数を切り替えます。 59.9Hz:　システム周波数を 59.94 Hz に設定します。 50Hz:　システム周波数を 50 Hz に設定します。 ・システム周波数の変更を行ったときは、設定値を有効にするために、本機の電源を入れ直してください。
SYSTEM INFO	SDI/ CAM PB	本機システムのバージョンを表示します。
MENU INIT	SDI/ CAM	メニュー設定を工場出荷時の状態に戻します。 ・設定メニューの初期化を行っても、[TIME ZONE]の設定は工場出荷時の状態に戻りません。

＿＿ は工場出荷モードです。

OTHER FUNCTIONS（つづき）

項目	表示モード	設定内容
OPERATION	SDI/ CAM PB	本機の通電時間（5 桁）を表示します。
LCD OPERATION	SDI/ CAM PB	本機の液晶モニターの通電時間（5 桁）を表示します。
CAMERA OPERATION	CAM PB	接続しているカメラヘッド AG-HCK10G の通電時間（5 桁）を表示します。

故障？と思ったら（Q&A）

電源関係

電源が入らない。	・バッテリーやACアダプターは正しく接続されていますか。 接続を確認してみてください。	P24、25
電源がかってに切れる。	・バッテリーの消耗を防ぐために、撮影の一時停止状態が5分以上続くと、自動的に電源が切れます。 設定メニュー [OTHER FUNCTIONS] の [POWER SAVE] を確認してください。	P96
電源が入ってもすぐに切れる。	・バッテリーが消耗していませんか。 バッテリー残量表示が点滅していたり、 の表示が出ている場合は、バッテリーが消耗しています。 バッテリーを充電するか十分に充電されたバッテリーを入れてください。	P23

バッテリー関係

バッテリーの消耗が早い。	・十分に充電されていますか。 ACアダプターの充電ランプが消灯するまで充電してください。 ・低い温度のところで使っていませんか。 バッテリーは、周囲の温度の影響を受けます。低い温度の所では、使用時間が短くなります。 ・バッテリーが寿命になっていませんか。 バッテリーには寿命があります。寿命は使いかたによって変わりますが、十分に充電しても使用時間が短い時は、バッテリーの寿命です。	P22
バッテリーが充電できない。	・DCコードがACアダプターに接続されていませんか。 DCコードを接続していると充電できません。	P22
バッテリー残量の分表示が正しく表示されない。	・バッテリー残量表示は、目安です。バッテリー残量が正しく表示されない場合は、バッテリーをフル充電した後、使い切り、再度充電してください。（この操作を行っても、低温、高温になる場所で長時間使用したバッテリーや、充電を繰り返したバッテリーは、バッテリー残量表示を正しく表示できないことがあります）	—

撮影

撮影がはじまらない。	・電源が入っていますか。	P25
自動でピントが合わない。	・マニュアルフォーカスモードになっていませんか。 オートフォーカスモードにすると自動でピントが合います。 ・オートフォーカスモードでピントが合いにくい場面を撮影していませんか。 オートフォーカスでは、ピントの合いにくい場面があります。この場合はマニュアルフォーカスモードでピントを合わせてください。 **ピントの合いにくい場面** ・遠くと近くのものを同時に撮影する ・汚れたガラスの向こうのものを撮影する ・暗い場所で撮影する ・キラキラと光るものが被写体の周りにある ・動きの速いものを撮影する ・コントラストの少ないものを撮影する	P51、87
ズーム操作中にピントが合わない。	・フォーカス制御がマクロ範囲の時はズーム位置がワイド側やテレ側にあり、ズーム操作をするとピントが合わなくなる場合があります。	P76

記録

SD メモリーカードを正しく入れているのに記録できない。	・SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていませんか。「LOCK」側になっていると記録できません。 ・SD メモリーカードのメモリー残量が極端に少なくなっていませんか。内容を他のメディアに保存したうえで不要なデータを消すか、新しいカードに交換してください。 ・SD メモリーカードが正しくフォーマットされていますか。または、使用できないフォーマットになっていませんか。本機でフォーマットしてください。 ・8 MB ～ 16 MBのSD メモリーカードは使用できません。	P32 P33 P15
記録がかってに止まってしまう。	・映像の記録に使用可能なSD メモリーカードをお使いですか。映像の記録に使用可能なSD メモリーカードをお使いください。	P15

編集

SD メモリーカードが読めない。	・SD メモリーカードが正しくフォーマットされていますか。本機でフォーマットしてください。	P33
ノンリニア編集ができない。	・パソコンと接続ケーブルの仕様を確認してください。	P71

表示関係

タイムコード表示がおかしくなる。	・逆スロー再生をすると、タイムコード表示のカウントが一定にならない時がありますが故障ではありません。	—

再生

[ENTER] ボタンを押しても再生できない。	・RECモードになっていませんか。[MODE]ボタンを押してPBモードに切り替えた後、再生するクリップを選んで[ENTER]ボタンを押してください。 ・再生フォーマットが異なっていませんか。62ページの手順で設定変更してください。	P59
早送り再生、早戻し再生をすると、モザイク状のノイズが出る。	・デジタル特有の現象です。故障ではありません。	—
テレビと正しく接続しているのに再生画が出ない。	・テレビの入力切り替えが正しく設定されていますか。テレビの説明書をよくお読みになり、接続した入力端子を選んでください。	—
本機のスピーカーから再生音声が出ない。	・本機の音量調整が小さくなりすぎていませんか。[AUDIO MON/ADV]ボタン+を押して音量を調整してください。	P69

PC 接続

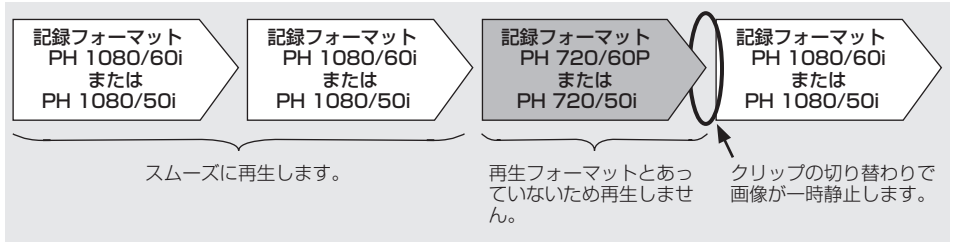
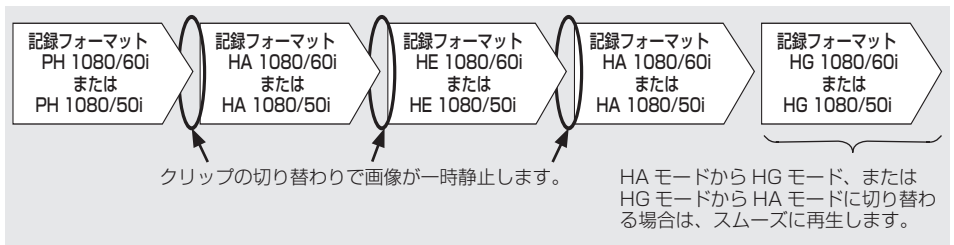
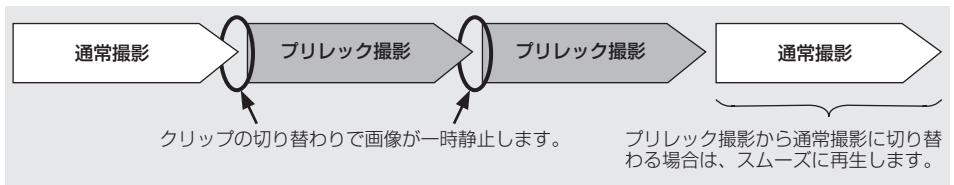
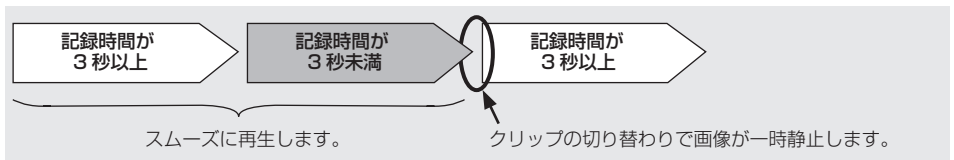
USB 接続ケーブルをつないでもパソコンが認識しない。	・動作環境を確認してください。 ・本機の動作モードや設定は正しいですか。RECモードやPBモードでは認識しません。PC モードにしてください。 ・パソコンに複数のUSB端子がある場合は、別のUSB端子に接続してみてください。 ・本機の電源を切ってから、72ページの手順で接続し直してください。	P72
USB 接続ケーブルを外したらパソコンにエラーメッセージが出る。	・お使いのパソコンに応じたUSBケーブルの安全な取り外しかたに従い、取り外してください。	—

（次ページへつづく）

SD メモリーカード関係

SD メモリーカードに記録されている画像がおかしい。	・データが壊れている可能性があります。データは静電気や電磁波で壊れることがあります。大切なデータは、パソコンなどにも保存するようにしてください。	—
SD メモリーカードをフォーマットしても使えるようにならない。	・本機またはSD メモリーカードの故障と思われます。お買い上げの販売店にご相談ください。本機では512 MB ～ 32 GB までのSD メモリーカードを使用してください。	—
本機に SD メモリーカードを挿入しても認識しない。	・パソコンでフォーマットしたSD メモリーカードを挿入していませんか。SD メモリーカードをフォーマットする場合は本機で行ってください。 フォーマットすると、SD メモリーカードに記録されているすべてのデータは削除され、元に戻すことはできませんので、お気をつけください。	P33
他の機器に SD メモリーカードを入れても認識しない。	・SD メモリーカードを挿入されている機器が、ご使用のSD メモリーカードの容量、または種類(SD メモリーカード/SDHC メモリーカード)に対応しているかご確認ください。 詳しくは、お使いの機器の説明書をお読みください。	P15

複数クリップの連続再生時にクリップの切り替わりがスムーズに行われない場合があります。
以下のような場合に、複数クリップを連続再生するとクリップが切り替わる時に画像が一時静止することがあります。

■記録フォーマットが混在している場合
記録モード = PH モード
再生フォーマット = 1080/60i(30P) または 1080/50i(25P)

■記録モードが混在している場合
記録フォーマット = 1080/60i または 1080/50i
再生フォーマット = 1080/60i(30P) または 1080/50i(25P)

■プリレック機能を使って撮影したクリップがある場合

■記録時間が 3 秒未満のクリップがある場合

本機のアップデート

アップデートの方法は、下記のウェブサイトのサポートページをご覧ください。

http://panasonic.biz/sav/

お手入れについて

お手入れの際は、ベンジンやシンナーを使わないでください。
- ベンジンやシンナーを使うと、レコーダー本体が変形したり、塗装がはげるおそれがあります。
- お手入れの際は、バッテリーを外しておくか、ACコードをコンセントから抜いておきます。
- 柔らかい、清潔な布でレコーダーをふいてください。汚れがひどい時は、水でうすめた台所用洗剤にひたした布で汚れをふき、乾いた布で仕上げてください。

保管上のお願い

保管時は、レコーダーから SD メモリーカードを出し、バッテリーを外してください。
湿気が少なく比較的温度が一定な場所にそれぞれ保管してください。
[推奨温度：15 ℃～ 25 ℃]
[推奨相対湿度：40 % ～ 60 %]

メモリーカードポータブルレコーダー
- ほこりが入らないよう、柔らかい布で包んでください。

バッテリー
- 極端に低温、高温になるところでは、バッテリーの寿命が短くなります。
- 油煙やほこりの多いところに保管すると、端子がさびるなどして故障の原因となることがあります。
- 長期間保管する場合は、 1 年に 1 回は充電し、いったん使用して、残量がなくなってから再保管してください。
- **バッテリーの端子に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させないでください。端子間がショートし発熱することがあり、この状態で触れると大やけどをするおそれがあります。**

SD メモリーカード
- 本機から取り出した時は、必ずケースに収納してください。
- 腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。
- 車の中や直射日光の当たるところなど温度が高くなるところには置かないでください。
- 湿気の高いところやほこりが多いところには置かないでください。

海外で使う

撮ったものを海外で見るには

HDMI または HD-SDI ケーブルなどをテレビに接続して見る場合は、日本と同じテレビ方式（NTSC）の映像 / 音声入力端子付テレビが必要です。

■日本と同じ NTSC 方式を採用している国、地域

●アメリカ合衆国
●アンチグア・バーブーダ
●イエメン（一部地域）
●英領バーミューダ諸島
●エクアドル
●エルサルバドル
●ガイアナ
●カナダ
●キューバ
●グァテマラ
●グァム島
●グレナダ
●コスタリカ
●コロンビア
●ジャマイカ
●スリナム
●セントクリストファー・ネイビス
●セントビンセント・グレナディーン諸島
●セントルシア
●大韓民国
●台湾
●チリ
●ドミニカ共和国
●ドミニカ国
●トリニダード・トバゴ
●ニカラグア
●ハイチ
●パナマ
●バハマ
●バルバドス
●フィジー
●フィリピン
●プエルトリコ
●米領サモア
●ベトナム（一部地域）
●ベネズエラ
●ベリーズ
●ペルー
●ボリビア
●ホンジュラス
●マーシャル諸島
●マリアナ諸島
●ミクロネシア連邦
●ミャンマー
●メキシコ

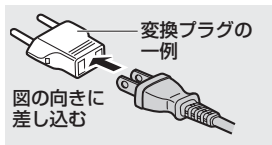
本機の保証書は、日本国内のみ有効です。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスについてはご容赦ください。

AC アダプターを海外で使用するには

AC アダプターは、電源電圧（100 V ～ 240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがあります。

国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。
充電のしかたは、国内と同じです
AC アダプターは日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行などでの一時的な使用は問題ありません。

• ご使用にならないときは変換プラグをACコンセントから外してください。

ご参考

記録フォーマット一覧

■ [SYSTEM FREQ] を [59.9Hz] に設定時

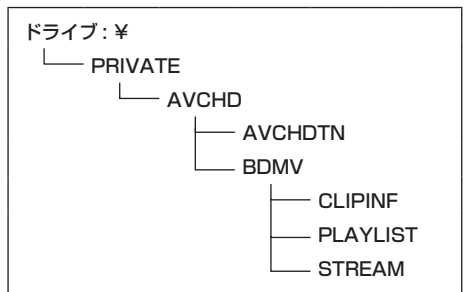
<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">記録モード</th><th colspan="3">フレームレート</th></tr>
<tr><th>60</th><th>30P
（CAM モードのみ）</th><th>24P
（CAM モードのみ）</th></tr>
<tr><td rowspan="2">PH</td><td>1080/60i</td><td>1080/60i</td><td>1080/30P
(over 60i)</td><td>1080/24P
（ネイティブ記録）</td></tr>
<tr><td>720/60P</td><td>720/60P</td><td>720/30P
(over 60P)</td><td>720/24P
（ネイティブ記録）</td></tr>
<tr><td>PM</td><td>720/60P</td><td>720/60P</td><td>–</td><td>–</td></tr>
<tr><td>HA</td><td>1080/60i</td><td>1080/60i</td><td>–</td><td>–</td></tr>
<tr><td>HG</td><td>1080/60i</td><td>1080/60i</td><td>–</td><td>–</td></tr>
<tr><td>HE</td><td>1080/60i</td><td>1080/60i</td><td>–</td><td>–</td></tr>
</table>

■ [SYSTEM FREQ] を [50Hz] に設定時

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">記録モード</th><th colspan="2">フレームレート</th></tr>
<tr><th>50</th><th>25P
（CAM モードのみ）</th></tr>
<tr><td rowspan="2">PH</td><td>1080/50i</td><td>1080/50i</td><td>1080/25P
(over 50i)</td></tr>
<tr><td>720/50P</td><td>720/50P</td><td>720/25P
(over 50P)</td></tr>
<tr><td>PM</td><td>720/50P</td><td>720/50P</td><td>–</td></tr>
<tr><td>HA</td><td>1080/50i</td><td>1080/50i</td><td>–</td></tr>
<tr><td>HG</td><td>1080/50i</td><td>1080/50i</td><td>–</td></tr>
<tr><td>HE</td><td>1080/50i</td><td>1080/50i</td><td>–</td></tr>
</table>

SD メモリーカード記録データの取り扱いについて

AVCHD フォーマットの記録データは、ファイル形式のため、PC との親和性にすぐれていますが、映像、音声データだけでなく、さまざまな重要情報が含まれており、右のようなフォルダー構成にて関連付けられています。これらの情報が一部分でも変更、または削除されると、AVCHD データとして認識できない、もしくはカードが AVCHD 機器で使えなくなるなどの不具合が発生する場合があります。

SD メモリーカードのデータを PC に転送したり、PC に格納したデータを SD メモリーカードに書き戻す際は、情報の欠落を防ぐために、必ず専用のソフトウェア AVCCAM ビューアーをお使いください。
このソフトウェアは下記サイトでダウンロードすることができます。
(対応 OS Windows XP/Windows Vista/Mac OS X 10.5/ Mac OS X 10.4)
http://panasonic.biz/sav/

■本機のメタデータの取り扱いについて

本機のサポートしているメタデータは、AVCHD 規格の管理ファイル領域内のメーカー独自領域を使用しています。
本機のメタデータをサポートしていない編集ソフトやカメラレコーダーでのファイル削除、コピー、クリッププロテクトの付加、削除などの編集動作を行った場合、メタデータの独自領域が消去され、本機で付加したショットマークやインデックス、PH モードあるいは PM モードの情報などが失われます。
このような編集動作を行う前に、本機のメタデータをサポートしているかをご確認のうえ、作業してください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

故障・修理・お取扱い・メンテナンス
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。
※内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただいた上、大切に保存してください。
万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

本機は 3 年間無償修理特約の対象商品です。
お客様が本機を購入後 1 カ月以内にウェブサイトからユーザー登録を行うと、最大 3 年間の無償修理特約が提供されます。より詳しい情報については、下記ウェブサイトをご覧ください。
日本語：http://panasonic.biz/sav/pass_j/
英語：http://panasonic.biz/sav/pass_e/

■補修用性能部品の保有期間 8 年
当社は、このメモリーカードポータブルレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。
※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■定期メンテナンス（保守・点検）
定期メンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。
部品の摩耗、劣化、ゴミ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。
定期メンテナンス（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■保証期間中の修理は...
保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は...
修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	メモリーカードポータブルレコーダー
品番	AG-HMR10A
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定格

【総合定格】

電源電圧	DC7.2 V(バッテリー使用時)/ DC7.3 V（AC アダプター使用時）
消費電力	
単体使用時：6.5 W	
専用オプションカメラヘッド (AG-HCK10G) 接続時：11.7 W	

[　] は安全項目です。

許容動作温度
0 ℃～ 40 ℃
許容動作湿度
10 % ～ 80 %（結露なし）
質量
本体　約 580 g
外形寸法（幅×高さ×奥行き）
96.0 mm × 52.6 mm × 133.0 mm
（セット脚、キャップなどの突起部を除く）

【ビデオ記録再生部】
記録規格
AVCHD 規格準拠
圧縮方式
MPEG-4 AVC/H.264
記録メディア
SD メモリーカード：
512 MB、1 GB、2 GB まで
（FAT12、FAT16 形式に対応）
SDHC メモリーカード：
4 GB、6 GB、8 GB、12 GB、16 GB、
32 GB まで（FAT32 形式に対応）
メタデータの読み込みには、8 MB ～ 32 GB の SD/SDHC メモリーカードが使用できます。
記録フォーマット（記録モード＆解像度）
■ [SYSTEM FREQ] を [59.9Hz] に設定時
PH モード：
1080/60i
1080/30P（over 60i）*
1080/24P（ネイティブ記録）*
720/60P
720/30P（over 60P）*
720/24P（ネイティブ記録）*
PM モード：
720/60P
HA モード：
1080/60i
HG モード：
1080/60i
HE モード：
1080/60i
* 専用オプションカメラヘッド AG-HCK10G 接続時のみ

■ [SYSTEM FREQ] を [50Hz] に設定時
PH モード：
1080/50i
1080/25P（over 50i）*
720/50P
720/25P（over 50P）*
PM モード：
720/50P
HA モード：
1080/50i
HG モード：
1080/50i
HE モード：
1080/50i
* 専用オプションカメラヘッド AG-HCK10G 接続時のみ
転送レート
PH モード：約 21 Mbps（VBR）
PM モード：約　8 Mbps（VBR）
HA モード：約 17 Mbps（VBR）
HG モード：約 13 Mbps（VBR）
HE モード：約　6 Mbps（VBR）
記録時間 (目安)
約 180 分 (PH モード 1920 × 1080 画素 、32GB SDHC メモリーカード 1 枚使用時)
SD メモリーカード
1 枚の最大連続記録数 :900 クリップ
(フォーマットしてから記録 、SD メモリーカード抜き差ししない条件)
1 枚の再生可能クリップ数 :1000 クリップ
(1000 クリップまで表示)
サムネール表示
8 画面 / ページ
編集機能
削除 、プロテクト
フォーマット機能
有り

ご参考

（次ページへつづく）

【映像方式】
ビデオ信号
■ [SYSTEM FREQ] を [59.9Hz] に設定時
1080/60i、720/60p
■ [SYSTEM FREQ] を [50Hz] に設定時
1080/50i、720/50p

【映像入出力】
SDI 端子
HD SDI 入力、HD SDI/SD SDI 出力
BNC × 1　0.8 V [p-p]　75Ω
HDMI 端子
HDMI 出力× 1（HDMI TypeA 端子）
■ [SYSTEM FREQ] を [59.9Hz] に設定時
1080/60i、720/60p、480/60p
■ [SYSTEM FREQ] を [50Hz] に設定時
1080/50i、720/50p、576/50p
（ビエラリンク非対応）
カメラ接続端子
20pin 専用インターフェイス
（AG-HCK10G と接続）

【オーディオ定格】
圧縮方式
記録／再生：Dolby Digital/2 ch
サンプリング周波数
48 kHz
量子化
16 bit
圧縮後のビットレート
PH モード：2 CH　384 kbps
PM/HA/HG/HE モード：2 CH　256 kbps

【オーディオ入出力】
HDMI
2 ch（リニア PCM）、5.1ch（Dolby Digital）

【モニター・マイク・スピーカー】
外部マイク入力
－ 70 dBV(マイク感度　－ 50 dB 相当
0 dB=1 V/Pa 1 kHz）
ステレオミニジャック 3.5 mm 径
プラグインパワーマイク非対応
ヘッドホン
ステレオミニジャック（3.5 mm 径）× 1、
100 Ω　－ 22 dBV（32 Ω負荷時）
内蔵スピーカー
20 mm 径 丸形× 1
LCD モニター
3.5 インチ、液晶カラーモニター（約 21 万画素）

【その他入出力端子】
USB 端子
Type mini B コネクター（USB 2.0 準拠）
カメラリモート端子
スーパーミニジャック（2.5 mm 径）
(ZOOM S/S)

【充電機能付き AC アダプター】

定格入力	100 V ～ 240 V AC、 50 Hz/60 Hz 32 VA （AC100 V 時）／44 VA（AC240 V 時）
定格出力	7.3 V DC、1.75 A（ビデオカメラ） 8.4 V DC、1.3 A（充電時）

□ は安全項目です。

質量
140 g
外形寸法（幅×高さ×奥行き）
103 mm × 36 mm × 62 mm

さくいん

A

F

H

K

L

P

R

S

U

W

あ行

か行

さ行

（次ページへつづく）

た行

な行

は行

ま行

や行